
加 須 市

宮 西 II / 宮 東 II

首都圏氾濫区域堤防強化対策における
埋蔵文化財発掘調査報告

2022

国土交通省 関東地方整備局
公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

序

埼玉県北部の県境を流れる利根川は、「坂東太郎」の異名を持つ大河です。古くは万葉集、巻十四のなかに「刀祢河泊の川瀬も知らずただ渡り波にあふのす逢える君かも」の歌が見え、いにしえより人々のくらしとともにたゆたっていたことがうかがい知れます。

利根川は、その流域に肥沃な大地を育み、滔々たる流れは交通路や、農業・生活・工業用水の源として限りない恩恵をもたらしてきました。その一方で、過去にはたびたび恐ろしい水害も引き起こしてきました。

国土交通省ではこうした災害を未然に防ぎ人々の生活を守るために、様々な対策を講じています。首都圏の安全を確保するために実施されている、氾濫区域の堤防強化対策事業もその一環です。

この事業地に含まれる加須・羽生・久喜地区には、周知の埋蔵文化財包蔵地が多数存在しており、今回発掘調査を行った加須市の宮西遺跡と宮東遺跡はその一つです。両遺跡にかかる発掘調査は堤防強化対策事業に伴う事前調査として、国土交通省関東地方整備局の委託を受け、当事業団が実施しました。その結果、古墳時代から近世にわたって長期間に及ぶ人々の生活の痕跡が発見されたところです。古墳時代から古代については既に報告されており、本書では、中世から近世の遺構を中心に報告します。宮西遺跡・宮東遺跡では、中世の井戸跡や土壌が数多く確認され、周辺遺跡と比較して、当地がより中心的な生活域として利用されていたことがわかりました。また、近世の遺構からは陶磁器類を中心に多くの遺物が発見され、現在へとつながる人びとの暮らしをうかがい知ることができました。本書は、これらの発掘調査結果をまとめたものです。埋蔵文化財の保護及び普及啓発の資料として、また学術研究の基礎資料として、多くの方々にご活用いただければ幸いです。

最後に、本書の刊行にあたり、発掘調査の諸調整に御尽力を賜りました国土交通省関東地方整備局をはじめ、埼玉県教育局市町村支援部文化資源課、加須市教育委員会、地元関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和4年3月

公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
理事長 依田英樹

例 言

- 1 本書は加須市大越地内に所在する宮西遺跡第1～4次調査、同地内に所在する宮東遺跡第1～6次調査の発掘調査報告書である。

- 2 遺跡の代表地番、発掘調査届に対する指示通知は、以下のとおりである。

宮西遺跡 (№69-040)

第1次調査

加須市大越2057-1他

平成23年11月7日付け教生文第2-55号

第2次調査

加須市大越2057-1他

平成24年4月20日付け教生文第2-7号

第3次調査

加須市大越2066-1他

平成25年10月3日付け教生文第2-40号

第4次調査

加須市大越下寺町2059他

平成26年9月12日付け教生文第2-38号

宮東遺跡 (№69-042)

第1次調査

加須市大越畑ヶ田2555-1他

平成24年4月20日付け教生文第2-8号

第2次調査

加須市大越2555-1他

平成25年5月24日付け教生文第2-9号

第3次調査

加須市大越2539-1

平成26年2月5日付け教生文第2-61号

第4次調査

加須市大越畠田2538-1

平成26年5月15日付け教生文第2-6号

第5次調査

加須市大越川込2686-4他

平成27年6月1日付け教生文第2-16号

第6次調査

加須市大越川込2686-4他

平成28年5月19日付け教生文第2-5号

- 3 発掘調査は、首都圏氾濫区域堤防強化対策に伴う埋蔵文化財記録保存のための事前調査である。埼玉県教育局市町村支援部文化資源課（発掘調査時は生涯学習文化財課）が調整し、国土交通省関東地方整備局の委託を受け、公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団（宮西遺跡第1次調査時は財団法人）が実施した。

- 4 各事業の委託業務名は、下記のとおりである。発掘調査事業（平成23年度）

「首都圏氾濫区域堤防強化対策（加須・羽生地区）における埋蔵文化財発掘調査」

発掘調査事業（平成24年度）

「首都圏氾濫区域堤防強化対策（加須・羽生・久喜地区）における平成24年度埋蔵文化財発掘調査」

発掘調査事業（平成25年度）

「利根川上流河川改修事業における平成25年度埋蔵文化財発掘調査」

「首都圏氾濫区域堤防強化対策における平成25年度埋蔵文化財発掘調査」

発掘調査事業（平成26年度）

「首都圏氾濫区域堤防強化対策（加須・久喜地区）における平成26年度埋蔵文化財発掘調査」

発掘調査事業（平成27年度）

「首都圏氾濫区域堤防強化対策（加須・久喜地区）における平成27年度埋蔵文化財発掘調査」

発掘調査事業（平成28年度）

「首都圏氾濫区域堤防強化対策における平成28年度埋蔵文化財発掘調査」

報告書作成事業（平成30年度）

「首都圏氾濫区域堤防強化対策における平成30年度埋蔵文化財発掘調査（整理）」

報告書作成事業（平成31年度）

「首都圏氾濫区域堤防強化対策における平成31年度埋蔵文化財発掘調査（整理）」

報告書作成事業（令和2年度）

「首都圏氾濫区域堤防強化対策における令和2年度埋蔵文化財発掘調査（整理）」

報告書作成事業（令和3年度）

「首都圏氾濫区域堤防強化対策における令和3年度埋蔵文化財発掘調査（整理）」

- 5 発掘調査・整理報告書作成事業はⅠ～Ⅲに示した組織により実施した。各遺跡の発掘調査期間と担当者は以下のとおりである。

発掘調査

宮西遺跡

第1次調査

平成23年11月1日～平成24年3月31日

担当：吉田稔・橋本脩平

第2次調査

平成24年4月6日～平成24年5月31日

担当：山本靖・高屋敷飛鳥

第3次調査

平成25年10月1日～平成26年2月28日

担当：田中広明・渡邊理伊知

第4次調査

平成26年10月1日～平成26年12月31日

担当：渡邊理伊知・宮村誠二

宮東遺跡

第1次調査

平成24年4月6日～平成25年3月31日

担当：田中広明・中泉雄太

第2次調査

平成25年4月1日～平成25年9月30日

担当：田中広明・渡邊理伊知

第3次調査

平成26年2月3日～平成26年3月31日

担当：田中広明・渡邊理伊知

第4次調査

平成26年4月1日～平成27年3月31日

担当：田中広明・堀内紀明・滝澤誠

高田賢治

第5次調査

平成27年4月1日～平成28年3月31日

担当：堀内紀明・水村雄功

第6次調査

平成28年4月1日～平成28年7月31日

担当：堀内紀明・水村雄功

整理報告書作成事業

平成30年度

平成30年10月1日～平成31年3月31日

担当：吉田稔（10月1日～10月31日）

滝澤誠（11月1日～3月31日）

令和元年度

平成31年4月1日～令和2年3月31日

担当：滝澤誠（4月1日～3月31日）

村山卓（1月1日～3月31日）

令和2年度

令和2年4月1日～令和3年3月31日

担当：滝澤誠

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第467集として、印刷・刊行した。

令和3年度

令和3年4月1日～令和4年3月31日

担当：砂生智江

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第475集として、印刷・刊行した。

- 6 発掘調査における基準点測量は、宮西遺跡が株式会社サクラプランニング（第1次・第2次）、中央航業株式会社（第3次）、株式会社本州（第4次）に、宮東遺跡が株式会社ウッド（第1次）、有限会社ジオプランニング（第2次）、中央航業株式会社（第3次・第4次）、

- 株式会社東京航業研究所（第5次）に委託した。
- 7 空中写真撮影は宮西遺跡が中央航業株式会社（第1次・第2次・第4次）、株式会社新日本エグザ（第3次）に、宮東遺跡が中央航業株式会社（第1次・第2次・第3次・第4次）、株式会社東京航業研究所（第5次）、株式会社GIS関東（第6次）に委託した。
- 8 炭化物の放射性炭素年代測定、出土した木製品の樹種同定、出土した骨の同定、堆積物中のテフラ分析・花粉分析・珪藻化石群集分析は、株式会社パレオ・ラボに委託した。
- 9 発掘調査における写真撮影は各担当者が行い、出土品の写真撮影は砂生が行った。

- 10 出土品の整理・図版作成作業は、村山の協力を得て砂生が行い、鉄製品は瀧瀬芳之、古間果那子、木製品は矢部瞳の協力を得た。
- 11 本書の執筆は、I-1を埼玉県教育局市町村支援部文化資源課、その他を、福田聖、金子直行、黒坂禎二の協力を得て砂生が行った。
- 12 本書の編集は、砂生が行った。
- 13 本書に係る諸資料は、令和4年4月以降埼玉県教育委員会が管理・保管する。
- 14 発掘調査、報告書刊行にあたり、下記の機関から御教示、御協力を賜った。記して感謝いたします。（敬称略）
加須市教育委員会

凡 例

- 1 本書におけるX・Yの数値は、世界測地系国土標準平面直角座標IX系（原点北緯36° 00′ 00″、東経139° 50′ 00″）に基づく座標値を示す。また、各挿図に記した方位はすべて座標北を示す。
- 2 調査で使用したグリッドは、国土標準平面直角座標に基づく、10×10mの範囲を基本（1グリッド）とし、調査区全体をカバーする方眼を組んだ。
- 3 グリッド名称は、北西隅を基点とし、北から南方向にアルファベット（A・B・C…）、西から東方向に数字（1・2・3…）を付し、アルファベットと数字を組み合わせ、例えばA-1グリッド等と呼称した。
- 4 本書における本文・挿図・表に示す遺構の略号は、以下の通りである。
- SA…杭列跡 SE…井戸跡 SD…溝跡
SK…土壌 SL…畠跡 ST…墓跡
SX…性格不明遺構 P…ピット・柱穴

- 5 本書に掲載した遺構番号は、発掘調査時に付した番号を一部振り替え、新旧の遺構名は一覧表に記した。
- 6 本書における挿図の縮尺は、以下のとおりである。但し、一部例外もあり、それについては図中に縮尺とスケールを示した。
- 調査区全体図 1:300
- 遺構図
- 杭列跡 井戸跡 土壌 墓跡 性格不明遺構 1:60
- 畠跡 1:200
- 溝跡 1:60 1:80 1:100 1:120
- 遺物実測図
- 陶磁器 瓦質土器 土師質土器 1:3 1:4
- 石製品 1:3 1:4 1:5
- 土製品 1:2
- 鉄製品 1:3
- 7 遺物実測図の表記方法は以下のとおりである。油煙付着範囲は網掛けで示し、砥具の砥面

E: 石英 F: 蛭石 G: 砂粒子

H: 赤色粒子 I: 白色粒子 I: 針狀物質

K: 黒色粒子 L: その他

・残存率は、図示した器形に対する大まかな遺存程度を%で示した。

・焼成は、良好・普通・不良の3段階に分けて示した。

・色調は『新版標準十色帖』に従った。

・備考には、注記No.・煤の付着・生産地・年代等を示した。

・大きさはcm、重さはg単位である。

・（ ）内の数値は推定値を示す。

・〔 〕内の数値は残存値を示す。

12 本書に使用した地形図は、国土地理院発行
1/50000地形図を編集の上使用した。

A: 雲母 B: 片岩 C: 角閃石 D: 長石

宣西 遺構名等變更一覽表

旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新
SE24(3次)	欠番	SE29(3次)	SE96	SE58(3次)	SE125	SE22(4次)	SE155	SK10(3次)	SK129
SE68(1次)	SE60	SE30(3次)	SK152	SE59(3次)	SE126	SE23(4次)	SE156	SK11(3次)	SK130
SE1(3次)	SE68	SE31(3次)	SE98	SE60(3次)	SE127	SD34(1次)	欠番	SK12(3次)	SK131
SE2(3次)	SE69	SE32(3次)	SE99	SE61(3次)	SE128	SD1(3次)	SD38	SK13(3次)	SK132
SE3(3次)	SE70	SE33(3次)	SK153	SE62(3次)	SE129	SD2(3次)	SD39	SK14(3次)	SK133
SE4(3次)	SE71	SE34(3次)	SE101	SE63(3次)	SE130	SD3(3次)	SD40	SK15(3次)	SE129
SE5(3次)	SE72	SE35(3次)	SE102	SE64(3次)	SE131	SD4(3次)	SD41	SK16(3次)	SK135
SE6(3次)	SE73	SE36(3次)	SE103	SE65(3次)	SE132	SD5(3次)	SD42	SK17(3次)	SK136
SE7(3次)	SE74	SE37(3次)	SE104	SE66(3次)	SE133	SD6(3次)	SD43	SK18(3次)	SE130
SE8(3次)	SE75	SE38(3次)	SE105	SE1(4次)	SE134	SD7(3次)	SD44	SK19(3次)	SK138
SE9(3次)	SE76	SE39(3次)	SE106	SE2(4次)	SE135	SD8(3次)	SD45	SK20(3次)	SK139
SE10(3次)	SE77	SE40(3次)	SE107	SE3(4次)	SE136	SD9(3次)	SD46	SK21(3次)	SK140
SE11(3次)	SE78	SE41(3次)	SE108	SE4(4次)	SE137	SD10(3次)	SD47	SK22(3次)	SK141
SE12(3次)	SE79	SE42(3次)	SE104	SE5(4次)	SE138	SD11(3次)	SD48	SK23(3次)	SK142
SE13(3次)	SE80	SE43(3次)	SE110	SE6(4次)	SE139	SD12(3次)	SD47	SK24(3次)	SK143
SE14(3次)	SE81	SE44(3次)	SE111	SE7(4次)	SE140	SD13(3次)	SD47	SK25(3次)	SK144
SE15(3次)	SE82	SE45(3次)	SE112	SE8(4次)	SE141	SD1(4次)	SD51	SK26(3次)	SK145
SE16(3次)	SK154	SE46(3次)	SE113	SE9(4次)	SE142	SD2(4次)	SD52	SK28(3次)	SE132
SE17(3次)	SE84	SE47(3次)	SE114	SE10(4次)	SE143	SK27(3次)・ SK2(4次)	欠番	SK29(3次)	SK148
SE18(3次)	SE85	SE48(3次)	SE115	SE11(4次)	SE144			SK30(3次)	SE133
SE19(3次)	SE86	SE49(3次)	SE116	SE12(4次)	SE145	SK34(1次)	SD26	SK31(3次)	SE125
SE20(3次)	SE87	SE50(3次)	SE117	SE13(4次)	SE146	SK1(3次)	SE127	SK32(3次)	SE120
SE21(3次)	SE88	SE51(3次)	SE118	SE14(4次)	SE147	SK2(3次)	SK121	SK33(3次)	SK152
SE22(3次)	SE89	SE52(3次)	SE119	SE15(4次)	SE148	SK3(3次)	SK122	SK34(3次)	SK153
SE23(3次)	SE90	SE53(3次)	SE120	SE16(4次)	SE149	SK4(3次)	SK123	SK35(3次)	SK154
SE25(3次)	SK155	SE54(3次)	SK151	SE17(4次)	SE150	SK5(3次)	SK124	SK36(3次)	SK155
SE26(3次)	SE93	SE55(3次)	SE122	SE18(4次)	SE151	SK6(3次)	SK125	SK1(4次)	SK156
SE27(3次)	SE94	SE56(3次)	SE123	SE19(4次)	SE152	SK7(3次)	SE126	SK3(4次)	SK158
SE28(3次)	SE95	SE57(3次)	SE124	SE20(4次)	SE153	SK8(3次)	SK127	SK-2	腹乱
				SE21(4次)	SE154	SK9(3次)	SE128	J-19GP5	J-18GP

宮東 遺構名等変更一覧表

旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新
SE24(5次)	欠番	SD2(4次)	SD70	SD355(5次)	SL1最18	SK31(1次)	ST1	SK183(5次)	SK376
SE14(1次)	SK154	SD3(4次)	SD71	SD356(5次)	SL1最17	SK41(1次)	ST2	SK184(5次)	SK377
SE50(1次)	SE5	SD4(4次)	SD72	SD357(5次)	SL1最16	SK77(1次)	ST3	SK185(5次)	SK378
SE2(2次)	SE83	SD5(4次)	SD73	SD358(5次)	SL1最15	SK123(1次)	SE107	SK186(5次)	SK379
SE3(2次)	SE84	SD6(4次)	SD74	SD359(5次)	SL1最14	SK126(1次)	欠番	SK187(5次)	SK380
SE5(2次)	SE86	SD7(4次)	SD75	SD360(5次)	SL1最13	SK131(1次)	SE87	SK188(5次)	SK381
SE6(2次)	SE87	SD8(4次)	SD76	SD361(5次)	SD432	SK139(1次)	欠番	SK189(5次)	SK382
SE7(2次)	SE88	SD9(4次)	SD77	SD362(5次)	SD584	SK163(1次)	SK159	SK190(5次)	SK383
				J-24					
SE8(2次)	SE89	SD11(4次)	SD79	SD362(5次)	SL1最22	SK165(1次)	SK161	SK191(5次)	SK384
				L-25					
SE9(2次)	SE90	SD12(4次)	SD80	SD363(5次)	SL1最23	SK166(1次)	SK162	SK192(5次)	SK385
SE10(2次)	SE91	SD13(4次)	SD81	SD364(5次)	SL1最24	SK1(2次)	SK163	SK193(5次)	SK386
SE11(2次)	SK451	SD14(4次)	SD82	SD365(5次)	SL1最25	SK7(2次)	SK169	SK194(5次)	SK387
SE12(2次)	SE93	SD17(4次)	SD85	SD366(5次)	SL1最26	SK252(2次)	SK447	SK195(5次)	SK388
SE13(2次)	SE94	SD18(4次)	SD86	SD367(5次)	SL1最27	SK1(4次)	SK192	SK196(5次)	SK389
SE14(2次)	SE95	SD19(4次)	SD87	SD368(5次)	SL1最28	SK5(4次)	SK196	SK197(5次)	SK390
SE15(2次)	SE96	SD20(4次)	SD88	SD369(5次)	SL1最29	SK9(4次)	SK200	SK198(5次)	SK391
SE16(2次)	SE97	SD21(4次)	欠番	SD370(5次)	SL1最30	SK10(4次)	ST4	SK199(5次)	SK392
SE20(2次)	SE101	SD22(4次)	SD90	SD371(5次)	SL1最31	SK11(4次)	SK202	SK200(5次)	SK393
SE21(2次)	SE102	SD23(4次)	SD91	SD372(5次)	SL1最32	SK13(4次)	SK204	SK201(5次)	SK394
SE23(2次)	SE104	SD24(4次)	SD92	SD373(5次)	SL1最33	SK14(4次)	SK205	SK202(5次)	SK395
SE24(2次)	SE105	SD26(4次)	SD94	SD374(5次)	SL1最34	SK15(4次)	SK206	SK203(5次)	SK396
SE25(2次)	SE106	SD29(5次)	SD400	SD375(5次)	SL1最35	SK16(4次)	SK207	SK204(5次)	SK397
SE26(2次)	SE107	SD30(5次)	SD401	SD376(5次)	SL1最36	SK17(4次)	SK208	SK205(5次)	SK398
SE27(2次)	SE108	SD331(5次)	SD402	SD377(5次)	SL1最37	SK20(4次)	SK211	SK206(5次)	SK399
SE28(2次)	SE68	SD332(5次)	SD403	SD378(5次)	SL1最38	SK21(4次)	SK212	SK207(5次)	SK400
SE29(2次)	SE110	SD333(5次)	SD404	SD379(5次)	SL1最39	SK22(4次)	SK213	SK208(5次)	SK401
SE30(2次)	SE111	SD334(5次)	SD405	SD380(5次)	SL1最40	SK23(4次)	SK214	SK209(5次)	SK402
SE1(4次)	SK316	SD335(5次)	SD406	SD381(5次)	SL1最41	SK24(4次)	SK215	SK210(5次)	SK403
SE2(4次)	SE116	SD336(5次)	SD407	SD382(5次)	SL1最42	SK252(4次)	SK316	SK211(5次)	SK404
SE3(4次)	SE117	SD337(5次)	SD408	SD383(5次)	SL1最43	SK164(5次)	SK357	SK212(5次)	SK405
SE4(4次)	SE118	SD338(5次)	SD409	SD384(5次)	SL1最44	SK165(5次)	SK358	SK213(5次)	SK406
SE5(4次)	SE119	SD339(5次)	SD410	SD385(5次)	SL1最45	SK166(5次)	SK359	SK214(5次)	SK407
SE8(4次)	SE122	SD340(5次)	SD411	SD386(5次)	SL1最1	SK167(5次)	SK360	SK215(5次)	SK408
SE9(4次)	SE123	SD341(5次)	SD412	SD387(5次)	SL1最2	SK168(5次)	SK361	SK216(5次)	SK409
SE10(4次)	SE124	SD342(5次)	SD413	SD388(5次)	SL1最3	SK169(5次)	SK362	SK217(5次)	SK410
SE11(4次)	SE125	SD343(5次)	SD414	SD389(5次)	SL1最4	SK170(5次)	SK363	SK218(5次)	SK411
SE12(4次)	SE126	SD344(5次)	SD415	SD390(5次)	SL1最5	SK171(5次)	SK364	SK219(5次)	SK412
SE13(4次)	SE127	SD345(5次)	SD416	SD391(5次)	SL1最6	SK172(5次)	SK365	SK220(5次)	SK413
SE19(5次)	SK448	SD346(5次)	SD417	SD392(5次)	SL1最7	SK173(5次)	SK366	SK221(5次)	SK414
SE20(5次)	SK452	SD347(5次)	SD418	SD393(5次)	SL1最8	SK174(5次)	SK367	SK222(5次)	SK415
SE21(5次)	SK449	SD348(5次)	SL2最4	SD394(5次)	SL1最9	SK175(5次)	SK368	SK223(5次)	SK416
SE22(5次)	SK453	SD349(5次)	SL2最3	SD395(5次)	SL1最10	SK176(5次)	SK369	SK224(5次)	SK417
SE23(5次)	SK454	SD350(5次)	SL2最2	SD396(5次)	SL1最11	SK177(5次)	SK370	SK225(5次)	SK418
SD21(1次)	SD13	SD351(5次)	SL2最1	SD397(5次)	SL1最12	SK178(5次)	SK371	SK226(5次)	SK419
SD26(1次)	SD52	SD352(5次)	SL1最21	SD398(5次)	SD469	SK179(5次)	SK372	SK253(5次)	SK448
SD1(3次)	SD69	SD353(5次)	SL1最20	SD399(5次)	SD470	SK180(5次)	SK373	SK254(5次)	SK449
SD1(4次)	SD69	SD354(5次)	SL1最19	SK19(1次)	SE8	SK181(5次)	SK374	M22GP1 (4次)	M22GP1 (5次)
								T38P5(6次)	T37P3
						SK182(5次)	SK375		

目 次

序

例言

凡例

目次

I 発掘調査の概要	1	2 遺構と遺物	132
1 発掘調査に至る経過	1	(1) 杭列	132
2 発掘調査・報告書作成の経過	2	(2) 井戸跡	132
3 発掘調査・報告書作成の組織	4	(3) 溝跡	183
II 遺跡の立地と環境	6	(4) 土壇	227
1 地理的環境	6	(5) 墓跡	249
2 歴史的環境	7	(6) 畠跡	251
III 遺跡の概要	10	(7) ビット	254
1 宮西・宮東遺跡の概要	10	(8) 遺構外出土遺物	258
IV 宮西遺跡の調査	12	VI 自然科学分析	262
1 調査の概要	12	1 宮西遺跡（第3次調査）の	
2 遺構と遺物	18	自然科学分析	262
(1) 井戸跡	18	2 宮西遺跡（第4次調査）の	
(2) 溝跡	75	自然科学分析	273
(3) 土壇	100	3 宮東遺跡（第1次調査）の	
(4) 性格不明遺構	116	自然科学分析	286
(5) ビット	121	4 宮東遺跡（第2次調査）の	
V 宮東遺跡の調査	122	自然科学分析	288
1 調査の概要	122	5 宮東遺跡（第4次調査）の	
		自然科学分析	294
		VII 調査のまとめ	297

写真図版

挿図目次

第1図	埼玉県の地形	6	第35図	井戸跡(26)	44
第2図	周辺の遺跡	8	第36図	井戸跡出土遺物(1)	47
第3図	遺跡位置図	11	第37図	井戸跡出土遺物(2)	48
宮西遺跡			第38図	井戸跡出土遺物(3)	49
第4図	基本土層	12	第39図	井戸跡出土遺物(4)	50
第5図	全体図(1)	13	第40図	井戸跡出土遺物(5)	51
第6図	全体図(2)	14	第41図	井戸跡出土遺物(6)	52
第7図	全体図(3)	15	第42図	井戸跡出土遺物(7)	53
第8図	全体図(4)	16	第43図	井戸跡出土遺物(8)	54
第9図	全体図(5)	17	第44図	井戸跡出土遺物(9)	55
第10図	井戸跡(1)	19	第45図	井戸跡出土遺物(10)	56
第11図	井戸跡(2)	20	第46図	井戸跡出土遺物(11)	57
第12図	井戸跡(3)	21	第47図	井戸跡出土遺物(12)	58
第13図	井戸跡(4)	22	第48図	井戸跡出土遺物(13)	59
第14図	井戸跡(5)	23	第49図	井戸跡出土遺物(14)	60
第15図	井戸跡(6)	24	第50図	井戸跡出土遺物(15)	61
第16図	井戸跡(7)	25	第51図	井戸跡出土遺物(16)	62
第17図	井戸跡(8)	26	第52図	井戸跡出土遺物(17)	63
第18図	井戸跡(9)	27	第53図	井戸跡出土遺物(18)	64
第19図	井戸跡(10)	28	第54図	井戸跡出土遺物(19)	65
第20図	井戸跡(11)	29	第55図	井戸跡出土遺物(20)	66
第21図	井戸跡(12)	30	第56図	井戸跡出土遺物(21)	67
第22図	井戸跡(13)	31	第57図	井戸跡出土遺物(22)	68
第23図	井戸跡(14)	32	第58図	井戸跡出土遺物(23)	69
第24図	井戸跡(15)	33	第59図	井戸跡出土遺物(24)	70
第25図	井戸跡(16)	34	第60図	溝跡(1)	76
第26図	井戸跡(17)	35	第61図	溝跡(2)	77
第27図	井戸跡(18)	36	第62図	溝跡(3)	78
第28図	井戸跡(19)	37	第63図	溝跡(4)	79
第29図	井戸跡(20)	38	第64図	溝跡(5)	80
第30図	井戸跡(21)	39	第65図	溝跡(6)	81
第31図	井戸跡(22)	40	第66図	溝跡(7)	82
第32図	井戸跡(23)	41	第67図	溝跡(8)	83
第33図	井戸跡(24)	42	第68図	溝跡(9)	84
第34図	井戸跡(25)	43	第69図	溝跡(10)	85

第70図	溝跡(11)	86	第104図	全体図(6)	129
第71図	溝跡(12)	87	第105図	全体図(7)	130
第72図	溝跡(13)	88	第106図	全体図(8)	131
第73図	溝跡(14)	89	第107図	第3～5号杭列跡	133
第74図	溝跡(15)	90	第108図	井戸跡(1)	134
第75図	溝跡(16)	91	第109図	井戸跡(2)	135
第76図	溝跡出土遺物(1)	93	第110図	井戸跡(3)	136
第77図	溝跡出土遺物(2)	94	第111図	井戸跡(4)	137
第78図	溝跡出土遺物(3)	95	第112図	井戸跡(5)	138
第79図	溝跡出土遺物(4)	96	第113図	井戸跡(6)	139
第80図	溝跡出土遺物(5)	97	第114図	井戸跡(7)	140
第81図	溝跡出土遺物(6)	98	第115図	井戸跡(8)	141
第82図	土壌(1)	101	第116図	井戸跡(9)	142
第83図	土壌(2)	102	第117図	井戸跡(10)	143
第84図	土壌(3)	103	第118図	井戸跡(11)	144
第85図	土壌(4)	104	第119図	井戸跡(12)	145
第86図	土壌(5)	105	第120図	井戸跡(13)	146
第87図	土壌(6)	106	第121図	井戸跡(14)	147
第88図	土壌(7)	107	第122図	井戸跡(15)	148
第89図	土壌(8)	108	第123図	井戸跡(16)	149
第90図	土壌(9)	109	第124図	井戸跡(17)	150
第91図	土壌出土遺物(1)	111	第125図	井戸跡(18)	151
第92図	土壌出土遺物(2)	112	第126図	井戸跡(19)	152
第93図	土壌出土遺物(3)	113	第127図	井戸跡(20)	153
第94図	第1号性格不明遺構	116	第128図	井戸跡(21)	154
第95図	第1号性格不明遺構 出土遺物(1)	118	第129図	井戸跡出土遺物(1)	157
第96図	第1号性格不明遺構 出土遺物(2)	119	第130図	井戸跡出土遺物(2)	158
第97図	ビット	121	第131図	井戸跡出土遺物(3)	159
宮東遺跡			第132図	井戸跡出土遺物(4)	160
第98図	基本土層	123	第133図	井戸跡出土遺物(5)	161
第99図	全体図(1)	124	第134図	井戸跡出土遺物(6)	162
第100図	全体図(2)	125	第135図	井戸跡出土遺物(7)	163
第101図	全体図(3)	126	第136図	井戸跡出土遺物(8)	164
第102図	全体図(4)	127	第137図	井戸跡出土遺物(9)	165
第103図	全体図(5)	128	第138図	井戸跡出土遺物(10)	166
			第139図	井戸跡出土遺物(11)	167
			第140図	井戸跡出土遺物(12)	168

第141図	井戸跡出土遺物 (13)	169	第178図	溝跡出土遺物 (5)	215
第142図	井戸跡出土遺物 (14)	170	第179図	溝跡出土遺物 (6)	216
第143図	井戸跡出土遺物 (15)	171	第180図	溝跡出土遺物 (7)	217
第144図	井戸跡出土遺物 (16)	172	第181図	溝跡出土遺物 (8)	218
第145図	井戸跡出土遺物 (17)	173	第182図	溝跡出土遺物 (9)	219
第146図	井戸跡出土遺物 (18)	174	第183図	溝跡出土遺物 (10)	220
第147図	井戸跡出土遺物 (19)	175	第184図	溝跡出土遺物 (11)	221
第148図	井戸跡出土遺物 (20)	176	第185図	溝跡出土遺物 (12)	222
第149図	溝跡 (1)	184	第186図	土城 (1)	229
第150図	溝跡 (2)	185	第187図	土城 (2)	230
第151図	溝跡 (3)	186	第188図	土城 (3)	231
第152図	溝跡 (4)	187	第189図	土城 (4)	232
第153図	溝跡 (5)	188	第190図	土城 (5)	233
第154図	溝跡 (6)	189	第191図	土城 (6)	234
第155図	溝跡 (7)	190	第192図	土城 (7)	235
第156図	溝跡 (8)	191	第193図	土城 (8)	236
第157図	溝跡 (9)	192	第194図	土城 (9)	237
第158図	溝跡 (10)	193	第195図	土城 (10)	238
第159図	溝跡 (11)	194	第196図	土城 (11)	239
第160図	溝跡 (12)	195	第197図	土城 (12)	240
第161図	溝跡 (13)	196	第198図	土城 (13)	241
第162図	溝跡 (14)	197	第199図	土城出土遺物 (1)	245
第163図	溝跡 (15)	198	第200図	土城出土遺物 (2)	246
第164図	溝跡 (16)	199	第201図	土城出土遺物 (3)	247
第165図	溝跡 (17)	200	第202図	第1～4号墓跡・出土遺物	250
第166図	溝跡 (18)	201	第203図	第1・2号墓跡 (1)	252
第167図	溝跡 (19)	202	第204図	第1・2号墓跡 (2)	253
第168図	溝跡 (20)	203	第205図	第17号墓跡	253
第169図	溝跡 (21)	204	第206図	グリッドピット (1)	255
第170図	溝跡 (22)	205	第207図	グリッドピット (2)	256
第171図	溝跡 (23)	206	第208図	グリッド出土遺物	259
第172図	溝跡 (24)	207	第209図	表探遺物	260
第173図	溝跡 (25)	208	第210図	各地点の模式柱状図および 試料採取位置	263
第174図	溝跡出土遺物 (1)	211	第211図	軽石屈折率	266
第175図	溝跡出土遺物 (2)	212	第212図	花粉化石群集	267
第176図	溝跡出土遺物 (3)	213	第213図	テフラ	270
第177図	溝跡出土遺物 (4)	214			

第214図	花粉化石	271	第222図	テフラ・珪藻化石	222
第215図	木材	272	第223図	花粉化石	284
第216図	SE68掘方試料番号6の外観および 試料採取位置	273	第224図	植物珪藻体	285
第217図	各地点の模式柱状図および 試料採取位置	274	第225図	出土骨	287
第218図	軽石屈折率	275	第226図	花粉化石	292
第219図	主要珪藻化石群集	277	第227図	木材	293
第220図	主要花粉化石群集	279	第228図	出土人骨	295
第221図	植物珪藻体含有量	280	第229図	時期別遺構分布(1)	299
			第230図	時期別遺構分布(2)	300

表目次

第1表	周辺の遺跡一覧表	9	第19表	畠跡出土遺物観察表	253
宮西遺跡			第20表	畠跡一覧表	254
第2表	井戸跡一覧表	44	第21表	ビット一覧表	256
第3表	井戸跡出土遺物観察表	71	第22表	グリッド出土遺物観察表	260
第4表	溝跡一覧表	92	第23表	表探遺物観察表	261
第5表	溝跡出土遺物観察表	98	第24表	テフラ分析結果	265
第6表	土壌一覧表	110	第25表	花粉分析結果	266
第7表	土壌出土遺物観察表	114	第26表	樹種同定結果	269
第8表	性格不明遺構出土遺物観察表	120	第27表	テフラ分析結果	275
第9表	ビット一覧表	121	第28表	珪藻分析結果	278
宮東遺跡			第29表	花粉分析結果	279
第10表	杭列一覧表	134	第30表	植物珪藻体含有量	280
第11表	井戸跡一覧表	154	第31表	検出分類群一覧	286
第12表	井戸跡出土遺物観察表	177	第32表	骨同定結果	286
第13表	溝跡一覧表	208	第33表	放射性炭素年代測定 および暦年校正結果	289
第14表	溝跡出土遺物観察表	223	第34表	樹種同定結果	289
第15表	土壌一覧表	242	第35表	花粉分析結果	291
第16表	土壌出土遺物観察表	248	第36表	歯式および計測値	294
第17表	墓跡一覧表	251	第37表	遺構ごとの遺物総数一覧表	301
第18表	墓跡出土遺物観察表	251			

写真図版目次

宮西遺跡

図版 1	1	宮西遺跡遠景（東から）
	2	宮西遺跡調査区全景
図版 2	1	宮西 1 次調査区全景（西から）
	2	宮西 4 次調査区全景
	3	宮西 3 次調査区全景（北西から）
	4	宮西 4 次調査区全景（東から）
	5	西井戸群
	6	第 2 号井戸跡
	7	第 3 号井戸跡
	8	第 4 号井戸跡
	9	第 5・8・9 号井戸跡
	10	第 6 号井戸跡
	11	第 7 号井戸跡
	12	第 9 号井戸跡
	13	第 10 号井戸跡
図版 3	1	第 11 号井戸跡
	2	第 13 号井戸跡
	3	第 14 号井戸跡
	4	第 15・16・20 号井戸跡
	5	第 15 号井戸跡
	6	第 18 号井戸跡
	7	第 19 号井戸跡
	8	第 19 号井戸跡集石出土状況
	9	第 21 号井戸跡
	10	第 22 号井戸跡
	11	第 24 号井戸跡
	12	第 25 号井戸跡
	13	第 25 号井戸跡遺物出土状況
	14	第 26 号井戸跡
	15	第 27 号井戸跡
	16	第 28 号井戸跡
	17	第 29 号井戸跡遺物出土状況
	18	第 30 号井戸跡
図版 4	1	第 30（A・B）号井戸跡

	2	第 33 号井戸跡
	3	第 34 号井戸跡
	4	第 35 号井戸跡
	5	第 36 号井戸跡
	6	第 37 号井戸跡
	7	第 38 号井戸跡
	8	第 40 号井戸跡
	9	第 41 号井戸跡
	10	第 43 号井戸跡
	11	第 44 号井戸跡
	12	第 41・45・60・62 号井戸跡
	13	第 46 号井戸跡
	14	第 47 号井戸跡
	15	第 49 号井戸跡
	16	第 50 号井戸跡
	17	第 51 号井戸跡
	18	第 52 号井戸跡
図版 5	1	第 53・54・57 号井戸跡
	2	第 56 号井戸跡
	3	第 58 号井戸跡
	4	第 59・61 号井戸跡
	5	第 63 号井戸跡
	6	第 64 号井戸跡
	7	第 65 号井戸跡
	8	第 66 号井戸跡
	9	第 67 号井戸跡
	10	第 71 号井戸跡
	11	第 72 号井戸跡
	12	第 73 号井戸跡
	13・14	第 74 号井戸跡遺物出土状況 (1)(2)
	15	第 75 号井戸跡
	16	第 77 号井戸跡
	17	第 80 号井戸跡遺物出土状況
	18	第 80 号井戸跡

- 図版 6
- 1 第82号井戸跡
 - 2 第85号井戸跡遺物出土状況
 - 3 第88号井戸跡
 - 4 第89号井戸跡
 - 5 第90号井戸跡
 - 6 第96号井戸跡
 - 7 第98号井戸跡
 - 8・9 第103号井戸跡 (1)(2)
 - 10 第104号井戸跡
 - 11 第106号井戸跡
 - 12 第116号井戸跡
 - 13 第117号井戸跡
 - 14 第118号井戸跡
 - 15 第119号井戸跡
 - 16 第119号井戸跡遺物出土状況
 - 17 第122号井戸跡遺物出土状況
 - 18 第123号井戸跡

- 図版 7
- 1 第125号井戸跡
 - 2・3 第126号井戸跡遺物出土状況
(1)(2)
 - 4 第127号井戸跡
 - 5 第130号井戸跡
 - 6 第132号井戸跡
 - 7 第133号井戸跡
 - 8 第134号井戸跡
 - 9 第135号井戸跡
 - 10 第136号井戸跡
 - 11 第137号井戸跡
 - 12 第138号井戸跡
 - 13 第139号井戸跡
 - 14 第140号井戸跡
 - 15 第141号井戸跡
 - 16 第142号井戸跡断面
 - 17 第143号井戸跡
 - 18 第145号井戸跡

- 図版 8
- 1 第146号井戸跡
 - 2 第148号井戸跡

- 3 第150号井戸跡
- 4 第151・152号井戸跡
- 5 第154号井戸跡
- 6 第155号井戸跡遺物出土状況
- 7 第156号井戸跡
- 8 第24・32号溝跡
- 9 第26・28号溝跡
- 10 第33号溝跡
- 11 第38号溝跡
- 12 第40号溝跡遺物出土状況
- 13 第43号溝跡
- 14 第44号溝跡
- 15 第47号溝跡
- 16 第51号溝跡
- 17 第51号溝跡遺物出土状況
- 18 第52号溝跡

- 図版 9
- 1 第7・25・26号土壇
 - 2 第10号土壇
 - 3 第11号土壇
 - 4 第12号土壇
 - 5 第13号土壇
 - 6 第16号土壇
 - 7 第19・20・27・28号土壇
 - 8 第22号土壇
 - 9 第23・24号土壇
 - 10 第201号土壇
 - 11 第29号土壇
 - 12 第31号土壇
 - 13 第34号土壇
 - 14 第39号土壇
 - 15 第40号土壇
 - 16 第53号土壇
 - 17 第55号土壇
 - 18 第57号土壇

- 図版 10
- 1 第59号土壇
 - 2 第121号土壇
 - 3 第127号土壇

4	第128号土壌	12	第11号井戸跡
5	第131号土壌	13	第12号井戸跡
6	第133号土壌	14	第13号井戸跡
7	第135号土壌	15	第14号井戸跡
8	第135号土壌遺物出土状況	16	第16号井戸跡
9	第138号土壌	17	第17号井戸跡
10	第138号土壌遺物出土状況	18	第19号井戸跡
11	第140号土壌遺物出土状況	図版14	1 第20号井戸跡
12	第141・143号土壌	2	第21号井戸跡
13	第148号土壌断面	3	第24号井戸跡
14	第152・153号土壌	4	第26号井戸跡
15	第154号土壌	5	第27号井戸跡
16	第155号土壌	6	第28号井戸跡
17	第156号土壌	7	第29号井戸跡
18	第158号土壌	8	第30号井戸跡
		9	第32号井戸跡
		10	第34号井戸跡
		11	第35号井戸跡
		12	第36号井戸跡
		13	第307号井戸跡
		14	第38号井戸跡
		15	第39号井戸跡
		16	第40号井戸跡
		17	第40号井戸跡遺物出土状況
		18	第41号井戸跡
		図版15	1 第42号井戸跡
		2	第42号井戸跡遺物出土状況
		3	第44号井戸跡
		4	第46号井戸跡
		5	第48号井戸跡
		6	第49号井戸跡
		7	第50号井戸跡
		8	第51号井戸跡
		9	第52号井戸跡
		10	第54号井戸跡
		11	第55号井戸跡
		12	第56号井戸跡
宮東遺跡			
図版11	1 宮東遺跡遠景（西から）		
	2 宮東遺跡調査区全		
図版12	1 宮東1次調査区西側（東側から）		
	2 宮東1次調査区西側（北側から）		
	3 宮東1次調査区中央（西側から）		
	4 宮東1次調査区中央（東側から）		
	5 宮東1次調査区東側（西側から）		
	6 宮東1次調査区東側（東側から）		
	7 宮東5次調査区全景（西側から）		
	8 宮東5次調査区全景（東側から）		
図版13	1 第3・4号杭列		
	2 第5号杭列		
	3 第1号井戸跡		
	4 第1号井戸跡遺物出土状況		
	5 第2号井戸跡		
	6 第2号井戸跡遺物出土状況		
	7 第3号井戸跡		
	8 第3号井戸跡遺物出土状況		
	9 第4号井戸跡		
	10 第6号井戸跡		
	11 第8号井戸跡		

	13	第57号井戸跡
	14	第57号井戸跡遺物出土状況
	15	第59号井戸跡
	16	第60号井戸跡
	17	第61号井戸跡
	18	第63号井戸跡
図版16	1	第64号井戸跡
	2	第64号井戸跡遺物出土状況
	3	第66号井戸跡
	4	第67号井戸跡
	5	第68号井戸跡
	6	第68号井戸跡遺物出土状況
	7	第69号井戸跡
	8	第71号井戸跡
	9	第72号井戸跡
	10	第73号井戸跡
	11	第74号井戸跡遺物出土状況
	12	第76・78号井戸跡
	13	第80号井戸跡
	14	第83号井戸跡
	15・16	第84号井戸跡遺物出土状況 (1)(2)
	17	第86号井戸跡
	18	第87号井戸跡
図版17	1	第88号井戸跡
	2	第90号井戸跡
	3	第91号井戸跡
	4	第94号井戸跡
	5・6	第95号井戸跡遺物出土状況 (1)(2)
	7	第96号井戸跡遺物出土状況
	8	第97号井戸跡
	9	第97号井戸跡遺物出土状況
	10	第101号井戸跡
	11	第101号井戸跡遺物出土状況
	12	第105号井戸跡
	13	第107号井戸跡

	14・15	第107号井戸跡遺物出土状況 (1)(2)
	16	第108号井戸跡
	17	第110号井戸跡
	18	第111号井戸跡
図版18	1	第116号井戸跡遺物出土状況
	2	第118号井戸跡
	3・4	第122号井戸跡遺物出土状況 (1)(2)
	5	第123号井戸跡遺物出土状況
	6	第124号井戸跡
	7	第125号井戸跡
	8	第126号井戸跡
	9	第1号溝跡遺物出土状況
	10	第1号溝跡(杭列1~3)
	11	第1号溝跡(杭列1~4)
	12	第1号溝跡遺物出土状況
	13	第15号溝跡
	14	第15号溝跡遺物出土状況
	15	第46号溝跡
	16	第47号溝跡遺物出土状況
	17	第70号溝跡
	18	第70号溝跡遺物出土状況
図版19	1	第15号溝跡
	2	第73・74号溝跡遺物出土状況
	3	第77号溝跡遺物出土状況
	4・5	第329~311号溝跡(1)(2)
	5	第329~311号溝跡
	6	第332~311・339~341号溝跡
	7	第335号溝跡
	8	第336・337号溝跡
	9	第413・417・418号溝跡
	10	第414号溝跡
	11	第415号溝跡
	12	第416号溝跡
	13	第432号溝跡
	14	第469号溝跡

	15	第584号溝跡
	16	第32号土壇
	17	第32号土壇遺物出土状況
	18	第32号土壇
図版20	1	第107号土壇
	2	第118号土壇
	3	第119号土壇
	4	第125号土壇
	5	第126号土壇
	6・7	第163号土壇遺物出土状況 (1)(2)
	8	第169号土壇
	9	第192号土壇遺物出土状況
	10	第357号土壇
	11	第358号土壇
	12	第359号土壇
	13	第202号土壇
	14	第360号土壇
	15	第366号土壇
	16	第372号土壇
	17	第375号土壇
	18	第377号土壇
図版21	1	第378号土壇
	2	第380号土壇
	3	第385号土壇
	4	第386号土壇
	5	第387号土壇
	6	第388号土壇
	7	第389号土壇
	8	第393号土壇
	9	第396号土壇
	10	第397号土壇
	11	第399・400・410号土壇
	12	第401号土壇
	13	第402・408号土壇
	14	第409号土壇
	15	第415号土壇

	16	第417号土壇
	17	第418号土壇
	18	第447号土壇
図版22	1・2	第1号墓跡遺物出土状況 (1)(2)
	3・4	第2号墓跡遺物出土状況 (1)(2)
	5	第3号墓跡
	6～10	第3号墓跡遺物出土状況 (1～5)
	11	第4号墓跡
	12・13	第4号墓跡遺物出土状況 (1)(2)
	14～16	第1号冢跡
	15	第1号冢跡
	16	第1号冢跡
	17	第2号冢跡
	18	第17号冢跡

宮西遺跡

図版23	1	第39号井戸跡
	2～7	第60号井戸跡
	8	第76号井戸跡
	9～12	第126号井戸跡
	13	第128号井戸跡
	14	第149号井戸跡
	15	第152号井戸跡

図版24	1～3	第44号溝跡
	4・5	第121号土壇
	6～9	第135号土壇
	10～13	第1号性格不明遺構

宮東遺跡

図版25	1・2	第1号井戸跡
	3・4	第2号井戸跡
	5～9	第16号井戸跡
	10	第38号井戸跡
	11	第40号井戸跡
	12	第43号井戸跡

	13	第50号井戸跡
図版26	1	第101号井戸跡
	2・3	第107号井戸跡
	4	第117号井戸跡
	5・6	第122号井戸跡
	7	第124号井戸跡
	8	第2号溝跡
	9	第15号溝跡
図版27	1～3	第15号溝跡
	4～6	第18号溝跡
	7	第29号溝跡
	8	第42号溝跡
	9	第45号溝跡
	10	第46号溝跡
	11・12	第47号溝跡
	13	第52号溝跡
図版28	1	第52号溝跡
	2～4	第69号溝跡
	5	第70号溝跡
	6～9	第73号溝跡
	10～12	第74号溝跡
図版29	1～8	第74号溝跡
図版30	1～8	第74号溝跡

9・10	第77号溝跡
11	第109号土壇
12	第163号土壇
13	第202号土壇

宮西遺跡

図版31	1	宮西第74号井戸跡
	2・3	宮西第80号井戸跡
	4～6	宮西第25号井戸跡

宮西・宮東遺跡

図版32	1	宮西第80号井戸跡
	2	宮東第42号井戸跡
	3	宮東第64号井戸跡
	4	宮東第40号井戸跡
	5	宮東64号井戸跡
	6	宮東68号井戸跡
図版33	1	宮東第1号溝跡
	2～4	宮東第15号溝跡
	5	宮東第40号井戸跡
	6	宮東第118号井戸跡
	7	宮東第15号溝跡
図版34	1	宮西石製品
	2	宮東石製品
	3	宮東金属製品

I 発掘調査の概要

1 発掘調査に至る経過

国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所では「利根川水系利根川・江戸川河川整備計画【大臣管理区間】」に基づき、首都圏氾濫区域堤防強化対策事業として、利根川右岸の堤防を拡張し、強化する事業を進めている。

埼玉県教育局市町村支援部文化資源課では、国が実施するこうした公共開発事業に係る埋蔵文化財の保護について、従前より関係機関と事前協議を重ね、調整を図ってきたところである。

首都圏氾濫区域堤防強化対策事業に係る埋蔵文化財の所在及び取扱いについては、利根川上流河川事務所長から平成17年1月20日付け利上沿第18号で、埼玉県教育委員会教育長宛て、埋蔵文化財の所在及びその取扱いについて照会がなされた。

事業予定区域については、埋蔵文化財の詳細な状況等を把握するための確認調査を実施する必要がある旨を、平成17年3月17日付け教生文第1780号で回答した。

「宮西遺跡」(Na69-040)は、平成22年7月に確認調査を実施し、新たに中世以降の遺構が確認されたため、平成22年7月6日付けで遺跡台帳に登録された。埋蔵文化財の所在が明確になったことから、平成22年7月23日付け教生文第790-1号で、記録保存のための発掘調査が必要である旨を回答した。その後、事業の計画変更及び埋蔵文化財の現状保存は困難との結論に達したため、発掘調査の措置を講ずることとした(1～2次)。この発掘調査と平成25年1月に実施した試掘調査により平成25年1月17日付けで遺跡の範囲を拡大変更し、平成25年2月18日付け教生文第2035-1号で発掘調査が必要である旨回答した(3～4次)。「宮東遺跡」(Na69-042)についても、平成23年10月に実施した試掘調査の成果から平成23年10月31日付けで遺跡台帳に登録した遺跡である。そ

の後、事業の進捗に伴って平成26年2月に実施した試掘調査の成果から平成26年2月27日付けで東に範囲を拡大した。埋蔵文化財の取扱い、平成23年11月17日付け教生文第1543-1号、平成26年3月31日付け教生文第2691-1号で発掘調査が必要な旨を回答した(1次～6次)。

両遺跡の発掘調査に際しては、発掘調査実施機関である公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団と、利根川上流河川事務所、生涯学習文化財課(当時)の三者で定期的に会議を開催し、各種の調整を行った。

文化財保護法第94条第1項の規定に基づく利根川上流河川事務所長からの通知に対する同条第4項の規定による埼玉県教育委員会教育長からの勧告は以下のとおりである。

平成23年3月18日付け教生文第4-1404号

平成26年2月27日付け教文資第4-1633号

文化財保護法第92条第1項の規定に基づく公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団理事長からの発掘調査届に対する埼玉県教育委員会教育長からの指示通知は以下のとおりである。

宮西遺跡

1次 平成23年11月7日付け教生文第2-55号

2次 平成24年4月20日付け教生文第2-7号

3次 平成25年10月3日付け教生文第2-40号

4次 平成26年9月12日付け教生文第2-38号

宮東遺跡

1次 平成24年4月20日付け教生文第2-8号

2次 平成25年5月24日付け教生文第2-9号

3次 平成26年2月5日付け教生文第2-61号

4次 平成26年5月15日付け教生文第2-6号

5次 平成27年6月1日付け教生文第2-16号

6次 平成28年5月19日付け教生文第2-5号

(埼玉県教育局市町村支援部文化資源課)

2 発掘調査・報告書作成の経過

(1) 発掘調査

宮西遺跡及び宮東遺跡の発掘調査は、首都圏氾濫区域堤防強化対策事業に伴って実施された。

宮西遺跡の発掘調査は平成23年度（第1次）・平成24年度（第2次）・平成25年度（第3次）・平成26年度（第4次）の4箇年度にわたって実施し、調査対象面積は7,138.46㎡である。

宮東遺跡の発掘調査は平成24年度（第1次）・平成25年度（第2次・第3次）・平成26年度（第4次）・平成27年度（第5次）・平成28年度（第6次）の5箇年度にわたって実施した。調査対象面積は9,570.56㎡である。

宮西遺跡第1次調査（平成23年度）

調査期間：平成23年11月1日～1月31日

調査面積：2,500㎡

発掘事務所の設置：11月当初

囲柵、重機による表土除去作業：11月上旬

補助員による遺構確認作業：11月中旬

基準点測量・グリッド杭打設作業：11月中旬

精査、遺構測量、撮影：11月下旬～1月下旬

空中写真撮影：1月中旬

撤収：1月末

宮西遺跡第2次調査（平成24年度）

調査期間：平成24年4月6日～5月31日

調査面積：2,500㎡

動力工事、重機による表土除去作業：4月上旬

補助員による遺構確認作業：4月中旬

基準点測量及びグリッド杭打設作業：4月中旬

精査、遺構測量、撮影：4月下旬～5月下旬

空中写真撮影：5月中旬

重機による埋戻し、撤収：5月末

宮西遺跡第3次調査（平成25年度）

調査期間：平成25年10月1日～2月28日

調査面積：2,268.46㎡

囲柵、動力工事：10月上旬

重機による表土除去作業：10月上旬～下旬、12月中旬

補助員による遺構確認作業：10月下旬

基準点測量及びグリッド杭打設作業：10月下旬、12月中旬

精査、遺構測量、撮影：11月上旬～2月下旬

空中写真撮影：12月中旬

重機による埋戻し：2月末

宮西遺跡第4次調査（平成26年度）

調査期間：平成26年10月1日～12月31日

調査面積：2,370㎡

囲柵、動力、重機による表土除去作業：10月上旬～中旬

補助員による遺構確認作業：10月中旬

基準点測量及びグリッド杭打設作業：10月末

精査、遺構測量、撮影：10月下旬～12月下旬

空中写真撮影：12月中旬

重機による埋戻し：1月上旬

宮東遺跡第1次調査（平成24年度）

調査期間：平成24年4月6日～3月31日

調査面積：4,342.56㎡

囲柵、動力工事：4月上旬～4月中旬

重機による表土除去作業：4月上旬～5月下旬、8月上旬～中旬、1月上旬～2月上旬

補助員による遺構確認作業：4月下旬

基準点測量及びグリッド杭打設作業：5月中旬～下旬、8月下旬、1月下旬～2月上旬

精査、遺構測量、撮影：5月上旬～3月中旬

空中写真撮影：7月・11月下旬、3月上旬

撤収：3月末

宮東遺跡第2次調査（平成25年度）

調査期間：平成25年4月1日～9月31日

調査面積：4,342.56㎡

重機による表土除去作業：4月上旬、7月上旬

補助員による遺構確認作業：4月中旬

基準点測量及びグリッド杭打設作業：4月中旬、7月中旬
 精査、遺構測量、撮影：4月下旬～9月下旬
 空中写真撮影：6月下旬
 重機による埋戻し：9月上旬～下旬
 宮東遺跡第3次調査（平成25年度）
 調査期間：平成26年2月3日～3月31日
 調査面積：882㎡
 囲柵、動力工事：2月上旬
 重機による表土除去作業：2月上旬～下旬
 補助員による遺構確認作業：3月上旬
 基準点測量及びグリッド杭打設作業：2月下旬
 撤収：3月下旬
 宮東遺跡第4次調査（平成26年度）
 調査期間：平成26年4月1日～3月31日
 調査面積：5,228㎡
 囲柵、動力工事：4月中旬
 重機による表土除去作業：4月上旬～5月下旬、6月中旬～7月上旬、12月中旬～下旬、3月中旬
 補助員による遺構確認作業：4月下旬
 基準点測量及びグリッド杭打設作業：6月上旬、8月下旬、2月中旬
 精査、遺構測量、撮影：5月上旬～3月中旬
 空中写真撮影：6月上旬、1月下旬
 撤収：3月末
 宮東遺跡第5次調査（平成27年度）
 調査期間：平成27年4月1日～3月31日
 調査面積：5,864㎡
 囲柵、動力工事：4月中旬、8月中旬
 重機による表土除去作業：7月中旬～8月下旬、11月中旬
 補助員による遺構確認作業：9月上旬
 基準点測量及びグリッド杭打設作業：8月末～9月初旬、11月下旬
 精査、遺構測量、撮影：4月上旬～3月下旬
 空中写真撮影：7月上旬、10月下旬

撤収：3月末
 宮東遺跡第6次調査（平成28年度）
 調査期間：平成28年4月1日～7月31日
 調査面積：2,814㎡
 精査、遺構測量、撮影：4月上旬～7月上旬
 空中写真撮影：5月下旬
 重機による埋戻し、撤収：7月中旬～末

（2）整理報告書の作成

整理・報告書作成事業は、平成30年10月1日から令和4年3月31日まで実施した。平成30年10月1日～令和3年3月31日までの整理作業の成果は、令和3年3月下旬に埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第467集『宮西Ⅰ／宮東Ⅰ』として刊行された。令和3年度の整理作業は、遺物の水洗・註記を令和3年4月から行い、続いて接合作業を行った。接合した遺物は、実測図を作成し、トレースを行い、必要に応じて拓本を採った。これらはスキャナを使用してデジタル・データ化し、レイアウト・編集して印刷用の挿図版下データを作成した。また令和3年11月に遺物写真を撮影し、写真図版の版下データを編集・作成した。

遺構は、発掘調査で作成された平面図・土層断面図を修正・編集した第二原図を作成した。パソコンを使用してデジタル・トレースと編集作業を行い、印刷用の挿図版下データを作成した。遺構写真は、発掘調査で撮影されたものの中から選択・編集し、写真図版用の版下データを作成した。令和3年9月から作成した遺構・遺物のデータ等をもとに原稿を執筆し、遺構・遺物の挿図と写真図版を組み合わせて割付を作成した。完了後印刷業者に入稿し、校正を3回行い、令和4年3月下旬に埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第475集『宮西Ⅱ／宮東Ⅱ』を刊行した。図面類・写真類・データ類・遺物等の諸資料は、令和4年3月から整理・分類を行い、埼玉県埋蔵文化財収蔵施設の収蔵庫へ仮収納した。

3 発掘調査・報告書作成の組織

平成23年度（発掘調査）

理 事 長	藤 野 龍 宏	調査部	
常務理事兼総務部長	根 本 勝	調 査 部 長	小 野 美代子
総務部		調 査 部 副 部 長	鋤 持 和 夫
総 務 部 副 部 長	金 子 直 行	調査監兼調査第一課長	富 田 和 夫
総 務 課 長	矢 島 将 和	主 査	吉 田 稔
		主 事	橋 本 脩 平

平成24年度（発掘調査）

理 事 長	中 村 英 樹	調 査 部 副 部 長	鋤 持 和 夫
常務理事兼総務部長	根 本 勝	調 査 第 二 課 長	黒 坂 禎 二
総務部		主 査	田 中 広 明
総 務 部 副 部 長	富 田 和 夫	主 査	山 本 靖
総 務 課 長	矢 島 将 和	主 事	高屋敷 飛 鳥
調査部		主 事	中 泉 雄 太
調 査 部 長	昼 間 孝 志		

平成25年度（発掘調査）

理 事 長	中 村 英 樹	調査部	
常務理事兼総務部長	大 嶋 紳一郎	調 査 部 長	昼 間 孝 志
総務部		調 査 部 副 部 長	鋤 持 和 夫
総 務 部 副 部 長	富 田 和 夫	調 査 第 一 課 長	細 田 勝
総 務 課 長	藤 倉 英 明	主 査	田 中 広 明
		主 事	渡 邊 理伊知

平成26年度（発掘調査）

理 事 長	樋 田 明 男	調 査 部 副 部 長	富 田 和 夫
常務理事兼総務部長	大 嶋 紳一郎	調査監兼調査第一課長	赤 熊 浩 一
総務部		主 査	田 中 広 明
総 務 部 副 部 長	瀧 瀬 芳 之	主 任	堀 内 紀 明
総 務 課 長	藤 倉 英 明	主 事	渡 邊 理伊知
調査部		主 事	滝 澤 誠
調 査 部 長	昼 間 孝 志	主 事	高 田 賢 治
		主 事	宮 村 誠 二

平成27年度（発掘調査）

理 事 長	樋 田 明 男	調査部	
常務理事兼総務部長	木 村 博 昭	調 査 部 長	金 子 直 行
総務部		調 査 部 副 部 長	富 田 和 夫
総 務 部 副 部 長	瀧 瀬 芳 之	調査監兼調査第一課長	赤 熊 浩 一
総 務 課 長	安 田 孝 行	主 任	堀 内 紀 明
		主 事	水 村 雄 功

平成28年度（発掘調査）

理 事 長	塩野谷 孝 志	調査部	
常務理事兼総務部長	木 村 博 昭	調 査 部 長	金 子 直 行
総務部		調 査 部 副 部 長	赤 熊 浩 一
総 務 部 副 部 長	黒 坂 禎 二	主幹兼調査第一課長	田 中 広 明
総 務 課 長	曾 川 浩 二	主 任	堀 内 紀 明
		主 事	水 村 雄 功

平成30年度（整理・報告書作成）

理 事 長	藤 田 栄 二	調査部	
常務理事兼総務部長	川 目 晴 久	調 査 部 長	瀧 瀬 芳 之
総務部		調 査 部 副 部 長	吉 田 稔
総 務 部 副 部 長	田 中 広 明	調査部副部長兼整理第二課長	山 本 靖
総 務 課 長	新 井 了 悟	主 任	滝 澤 誠
		主 事	

令和元年度（整理・報告書作成）

理 事 長	藤 田 栄 二	調査部	
常務理事兼総務部長	高 津 導	調 査 部 長	黒 坂 禎 二
総務部		調査部副部長兼整理第一課長	上 野 真 由 美
総 務 部 副 部 長	山 本 靖	主幹兼整理第二課長	福 田 聖
総 務 課 長	新 井 了 悟	主 任	村 山 卓
		主 事	滝 澤 誠

令和2年度（整理・報告書作成）

理 事 長	藤 田 栄 二	調査部	
常務理事兼総務部長	福 沢 景	調 査 部 長	吉 田 稔
総務部		調査部副部長兼整理第一課長	上 野 真 由 美
総 務 部 副 部 長	山 本 靖	主 任	滝 澤 誠
総 務 課 長	鈴 木 裕 一	主 事	

令和3年度（整理・報告書作成）

理 事 長	依 田 英 樹	調査部	
常務理事兼総務部長	福 沢 景	調 査 部 長	田 中 広 明
総務部		調査部副部長兼整理第一課長	福 田 聖
総 務 部 副 部 長	上 野 真 由 美	主 任	砂 生 智 江
総 務 課 長	鈴 木 裕 一	主 事	

II 遺跡の立地と環境

1 地理的環境

宮西遺跡と宮東遺跡は埼玉県北部、加須市大越に立地する。遺跡の北側を東流する利根川に接しており、南側には、加須低地の田園地帯が広がっている。

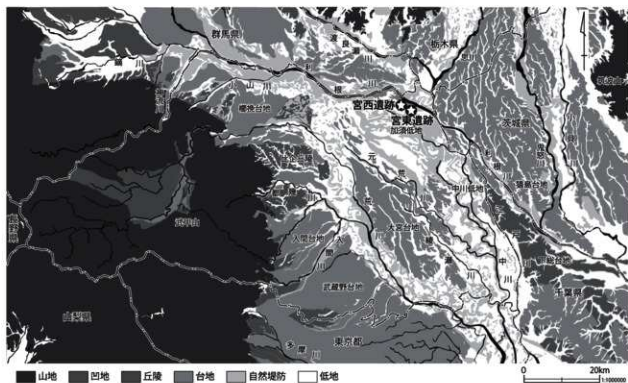
加須低地は、川口市北部から群馬県の東毛地域へと連なる大宮・館林台地の一部であった。しかし、関東造盆地運動の影響により沈降した台地上に、河川の氾濫土が堆積し、現在の加須低地が形成された。

沈降の影響は羽生市付近が最も大きく、古墳時代後期に属する小松1号墳は、地下3mに沈降したローム面に位置する埋没古墳として著名である。このような埋没ローム台地上の遺構は多数確認されており、近接する加須市長竹遺跡では、埋没ローム台地上に形成された縄文時代晩期の環状盛土遺構が検出されている。

一方で、長竹遺跡から1kmほど下流に位置する本遺跡では、埋没ローム台地は確認されておらず、加須低地の微高地上に営まれた集落であったものと考えられる。これは、古墳時代の生活面から河川跡が検出されたことからうかがわれ、集落造営当初より低地であったと考えられる。

平安時代には、群馬県が震源とされる弘仁九年の大地震が発生し、広範な地域で大規模な山崩れや土石流が起こったと伝わっている。この地震による被害は埼玉県北部地域にも及び、本遺跡においても当該地震の液状化現象に伴う噴砂の痕跡が多数認められる。

これに加えて、度重なる河川の氾濫による洪水被害にも見舞われていたと想定され、その結果、本遺跡には重層的な遺構形成がなされたものと推察される。



第1図 埼玉県の地形

2 歴史的環境

宮西・宮東遺跡の位置する加須低地周辺は、土地の沈降や、河川の乱流による堆積土によって、遺跡は地下深くに埋没している。未だ未発見の遺跡の存在が予想され本事業に伴う調査によって明らかになった遺跡も多い。

今回の報告では、中世・近世の遺構を扱うため、当該時期の様相を中心に確認していくこととする。

中世

中世初頭、この地域一帯に太田荘が成立した。久喜市鷲宮に所在する鷲宮神社に残されている文禄四（1595）年の「鷲宮神社棟札」によると、創建当時は66の村から成立したとされている。また、鷲宮神社の支社（鷲神社）が鎮守として分布している範囲が太田荘の範囲にあたることされており、宮西・宮東遺跡にも鷲神社が近接する。

太田荘を開発した藤原秀郷流太田氏の太田行尊は「太田大夫」「太田別当」を称し、太田氏の傍流にあたる太田政光は下野国小山に移り、小山氏と称する。政光の子である小山朝政は鎌倉幕府の有力御家人として下野国を中心に勢力を拡大していくが惣領である太田氏は、没落していった。

その後、建武二（1336）年の箱根竹之下合戦において、小山常犬丸は足利尊氏に従い戦功を挙げ、その恩賞として太田荘を得たとされる。しかし、康暦二（1380）年に小山義政が鎌倉公方足利氏満に対して起こした反乱（小山義政の乱）を契機として小山氏嫡流は滅亡する。それにより太田荘は鎌倉公方に没収されたとみらる。

関東管領上杉氏によって鎌倉を追われた鎌倉公方足利成氏は、下総国古河に拠点を移し、関東地方は利根川を境界として、東側は古河公方、西側は関東管領上杉方に分断される事となった。その後、文明十四（1483）年1月に成氏と上杉家との間で和議が成立したが不安定な状況はなおも続いていた。

そのような中で、伊豆国から進出し相模国小田

原に本拠を構えた後北条氏が関東地方において版図を拡大していった。

天正十八（1590）年に秀吉による小田原征伐が実施されると、関東地方の各地に所在した後北条方の支城も攻められた。そのうちの一つである忍城（行田市）の攻略には石田三成が総大将を務め、総延長28kmに及ぶ石田堤を築き水攻めを敢行した。忍城はそれを耐え抜き抵抗を続けたが、小田原城の降伏をもって開城した。

このような時期にあたる中世の宮西・宮東遺跡であるが、周辺には旧利根川堤防跡（1-1・1-2）が立地し、調査によって江戸時代初期に遡る旧堤防跡のほか、堤防の下に100基を超える土葬墓の存在が明らかとなった。

また、大越地区には、「鎌倉街道」の「上道」と「中道」を結ぶ「羽根倉道」と推定される古道が通過していたとされる。その他に『成田氏分限帳』に登場する大越彦八郎、あるいは下野小山氏に関わると伝承され、現在も堀跡と土塁の一部が残存する「館野の館跡」が所在している。

近世・近代

周辺で近世の遺跡が調査された事例は少ない。羽生市下村君の東畑遺跡（30）では、屋敷の区画溝から多くの陶磁器類とともに鉄鍋、鉄瓶といった鉄物製品が出土している。利根川の下流側に位置する久喜市栗橋では日光道中栗橋宿の宿場跡や本陣跡、脇本陣跡、関所番士屋敷跡の発掘調査が行われている。関所番士屋敷跡では栗橋関所に勤番した番士の屋敷跡が検出され、屋敷跡が築かれていた盛土は18世紀前半以降、洪水対策として徐々に積み上げられ建物跡が繰り返し建て替えられた様子が確認されている。

近世の本遺跡周辺は羽生領に属した。羽生領やその周辺は、その豊富な水源と肥沃な土地に恵まれ小麦の生産が盛んであった。加須市内に所在する不動ヶ岡不動尊徳願寺には館林城の城主へ「温



第2図 周辺の遺跡

第1表 周辺の遺跡一覧表（第2図）

No.	遺跡名	所在	時期	No.	遺跡名	所在	時期
1-1	旧利根川堤防跡 (大越)	埼玉県 加須市	中世・近世	38	堀口遺跡	埼玉県 羽生市	縄文
1-2	旧利根川堤防跡 (外野)		近世	39	三田ヶ谷本村 遺跡		縄文・古代
1-3	旧利根川堤防跡 (樋ノ口)		近世	40	内容遺跡		旧石器
2	宮西遺跡		古代・中世	41	弥勒人馬遺跡		縄文
3	宮東遺跡		古墳(後)・古代・中世・近世	42	惣達遺跡		縄文
4	長竹遺跡		縄文・古墳(後)・古代・中世・近世	43	内野遺跡		古代
5	樋ノ口遺跡		縄文・古代・中世・近世	44	高橋遺跡		縄文・古代
6	小伝木遺跡		不明	45	瀬ノ上古墳		古墳
7	八幡塚古墳		古墳	46	薬王寺古墳		古墳
8	稲荷塚古墳		古墳	47	富士塚古墳	群馬県 館林市	古墳
9	浅間塚古墳		古墳	48	稲荷神社古墳	群馬県 邑楽郡 明和町	古墳
10	別所遺跡		古代	49	愛宕塚古墳		古墳
11	石子塚古墳		古墳	50	斗合田遺跡		弥生
12	穴作塚古墳		古墳	51	島那途遺跡		中世
13	御家塚古墳		古墳	52	宇那根中世墓	群馬県 板倉町	中世
14	浅間塚古墳		古墳	53	大久保中世墓		中世
15	稲荷塚古墳		古墳	54	大塚山古墳		古墳
16	中町南遺跡		不明	55	稲荷神社古墳		古墳
17	七釜戸遺跡		不明	56	小保呂第1貝塚		縄文
18	下樋遺川遺跡		不明	57	伊勢ノ木遺跡		縄文・古墳(後)・古代
19	鶴ヶ塚古墳		古墳	58	小保呂 第2貝塚		縄文・古代
20	下谷遺跡		不明	59	板倉遺跡		縄文
21	道上遺跡		不明	60	藤ノ木古墳		古墳
22	飯積遺跡		古墳(後)・古代・中世	61	登戸遺跡		弥生
23	須賀遺跡		古墳(後)	62	城遺跡		古墳(後)
24	山越遺跡		古墳(後)	63	辻遺跡		縄文・弥生
25	麦倉遺跡		古墳(後)	64	岡村遺跡		縄文
26	茂手木遺跡		古墳(後)・古代	65	宝福寺遺跡		中世
27	本宮遺跡	埼玉県 羽生市	縄文・古墳(後)	66	花和田遺跡		古墳(後)・古代
28	鍋田遺跡		縄文・古代	67	岡西遺跡		縄文・古墳(前・後)
29	屋敷裏遺跡		縄文・古墳(後)・古代	68	松ノ木古墳		古墳
30	東畑遺跡		中世・近世	69	中古墳		古墳
31	永明寺古墳		古墳	70	新村下遺跡		古代
32	谷田遺跡		旧石器	71	沼田南遺跡		古墳(後)・古代
33	稲荷塚古墳		古墳	72	道明山古墳		古墳
34	御廟塚古墳		古墳	73	八反遺跡		古墳・中世
35	米の宮遺跡		古墳(前)・古代・中世	74	長良遺跡		古墳・中世
36	天王遺跡		縄文・弥生・古墳(後)・古代	75	筑波山古墳		古墳
37	砂田遺跡		縄文・古墳(後)・古代	76	船山古墳		古墳

純粉」を献上した際の礼状が残されている。

近世以降になると利根川を利用した水運が盛んとなり、利根川流域の各地に河岸場が設けられた。大越地区にも黒田河岸や鈴木河岸と呼ばれる河岸場が設けられており、宮東遺跡は河岸場に関連する遺跡である。東畑遺跡でも村君河岸へ至る道路跡が検出された。これらの河岸場には高瀬船や渡し船が多く行き交っていたと推定される。しかし、

そのような高瀬船も明治四十三(1910)年8月の大洪水を契機として姿を消してしまう。大洪水によって多くの高瀬船が亡失されたものの、その代替として鉄道網が着実に整備された。その中でも渡し船はしばらく残り、地域の交通手段としての役割を果たしていた。だがこれも自動車の普及と昭和四十七(1972)年11月に埼玉大橋が開通したことでその役割を終えた。

III 遺跡の概要

1 宮西・宮東遺跡の概要

宮西遺跡と宮東遺跡は、加須市北部に位置する連続した遺跡である。両遺跡からは、古墳時代中期から近世までの遺構が検出されている。昨年度刊行された古墳時代から古代までの報告である『宮西Ⅰ／宮東Ⅰ』に続いて、本書では、中世から近世までの遺構について報告する。

宮西遺跡では、平成23年から平成26年にかけて、4次に及ぶ調査が実施された。

平成23年度には、第1次調査として、遺跡中央部の第一面を調査し、中・近世の井戸跡群が検出された。

平成24年度には、第2次調査として第1次調査の下層にあたる第二面の調査を実施し、調査区中央部から古代の集落跡が検出された。

平成25年には、第3次調査が実施された。これは、当初宮東遺跡B区とされた調査区が宮西遺跡第3次調査と名称を改めたものである。遺構は、宮西遺跡第1次調査に連なる井戸跡群が検出された。

平成26年度には、第4次調査として宮西遺跡第1・2次調査区の西側に当たる箇所を調査し、井戸跡等が検出された。

宮東遺跡は、平成24年から平成28年にかけて、6次に及ぶ調査が実施された。

平成24年には、第1次調査として、遺跡の西側の調査が実施された。調査区を、西側調査区・中央調査区・東側調査区に3区分し、第1次調査では、西側調査区と東側調査区の第一から三面と、中央調査区の第一面の調査を実施した。

第一面からは、宮西遺跡から続く井戸跡群や、大規模な溝跡が検出された。この溝跡は、区画溝の可能性が想定される。

第二面からは、古代の集落跡が検出された。住居跡は、東側調査区で多数認められる一方で、西側調査区には1軒のみであり、分布差が明らかとなった。

第三面からは古墳時代の集落跡が検出された。東側調査区で検出された大型の住居跡からは、大量の土器が出土した。

平成25年には、第2・3次調査を実施した。第2次調査では、中央調査区の第二・三面の調査を行った。第二面からは、東側調査区から続く集落跡のほか、北東―南西方向に走る河川跡が検出され、縁辺部より多くの遺物が出土した。

第3次調査からは、遺跡東側の調査を開始し、調査区をⅠ～Ⅳ区に分割して調査を実施した。第3次調査では、Ⅰ・Ⅱ区の表土除去及び遺構検出を行った。

平成26年度には、第4次調査として、Ⅰ・Ⅱ・Ⅴ区の第一から三面と、Ⅲ・Ⅳ区の第一・二面を調査した。第一面からは、近世の溝跡や井戸跡、水田跡等が検出され、特にⅡ区においては、溝跡から多くの遺物が検出された。

第二面からは、古代の集落跡が検出された。中でも床面に噴砂が堆積した住居跡が検出されたことは特筆すべき点である。

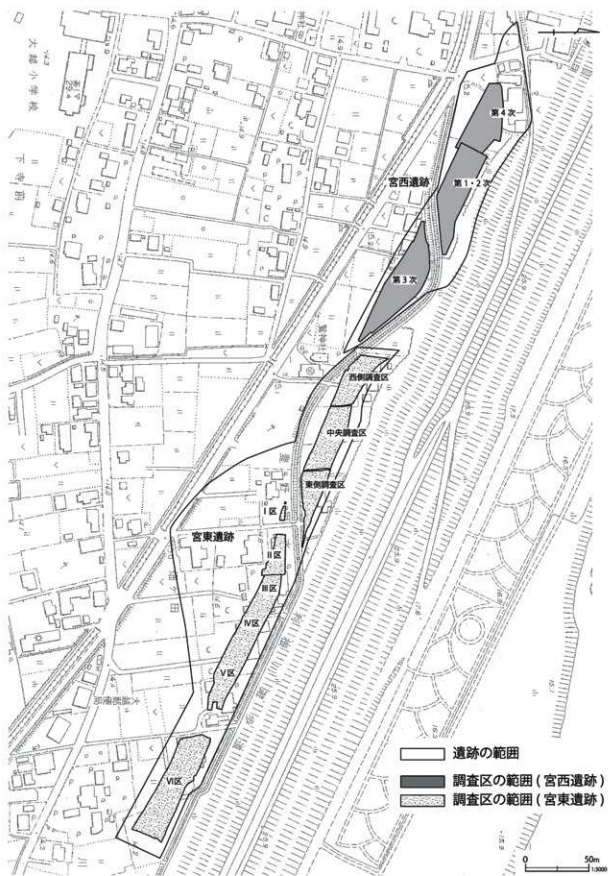
第三面からは古墳時代の集落跡が検出された。

平成27年度には、第5次調査として、Ⅲ・Ⅳ区の第三面と、Ⅴ区第一面の調査を実施した。Ⅴ区第一面からは、畠跡が検出された。

平成28年度には、第6次調査として、Ⅴ区の第二・三面の調査を実施した。第二面からは古代の住居跡1軒と、畠跡や遺物集中地点が検出された。

第三面からは、古墳時代のものと考えられる畠跡が検出され、少量ではあるものの、高坏等の古墳時代の遺物が確認された。

このように、本遺跡では、古墳時代中期から平安時代においては、断続的に営まれた集落跡が確認された。中・近世においても多数の井戸跡群や区画溝が存在することから、当地が継続して、人々の生活用地として使用されていたことがうかがわれる。



第3図 遺跡位置図

IV 宮西遺跡の調査

1 調査の概要

中世、近世の遺構は、井戸跡150基、溝跡49条、土城30基、性格不明遺構1基、ピット176基が検出された。遺構の分布は、調査区両端部で希薄になる傾向にある。一方で、調査区中央部には分布が集中し、遺構が互いに重複する。

調査区は西側が低くなっており、谷地形を挟んでさらに西側には、旧利根川堤防跡が立地する。

個別の遺構の分布状況を確認してみると、井戸跡は調査区全体に多く分布する。互いに近接して位置し、一部では重複も認められる。平面形態は、楕円形や円形を呈する。断面形態は、箱形や逆台形の掘り込みの中央に井筒を設ける、漏斗状を呈するものが主体である。ほとんどが素掘りであるが、井戸枠を設けるものも一部で認められる。

調査区は軟弱地盤であり、地形的に崩落が起こ

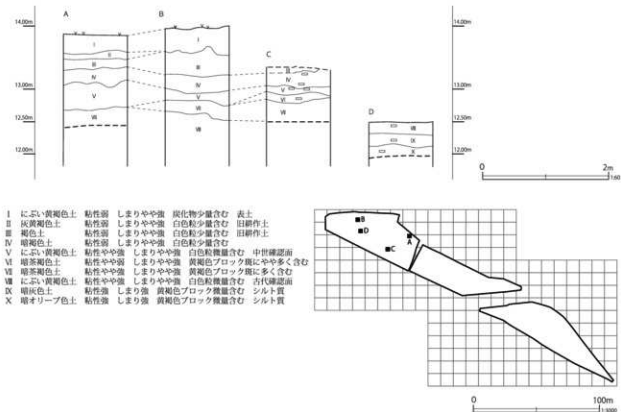
りやすかつたものと推察されることから、新たな井戸の掘削を繰り返した結果、このような分布になったものと考えられる。

土壌は楕円形、方形、隅丸方形を呈するものが多く、調査区全体に散漫に分布する。

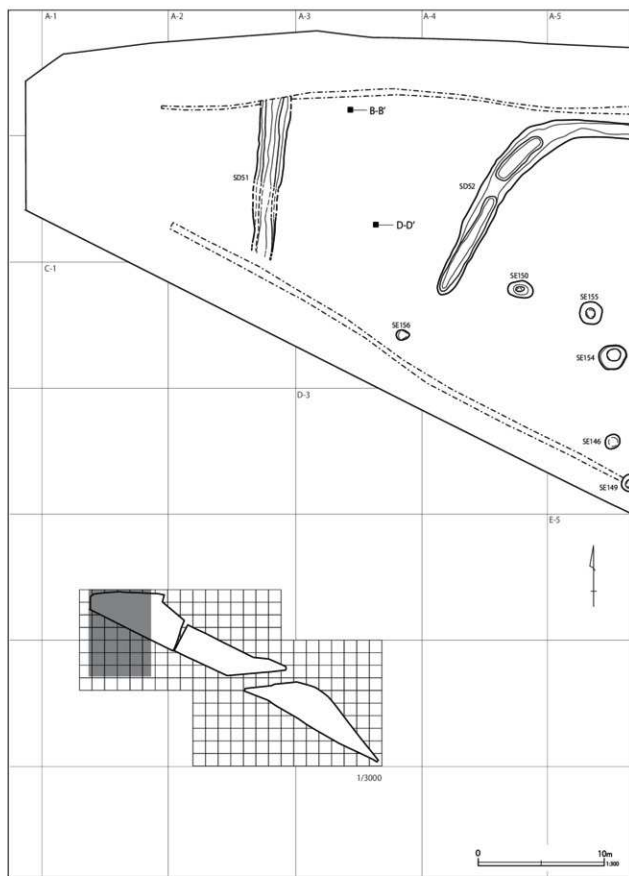
溝跡のうち、第26・28号溝跡はそれぞれL・逆L字状に走り、一連のものとして方形区画をなす可能性がある。その他の溝跡は直線に走る。宮東遺跡では、南北方向を主軸とする溝跡が多い傾向にあったが、宮西遺跡ではそのような傾向は認められなかった。

基本土層は、第4図に示した。調査区の西端部において、土層を記録した。

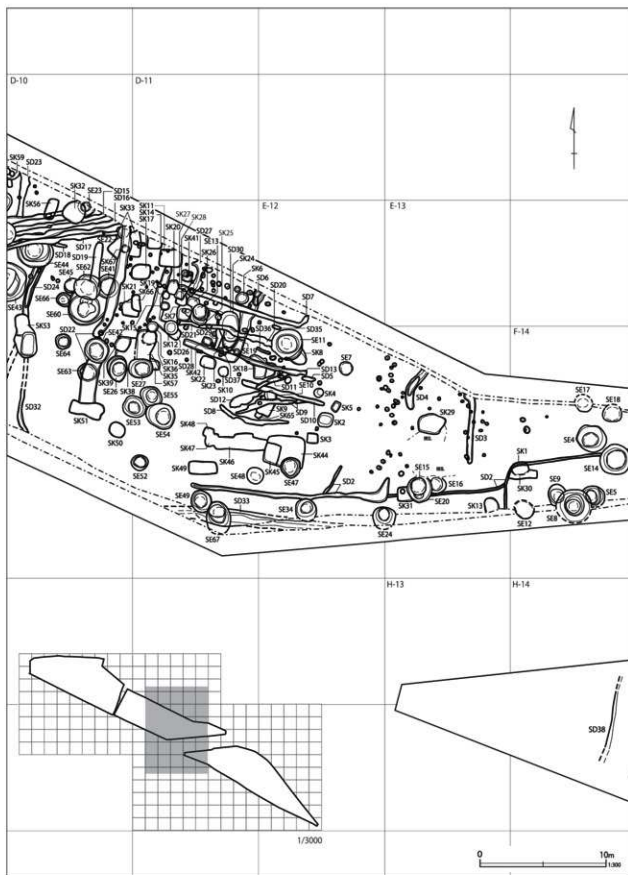
I～III層までが耕作土であり、IV層が近世面、V層が中世面に相当する。



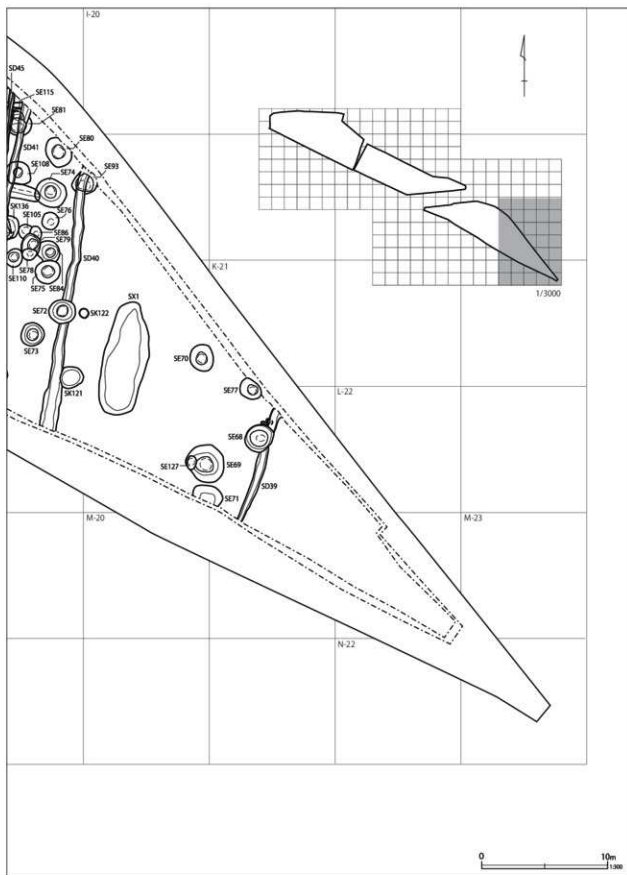
第4図 基本土層



第5図 全体図(1)



第7図 全体図(3)



第9図 全体図(5)

2 遺構と遺物

(1) 井戸跡

井戸跡は150基、調査区全体から検出された。列状に分布し、2・3基が近接して同じ箇所掘られている場合が多い。

井戸枠は第68号井戸跡が竹枠のほかは、素掘りである。井筒は第126号井戸跡で桶が用いられている。底部付近は黄灰色のシルト、もしくは砂で湧水が著しく、安全対策のため、底面まで掘り上げたものはない。規模・形態・軸方向については第2表に示した。大部分が上下2段の構造となっており、2m前後の不整形円形もしくは不整形方形の大きな掘り方の中央に、径0.6～1.0m前後の円形の井筒が設けられているものが多い。各井戸跡からは陶磁器を中心とする遺物が出土した。

以下では、特徴的な井戸跡を取り上げ、概要を述べる。

第1号井戸跡 (第10・36・58図)

F・G-15グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、長軸2.46m、短軸2.20m、深さ1.67m以上である。東西方向に長く、西側は3段になっている。断面形は両袖型である。覆土の最上層に浅間A軽石を含む。

出土遺物は、第36・58図に示した。1は古瀬戸の緑釉小皿である。口縁部に灰釉がかかる。後期様式である。2は古瀬戸の播鉢である。3～5は常滑の甕である。6・8・9は瓦質土器である。7はかわらけで、底部は右回転糸切である。板目状圧痕が残る。10は古瀬戸の播鉢である。186は砥石である。全面に使用痕が認められる。

第5号井戸跡 (第11・37図)

G-14グリッドに位置する。第5・8・9号井戸跡は重複、近接しており、何らかの原因で同じ個所で掘り直したものと考えられる。築造順序は5・9→8である。平面形態は楕円形で、長軸1.86m、短軸1.51m、深さ1.73m以上である。

第7号井戸跡 (第10・37図)

F-12グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸1.06m、短軸1.04m、深さ1.34m以上である。

出土遺物は、第37図に示した。11は古瀬戸の瓶類である。外面に灰釉を施軸する。

第10号井戸跡 (第10・58図)

F-12グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸1.01m、短軸1.01m、深さ1.32m以上である。重複関係は第9号土壇を壊している。第9・10号溝跡に壊されている。

出土遺物は、第58図に示した。187は砥石である。端部と2面の大部分を欠損している。安山岩製と考えられる。安山岩製で、全面を使用している。

第11号井戸跡 (第12・37図)

F-12グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸2.51m、短軸2.40m、深さ1.99m以上である。第8号土壇と重複し、これに壊されている。第20号溝跡と重複し、これを壊している。出土遺物は、第37図に示した。19は白磁の碗である。20は陶器の甕、21は山茶碗系の鉢である。22は瓦質土器の壺である。

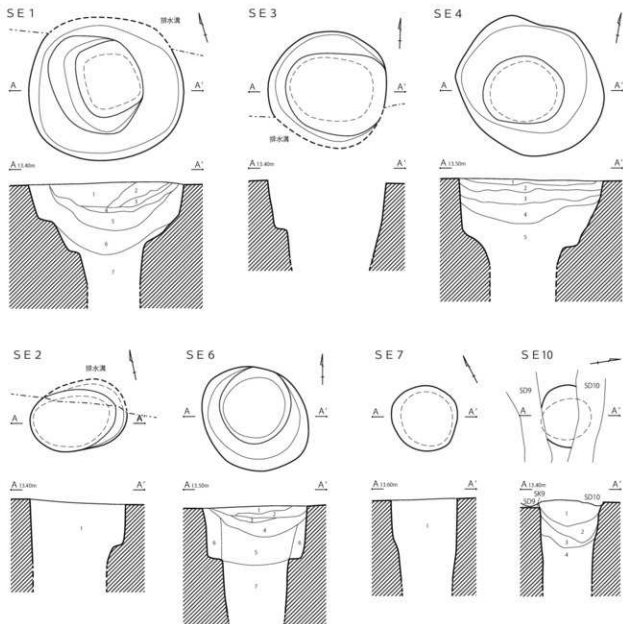
第13号井戸跡 (第12・37図)

E-11グリッドに位置する。平面形態は円形で、長軸1.32m、短軸1.22m、深さ1.52m以上である。第7・25・26号土壇と重複し、本跡に壊されている。

出土遺物は、第37図に示した。23は青磁碗、24は古瀬戸の瓶類の口縁部、25は山茶碗系のこね鉢である。

第14号井戸跡 (第12・37・38図)

F・G-14グリッドに位置する。平面形態は円形で、長軸2.43m、短軸2.42m、深さ1.63m以上である。第2号溝跡と重複し、これに壊されている。出土遺物は、第37・38図に示した。



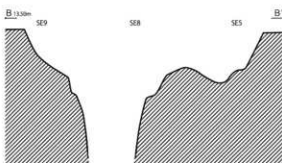
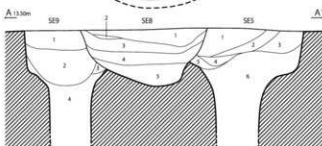
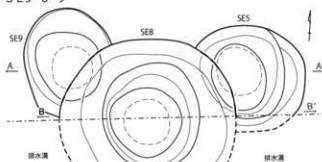
- SE 1
- | | |
|------------|----------------------------|
| 1 オリーブ褐色土 | シルト質 炭化物少量 酸化鉄・炭間 A を炭状に含む |
| 2 暗オリーブ褐色土 | シルト質 炭化物少量 酸化鉄を含む |
| 3 暗灰黄色土 | シルト質 炭化物微量 酸化鉄少量 下部還元化 |
| 4 青灰色土 | 粘土質シルト 酸化鉄微量 炭化物含む 還元化 |
| 5 青灰色土 | 粘土質シルト 酸化鉄微量 炭化物少量 還元化 |
| 6 暗オリーブ褐色土 | 酸化鉄中量 下部還元化 |
| 7 緑灰色土 | 粘土質 |
- SE 2
- | | |
|--------|----------------|
| 1 青灰色土 | 青灰色・オリーブ褐色土を含む |
|--------|----------------|
- SE 4
- | | |
|-----------|----------------------------|
| 1 オリーブ褐色土 | 砂質シルト 酸化鉄を炭状に含む |
| 2 オリーブ褐色土 | 粘土質シルト 酸化鉄を炭状に含む |
| 3 褐色土 | 粘土質シルト 酸化鉄を炭状に含む 炭化物を帯状に含む |
| 4 オリーブ褐色土 | 粘土質シルト 酸化鉄・ブロック状に極微量 |
| 5 オリーブ褐色土 | 粘土質シルト 炭化物極微量 酸化鉄を含む |

- SE 6
- | | |
|------------|-----------------------------|
| 1 黒褐色土 | 粘土質シルト 炭化物多量 褐色土・炭間 A 炭状に含む |
| 2 黒褐色土 | 粘土質シルト 酸化鉄・炭化物含む |
| 3 暗オリーブ褐色土 | 粘土質シルト 炭化物多量 酸化鉄少量 |
| 4 暗オリーブ褐色土 | 粘土質シルト 炭化物多量 酸化鉄少量 |
| 5 暗灰黄色土 | 粘土質シルト 炭化物多量 酸化鉄少量 |
| 6 青褐色土 | 粘土質シルト 炭化物多量 酸化鉄少量 |
| 7 オリーブ褐色土 | 粘土質シルト 炭化物多量 酸化鉄少量 |
- SE 7
- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 オリーブ黒褐色土 | 暗褐色粘土質 暗褐色粘土・灰白色粘土を含む |
|------------|-----------------------|
- SE 10
- | | |
|------------|-------------------------|
| 1 黄灰色土 | 粘質 炭化物多量 黄褐色土ブロックを含む |
| 2 黄褐色土 | 粘質 炭化物多量 暗褐色粘土をブロック状に含む |
| 3 黄褐色土 | 粘質 炭化物多量 暗褐色粘土をブロック状に含む |
| 4 オリーブ黒褐色土 | 粘質 暗褐色粘土・砂粒を含む |

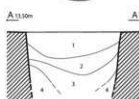
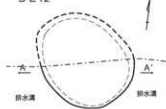
0 2m
100

第10図 井戸跡 (1)

SE5・8・9



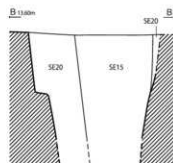
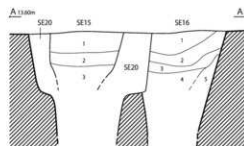
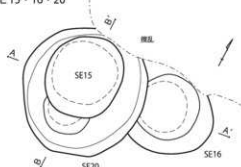
SE12



SE5

- | | | |
|------------|--------|--------------|
| 1 暗オリーブ褐色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄を斑状に含む |
| 2 黒色土 | 粘土質シルト | 炭化物多量 |
| 3 オリーブ褐色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄・粘土ブロック含む |
| 4 オリーブ褐色土 | 粘土質シルト | 炭化物少量 |
| 5 暗灰黄色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄含む |
| 6 オリーブ褐色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄・粘土ブロック含む |

SE15・16・20



SE8

- | | | | |
|------------|--------|----------|--------------|
| 1 暗オリーブ褐色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄斑状に含む | 浅間 A 含む |
| 2 黒褐色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄含む | 炭化物多量 |
| 3 暗オリーブ褐色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄含む | |
| 4 黒褐色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄含む | 1・2層に比べて含有多い |
| 5 暗オリーブ褐色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄多量 | |

SE9

- | | | | |
|------------|--------|--------------|--------------------|
| 1 暗オリーブ褐色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄を斑状に含む | 浅間 A 含む |
| 2 黒褐色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄・粘土ブロック含む | 炭化物少量 |
| 3 褐色土 | 砂質シルト | 酸化鉄多量 | |
| 4 オリーブ褐色土 | 砂質シルト | 酸化鉄含む | 粘土ブロック・粘土ブロック斑状に含む |

SE12

- | | | | |
|---------|------|--------------|-------------|
| 1 黄灰色土 | 粘質 | 炭化物多量 | 明褐色粘土ブロック少量 |
| 2 暗灰黄色土 | 粘質 | 黄褐色土小ブロック少量 | |
| 3 灰黄色土 | 粘性強 | 灰白色粘土ブロック少量 | |
| 4 黄褐色土 | シルト質 | 灰白色粘土と砂粒の混合層 | |

SE15

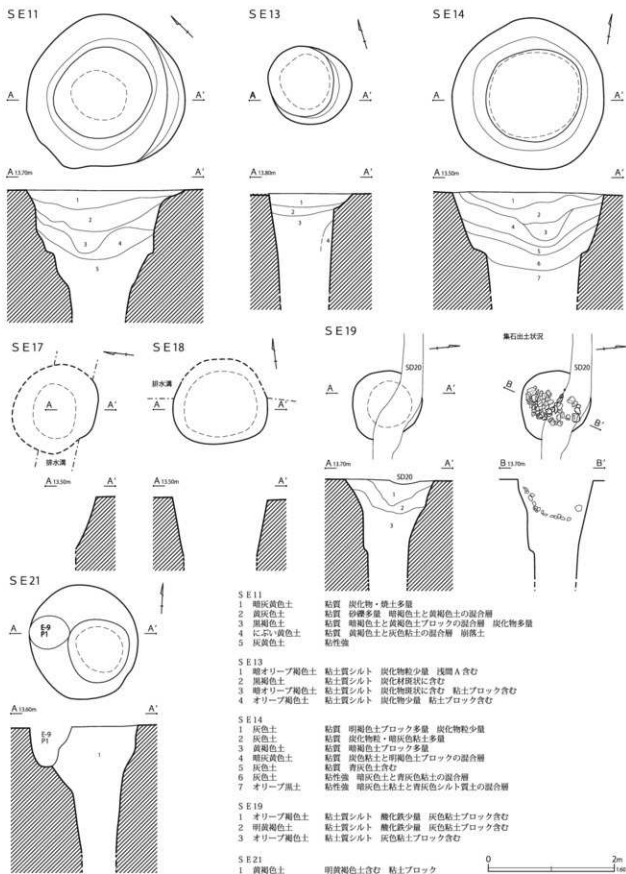
- | | | | | |
|-----------|--------|---------------------|-------|--------|
| 1 黄灰色土 | 粘土質シルト | 明褐色土ブロック多量 | 炭化物少量 | 酸化鉄を含む |
| 2 灰色土 | 粘土質シルト | 炭化物を少量・酸化鉄・明褐色土ブロック | | |
| 3 オリーブ黒色土 | 粘土質シルト | 炭化物・明褐色土ブロック少量 | | |

SE16

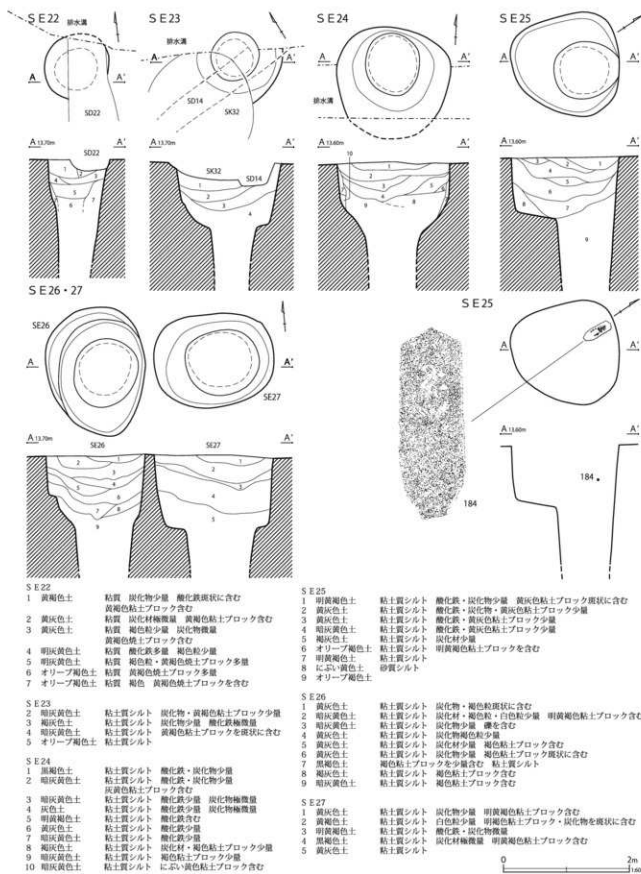
- | | | | |
|-----------|--------|----------------|-------------|
| 1 青灰色土 | 粘土質シルト | 酸化鉄・炭化物少量 | 明褐色土ブロック極微量 |
| 2 黒褐色土 | 粘土質シルト | 炭化物・明褐色土ブロック多量 | |
| 3 オリーブ黒色土 | 粘土質シルト | 炭化物・明褐色土ブロック少量 | |
| 4 オリーブ黒色土 | 粘土質シルト | 明褐色土ブロック多量 | 炭化物少量 |
| 5 黒色土 | 粘土質シルト | 明褐色土ブロック多量 | |



第11図 井戸跡(2)



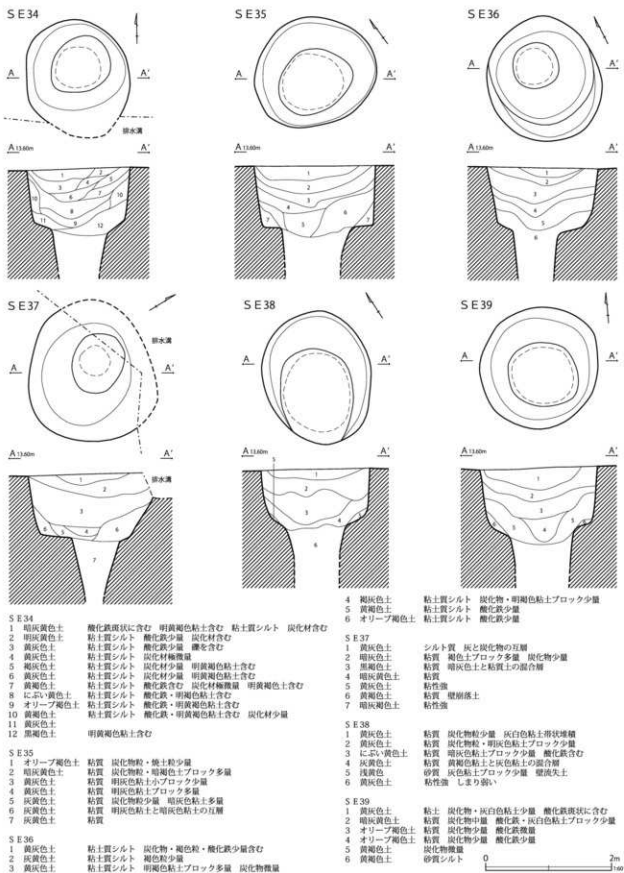
第12図 井戸跡(3)



第13図 井戸跡 (4)

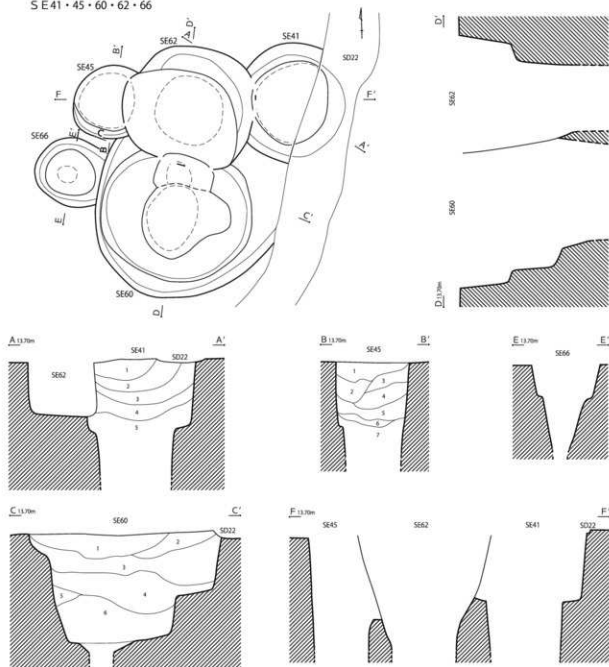


— 23 —



第15図 井戸跡 (6)

S E 41・45・60・62・66



S E 41

- | | | |
|-----------|--------|----------------------|
| 1 暗灰黄色土 | 粘土質シルト | 炭化物多量 灰白色粘土ブロック少量 |
| 2 黄灰色土 | 粘土質シルト | 炭化物・明黄褐色粘土ブロック少量 |
| 3 黄灰色土 | 粘土質シルト | 炭化物少量 灰白色粘土ブロック破片に含む |
| 4 オリーブ褐色土 | 粘土質シルト | 炭化物・灰白色粘土ブロック少量 |
| 5 黄褐色土 | 粘土質シルト | 炭化物多量 |
| 6 黄褐色土 | 粘土質シルト | 灰白色粘土ブロック少量 |

S E 45

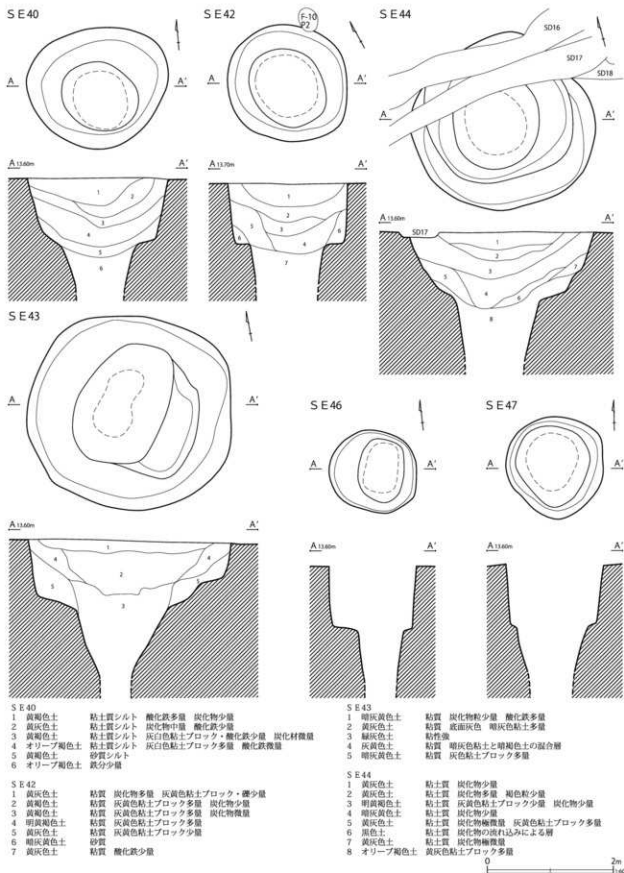
- | | |
|------------|----------------------|
| 1 暗オリーブ褐色土 | 粘質 褐色土ブロック多量 |
| 2 黄褐色土 | 粘質 炭化物粒少量 |
| 3 オリーブ褐色土 | 粘質 灰白色粘土ブロック多量 |
| 4 オリーブ褐色土 | 粘質 褐色土ブロック多量 |
| 5 オリーブ褐色土 | 粘質 褐色土ブロックと暗灰色粘土の混合層 |
| 6 黄灰色土 | 粘質 粘性土 |
| 7 黄灰色土 | シルト質 酸化鉄多量 |

S E 60

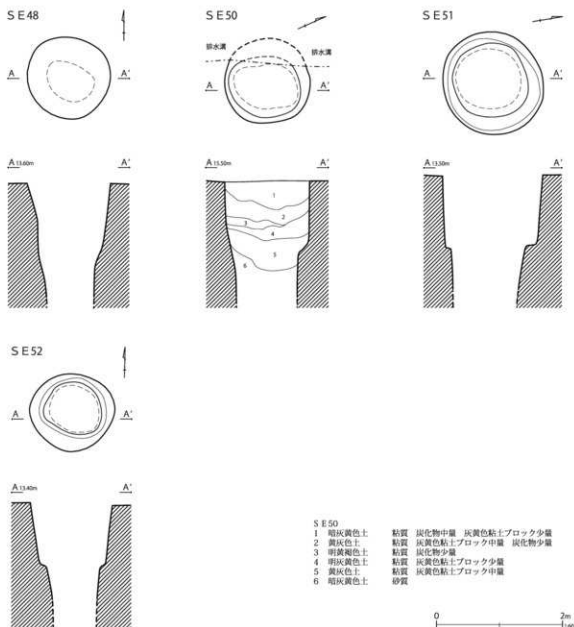
- | | |
|---------|------------------------------|
| 1 黄灰色土 | 粘土質 炭化物・酸化鉄少量 灰黄色粘土ブロック少量 |
| 2 黄灰色土 | 粘土質 灰黄色粘土ブロック中量 炭化物少量 |
| 3 暗灰黄色土 | 粘土質 炭化物・灰黄色粘土ブロック少量 酸化鉄破片に含む |
| 4 灰色土 | 粘土質 炭化物極微量 酸化鉄少量 |
| 5 黄褐色土 | 砂質シルト |
| 6 暗緑灰色土 | 粘土質 酸化鉄少量含む |

0 2m
1:40

第16図 井戸跡(7)



第17図 井戸跡 (8)



第18図 井戸跡（9）

第15・16・20号井戸跡（第11図）

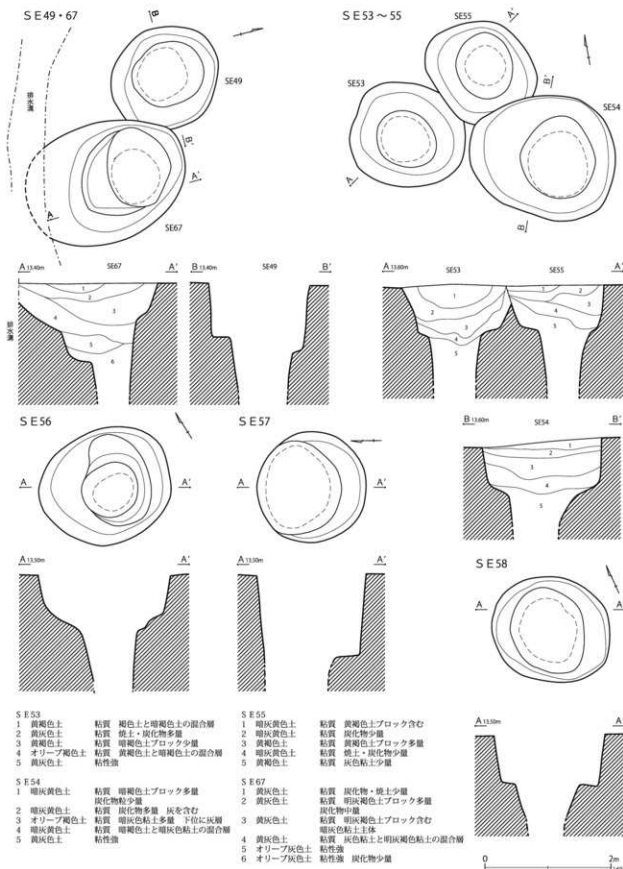
G-13グリッドに位置する。重複、近接して造られている。同じ個所で掘り直した結果と考えられる。築造順序は16→20→15である。いずれも第2号溝跡と重複し、溝跡に壊されている。第20号井戸跡は第31号土壌を壊している。

第15号井戸跡は南側に入口状の段が設けられている。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.34m、短軸1.19m、深さ1.74m以上である。第16号の平

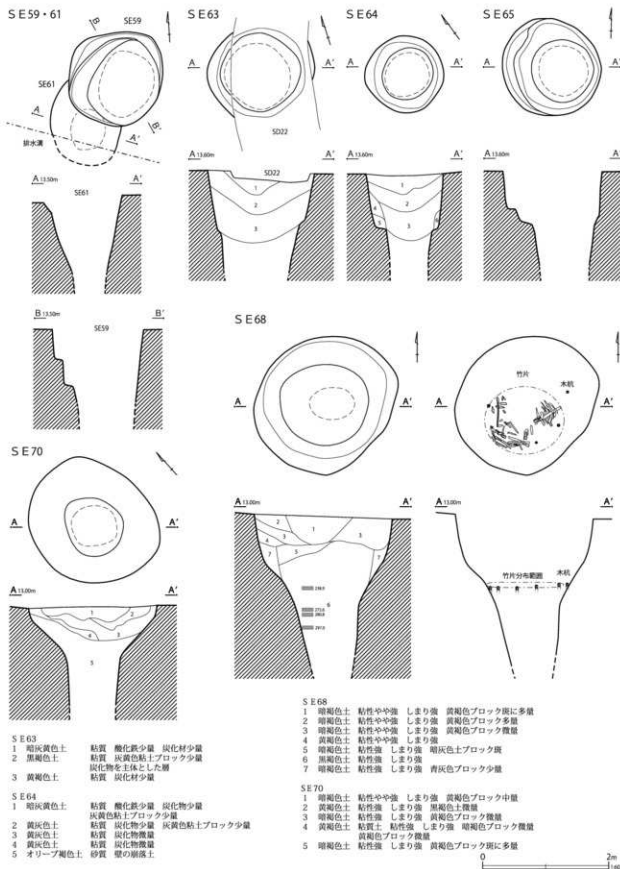
面形態は楕円形で、規模は、長軸1.65m、短軸1.29m、深さ1.63m以上である。第20号の平面形態は楕円形で、規模は、長軸2.05m、短軸1.97m、深さ1.67m以上である。

第19号井戸跡（第12図）

E・F-11グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸1.15m、短軸1.08m、深さ1.50m以上である。第23・24号土壌、第20号溝跡と重複し、これを壊している。

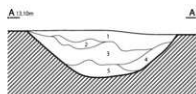
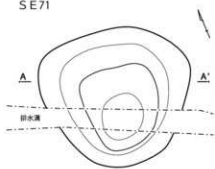


第19図 井戸跡 (10)

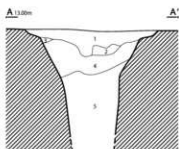
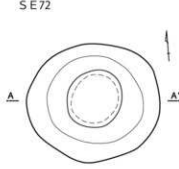


第20図 井戸跡(11)

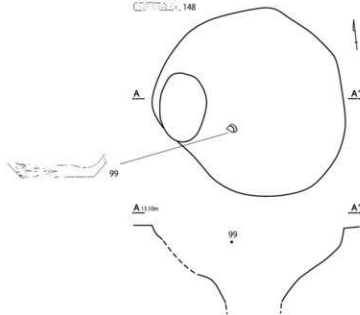
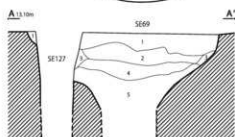
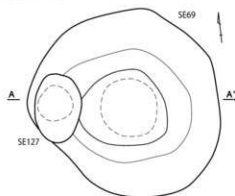
SE71



SE 72



SE 69 • 127



- S E 69

- | | | | | | |
|---|------|-------|--------|--------|--------|
| 1 | 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまりやや強 | 黄褐色土少量 | 小礫微量 |
| 2 | 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまりやや強 | 黄褐色土多量 | |
| 3 | 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまりやや強 | 黄褐色土中量 | |
| 4 | 黒褐色土 | 粘性強 | しまり強 | 小礫少量 | |
| 5 | 黒褐色土 | 粘性強 | しまり強 | 小礫中量 | 黄灰色土少量 |

- SE71

- | | | | | | |
|---|------|-------|------|---------------|--------------|
| 1 | 暗褐色土 | 粘性強 | しまり強 | 炭化物中量 | 黄褐色ブロック・焼土少量 |
| 2 | 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 黄褐色ブロック多量 | 焼土微量 |
| 3 | 暗褐色土 | 粘性強 | しまり強 | 黄褐色土ブロック微量 | |
| 4 | 黄褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | 暗褐色ブロック・炭化物微量 | |
| 5 | 暗褐色土 | 粘性強 | しまり強 | シルト質 | 黄褐色ブロック微量 |

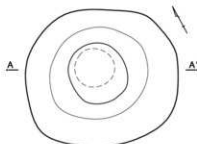
- SE72

- | | | | |
|-----------|-------|--------|-----------|
| 1 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまりやや強 | 黄褐色ブロック中量 |
| 2 暗褐色土 | 粘性やや強 | しまり強 | |
| 3 黄褐色土 | 粘性やや強 | しまりやや強 | |
| 4 暗褐色土 | 粘性強 | しまり強 | 黄褐色ブロック微量 |
| 5 暗オリーブ色土 | 粘性強 | しまり強 | 黒色粘微量 |

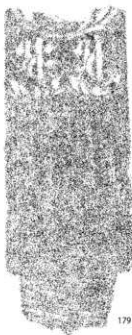
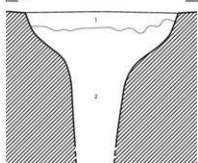


第21図 井戸跡 (12)

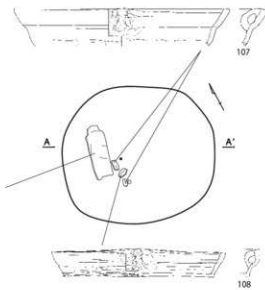
SE74



A 13.00m



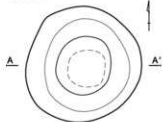
179



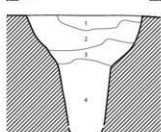
107

108

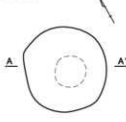
SE73



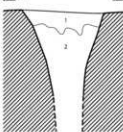
A 13.10m



SE76



A 13.00m



SE73

- 1 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 赤褐色ブロック少量
 2 暗褐色土 粘性強 しまり強 青灰色土多量 黄褐色ブロック少量
 3 暗褐色土 粘性強 しまり強 青灰色ブロック中量
 4 黒褐色土 粘性強 しまり強 砂質 白色粒微量

SE74

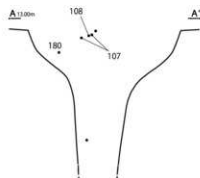
- 1 暗茶褐色土 粘性やや強 しまりやや強 黄褐色ブロック中量
 2 暗褐色土 粘性やや強 しまりやや強 青灰色土域に多量

SE76

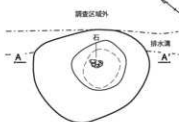
- 1 暗褐色土 粘性やや強 しまりやや強 黄褐色ブロック多量
 2 暗褐色土 粘性強 しまり強 青灰色ブロック域に多量

SE77

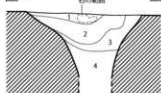
- 1 暗茶褐色土 粘性やや強 しまりやや強 黄褐色ブロック微量 礫を含む
 2 黄褐色土 粘性やや強 しまり強 暗褐色ブロック微量
 3 暗褐色土 粘性やや強 しまりやや強 黄褐色ブロック少量
 4 暗褐色土 粘性強 しまり強 小礫微量



SE77



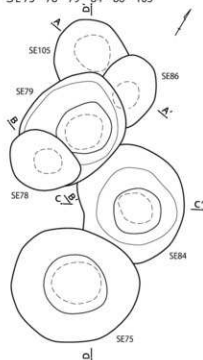
A 13.00m



0 2m

第22図 井戸跡 (13)

SE75・78・79・84・86・105



SE75

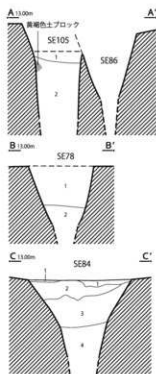
- 1 黄褐色土 粘性やや強 しまりやや強 暗褐色ブロック多量
- 2 暗褐色土 粘性やや強 しまりやや強 暗褐色ブロック少量
- 3 黄褐色土 粘性やや強 しまりやや強 地山崩落土
- 4 暗褐色土 粘性強 しまり強 シルト質 青灰色土中量

SE78

- 1 暗褐色土 粘性やや強 しまりやや強 暗褐色ブロック微量
- 2 暗褐色土 粘性強 しまり強 小礫少量

SE79

- 1 黄褐色土 粘性やや強 しまりやや強 暗褐色ブロック多量
- 2 暗褐色土 粘性やや強 しまりやや強 青灰色土中量 暗褐色ブロック少量
- 3 黄褐色土 粘性強 しまり強



SE84

- 1 黄褐色土 粘性 しまりやや強 暗褐色ブロック微量に多量
- 2 暗褐色土 粘性強 しまりやや強 青灰色ブロック少量
- 3 暗褐色土 粘性強 しまりやや強 青灰色ブロック多量
- 4 暗褐色土 粘性強 しまりやや強 青灰色ブロック微量

SE105

- 1 暗茶褐色土 粘性やや強 しまりやや強 黄褐色土面に多量
- 2 暗黄褐色土 粘性やや強 しまりやや強 黄褐色土少量
- 3 暗褐色土 粘性強 しまり強 灰白色ブロック・黄褐色土少量

0 2m

第23図 井戸跡 (14)

第2層中には拳大の礫が含まれており、堆積状況から、南側から土ごと投げ込まれたものと考えられる。

第25号井戸跡 (第13・57図)

D-9グリッドに位置する。平面形態は不整形で、規模は、長軸1.78m、短軸1.63m、深さ1.93m以上である。井筒が北東に寄っている。

第6・7層の層面から板碑が出土している。第7層堆積後に第6層と共に埋め戻されたと考えられる。

出土遺物は、第57図に示した。183は完形の板碑である。異体字キリク種子を主尊としする。種子には蓮座を伴う。銘文は2行にわたって、「永和五年／四月二日」と記される。永和五年は、

1378年に相当する。

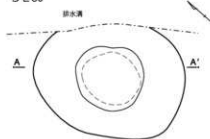
第30号井戸跡 (第14・38・58図)

D・E-8グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸2.00m、短軸1.93m、深さ1.62m以上である。重複関係は第40号土壌によって壊されている。出土遺物は、第38・58図に示した。32は青磁碗である。33は古瀬戸の香炉である。190は粘板岩製の硯である。良く使い込まれており、海の部分が凹む。

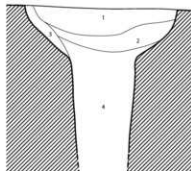
第31号井戸跡 (第14・38図)

E-9グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.85m、短軸1.77m、深さ1.64m以上である。重複関係は第32A・B号井戸によって壊されている。

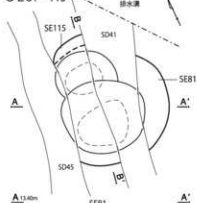
SE80



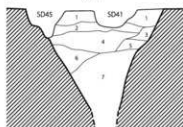
A 13.00m



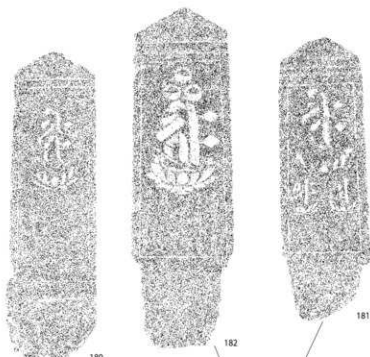
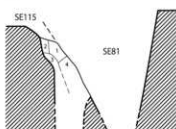
SE81・115



A 11.40m



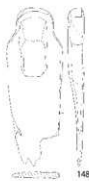
B 13.40m



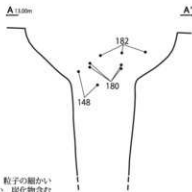
180

182

181



A 13.00m



SE80

- 1 黄褐色土 粘性強 しまり弱 粒子の細かい
- 2 暗灰褐色土 粘性強 粒子細かい 炭化物含む
- 3 暗灰褐色土 2層より暗い
- 4 灰褐色土 粘性強 粒子粗い 炭化物含む

SE81

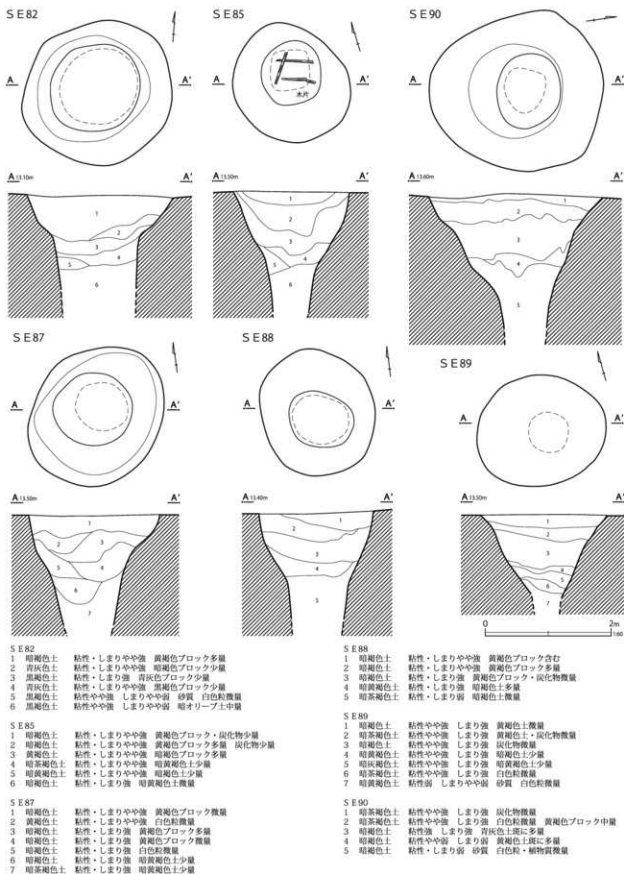
- 1 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土少量
- 2 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土中量
- 3 黄褐色土 粘性やや弱 しまり強 暗褐色土少量
- 4 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
- 5 黄褐色土 粘性やや弱 しまり強 暗褐色土少量
- 6 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土多量
- 7 暗褐色土 粘性強 しまり強 黄褐色土微量

SE115

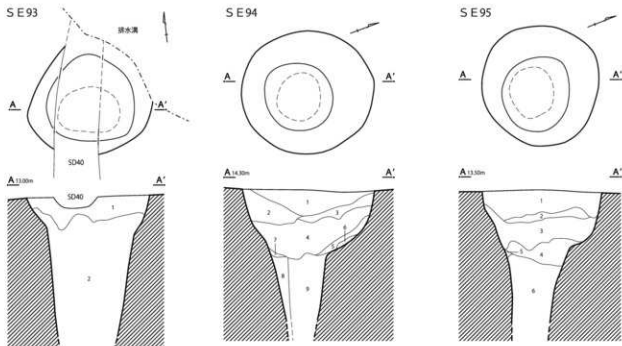
- 1 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土少量
- 2 黄褐色土 砂質 粘性・しまり弱
- 3 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土多量
- 4 暗褐色土 粘性強 しまりやや強 黄褐色土微量

0 2m 100

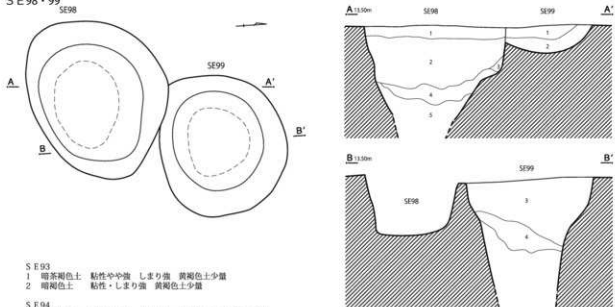
第24図 井戸跡 (15)



第25図 井戸跡 (16)



SE98・99



SE93

- 1 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土少量
2 暗褐色土 粘性・しまり強 黄褐色土少量

SE94

- 1 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック状に多量
2 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土微量
3 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土少量
4 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土微量
5 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土微量
6 暗褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土少量
7 暗褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土微量
8 暗褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土少量
9 暗褐色土 粘性・しまり強 青灰色土・黄褐色土微量

SE95

- 1 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック状少量
2 黄褐色土 粘性やや強 しまり強 暗褐色土少量
3 暗黄褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土少量
4 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土少量
5 黄褐色土 粘性・しまりやや強 暗褐色土微量
6 暗褐色土 粘性・しまり強 暗オリーブ土微量

SE98

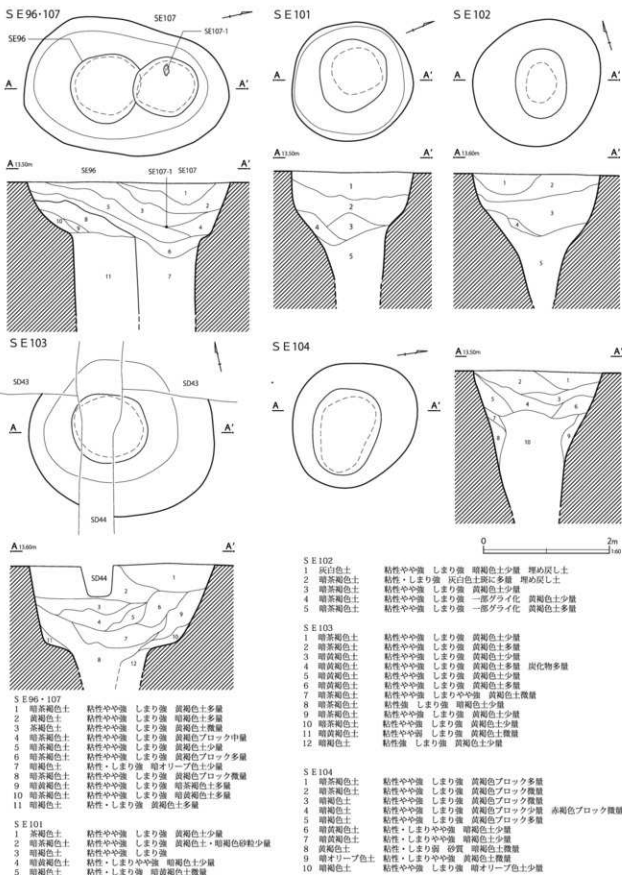
- 1 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック中量
2 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック多量
3 暗茶褐色土 粘性やや弱 しまり弱 砂質
4 暗褐色土 粘性・しまり強 黄褐色ブロック微量
5 暗褐色土 粘性やや弱 しまりやや強 砂質 白色粘微量

SE99

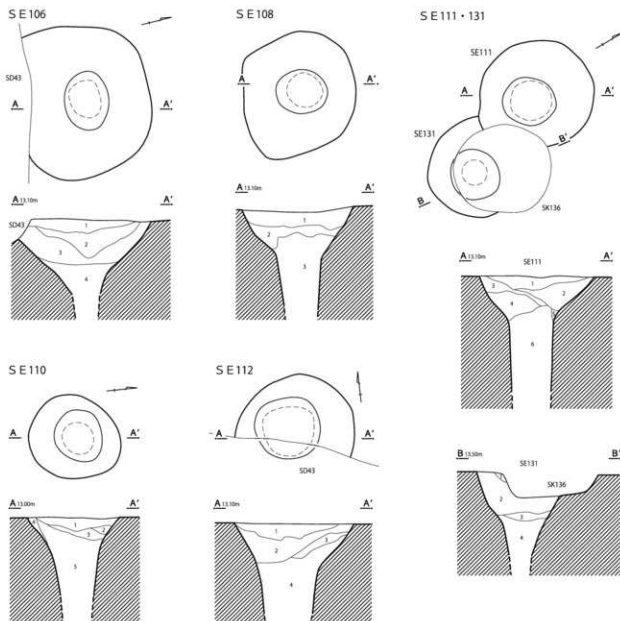
- 1 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 灰白色ブロック多量
黄褐色ブロック少量 埋め戻し土
2 黄褐色土 粘性やや強 しまり強 暗褐色土少量
3 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土少量
4 暗褐色土 粘性・しまり強 暗オリーブ土少量

0 2m
1:50

第26図 井戸跡 (17)



第27図 井戸跡 (18)



SE106

- 1 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色ブロック中量
- 2 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色ブロック多量
- 3 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック・炭化物少量
- 4 暗褐色土 粘性・しまり強 黄褐色ブロック微量

SE108

- 1 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土少量
- 2 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土多量
- 3 暗褐色土 粘性強 しまりやや強 暗オリーブ色土・小礫少量

SE110

- 1 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土多量
- 2 黄褐色土 粘性・しまり弱 砂質 暗褐色土微量
- 3 暗褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土多量
- 4 暗オリーブ色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土少量
- 5 暗褐色土 粘性強 しまりやや強 黄褐色土微量

SE111

- 1 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土中量
- 2 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 暗茶褐色土多量
- 3 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土少量
- 4 暗茶褐色土 粘性強 しまりやや強 黄褐色土中量
- 5 暗茶褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土少量
- 6 暗褐色土 粘性・しまり強 黄褐色土微量

SE112

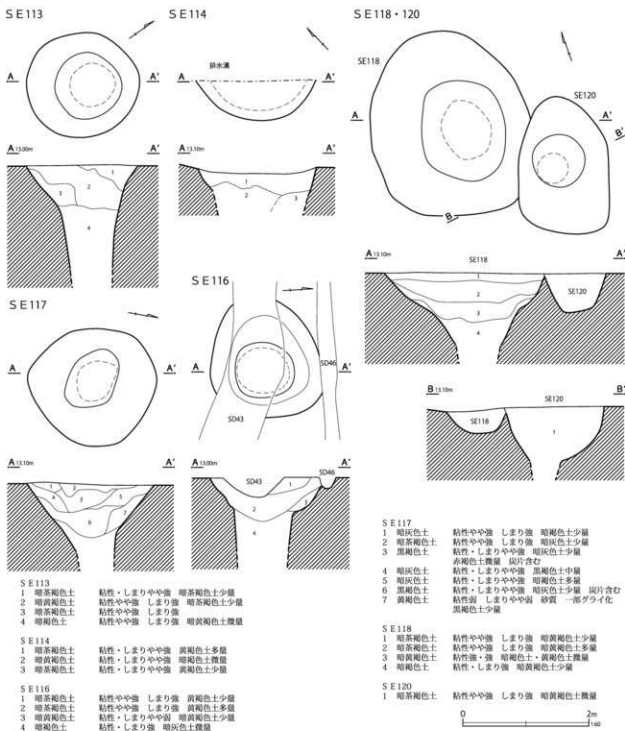
- 1 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 灰色ブロック多量
- 2 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 暗黄褐色土少量
- 3 暗黄褐色土 粘性やや強 しまり強 暗褐色土少量
- 4 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 暗黄褐色土微量

SE131

- 1 黄褐色土 粘性・しまりやや強 暗褐色土少量
- 2 暗茶褐色土 粘性・しまり強 黄褐色土少量
- 3 暗褐色土 粘性強 しまりやや強 黄褐色土微量
- 4 暗オリーブ色土 粘性強 しまりやや強 暗褐色土少量

0 2m
100

第28図 井戸跡 (19)



第29図 井戸跡 (20)

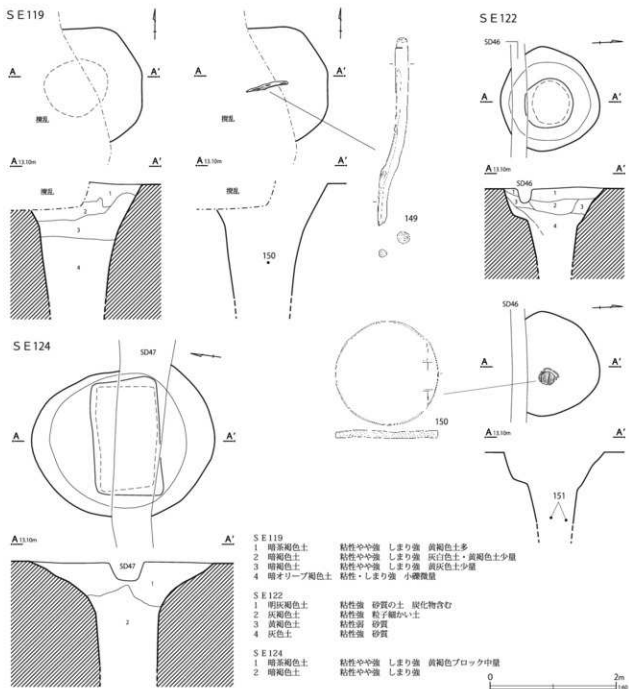
出土遺物は、第38図に示した。35は古瀬戸の平碗、36は常滑の片口鉢である。

第36号井戸跡 (第15・38図)

D-8 グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.98m、短軸1.78m、深さ1.68

m以上である。重複関係は第52号土壌を壊している。

出土遺物は、第38図に示した。39は瓦質土器の内耳鍋で、燻されている。径を大きく復元したが、口縁部が歪んでおり確実ではない。40は鬼瓦の破



第30図 井戸跡 (21)

片である。

第39号井戸跡 (第15・39図)

D・E-9グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸1.96m、短軸1.87m、深さ1.56m以上である。

出土遺物は、第39図に示した。41・42は瓦質土器の内耳鍋である。41の底面はナデ調整で、煤が

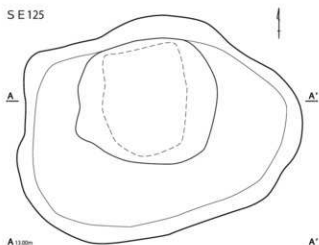
付着する。

第40号井戸跡 (第17・39図)

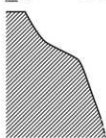
D・E-9・10グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、長軸2.23m、短軸1.91m、深さ1.72m以上である。

出土遺物は、第39図に示した。43は青磁碗である。44～46は古瀬戸である。44は深皿、45は平碗、

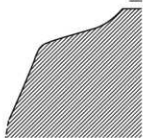
S E 125



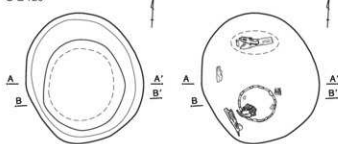
A 13.00m



A'



S E 126



A 13.30m



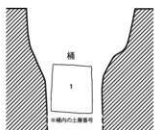
A'

A 13.30m



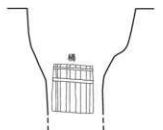
A'

B 13.30m



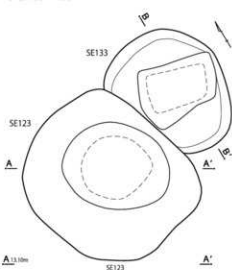
B'

B 13.30m

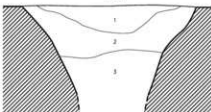


B'

S E 123・133

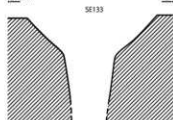


A 13.10m



A'

B 12.90m



B'

S E 123

- 1 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック少量
灰化物少量
2 暗茶褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック多量
粘性強 しまり強 暗灰色ブロック少量

S E 126

- 1 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 灰白色ブロック多量
2 暗褐色土 粘性強 しまり強 黄褐色ブロック少量
3 暗黄褐色土 粘性やや強 しまり強 暗褐色土少量
4 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 暗黄褐色土少量
5 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 灰化物少量
6 暗褐色土 粘性強 しまりやや強 白色粒微量
7 暗オリーブ色土 粘性弱 しまり弱 砂質 白色粒微量

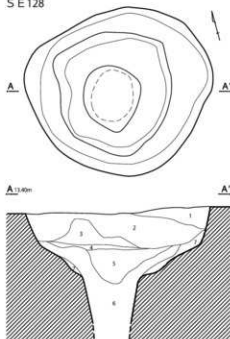
補

- 1 暗褐色土 粘性強 しまり強 白色粒微量含む
植物茎微量

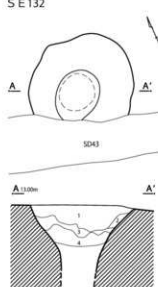
0 2m 1:40

第31図 井戸跡 (22)

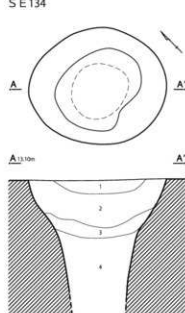
SE128



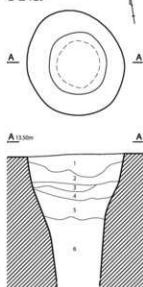
SE132



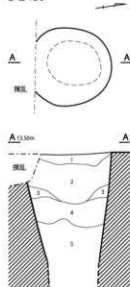
SE134



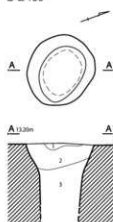
SE129



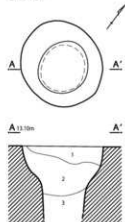
SE130



SE135



SE137



SE128

- 1 暗褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色ブロック・小礫少量
- 2 暗褐色土 粘性・しまり強 植物質多量
- 3 黒褐色土 粘性・しまり強 黄褐色ブロック少量 植物質多量
- 4 暗褐色土 粘性強 しまりやや強 暗灰色土少量
- 5 暗褐色土 粘性強 しまりやや強 暗灰色土少量
- 6 暗褐色土 粘性・しまり強 暗灰色土多量
- 7 暗灰色土 粘性やや強 しまり強 暗褐色土少量

SE129

- 1 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック中に多量
- 2 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック微量
- 3 暗褐色土 粘性・しまりやや強 暗褐色土微量
- 4 暗褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土少量
- 5 暗褐色土 粘性強 しまりやや強 黄褐色土少量
- 6 暗褐色土 粘性・しまり強 黄褐色土微量

SE130

- 1 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック中量
- 2 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック多量
- 3 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土中量
- 4 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色土少量
- 5 暗褐色土 粘性・しまり強 黄褐色土微量

SE132

- 1 暗褐色土 粘性・しまりやや強 暗褐色土微量 炭化物多量
- 2 暗褐色土 粘性・しまりやや弱 暗褐色土微量
- 3 暗褐色土 粘性・しまりやや弱 暗褐色土少量
- 4 暗褐色土 粘性・しまりやや強 暗褐色土微量

SE134

- 1 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック少量
- 2 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 黄褐色ブロック中量 炭化物微量
- 3 黒褐色土 粘性・しまり強 少量 小礫微量
- 4 黒褐色土 粘性・しまり強 白色粒・黒色粒微量

SE135

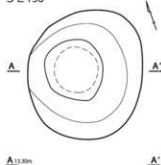
- 1 黒褐色土 粘性・しまりやや強 炭化物少量
- 2 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 炭化物・黄褐色土少量
- 3 黒褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土少量
- 4 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 炭化物微量 黄褐色土少量

SE137

- 1 暗褐色土 粘性・しまりやや弱 暗褐色土中に含まれる炭化物少量
- 2 暗褐色土 粘性やや強 しまり強 白色粒微量
- 3 黒褐色土 粘性強 しまり強 白色粒微量

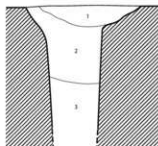
第32図 井戸跡 (23)

SE 136

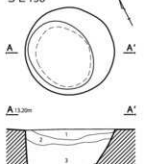


A 13.30m

A'



SE 138



A 13.30m

A'

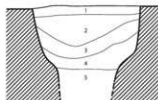


SE 142

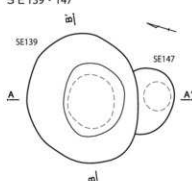


A 13.30m

A'

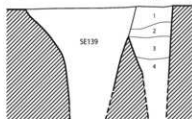


SE 139・147

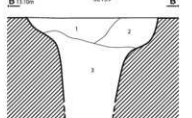


A 13.30m

A'

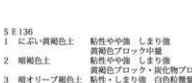


SE 139



B 13.30m

B'

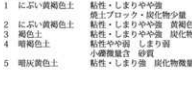


SE 139

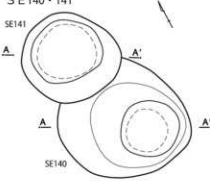


A 13.30m

A'

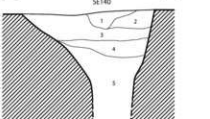


SE 140・141

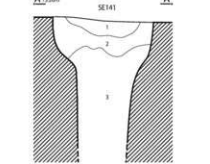


A 13.20m

A'

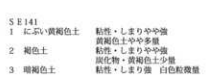


SE 141

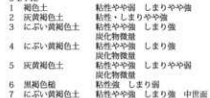


A 13.20m

A'

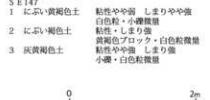


SE 142



A 13.20m

A'



SE 147



A 13.20m

A'



SE 136

- 1 にぶい・黄褐色土 粘性やや強 しまり強
黄褐色ブロック中量
粘性やや強 しまり強
黄褐色ブロック・炭化物ブロック少量
粘性・しまり強 白色粒微量

SE 138

- 1 にぶい・黄褐色土 粘性・しまりやや強
炭化物・黄褐色土少量
炭化物微量
2 にぶい・黄褐色土 粘性・しまりやや強 炭化物微量
黄褐色土少量
3 暗褐色土 粘性・しまり強 炭化物微量
炭化物・黄褐色土少量
粘性・しまり強 炭化物少量

SE 139

- 1 にぶい・黄褐色土 粘性・しまりやや強
黄褐色土やや多量
2 黄褐色土 粘性・しまりやや強
にぶい・黄褐色土やや多量
3 暗褐色土 粘性・しまり強 黄褐色土少量

SE 140

- 1 にぶい・黄褐色土 粘性・しまりやや強
硬土ブロック・炭化物少量
2 にぶい・黄褐色土 粘性・しまりやや強 黄褐色土少量
炭化物微量
3 暗褐色土 粘性やや弱 しまり弱
4 暗褐色土 小礫微量 砂質
5 暗灰黄色土 粘性・しまり強 炭化物微量

SE 141

- 1 にぶい・黄褐色土 粘性・しまりやや強
黄褐色土やや多量
2 褐色土 粘性・しまりやや強
炭化物・黄褐色土少量
粘性・しまり強 白色粒微量

SE 142

- 1 褐色土 粘性やや弱 しまりやや強
2 灰黄褐色土 粘性・しまりやや強
3 にぶい・黄褐色土 粘性やや強 しまり強
炭化物微量
4 にぶい・黄褐色土 粘性やや強 しまり強
炭化物微量
5 灰黄褐色土 粘性やや強 しまりやや弱
炭化物微量
6 黒褐色土 粘性強 しまり強
7 にぶい・黄褐色土 粘性やや強 しまり強 中世面
8 褐色土 粘性・しまりやや強

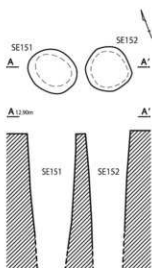
SE 147

- 1 にぶい・黄褐色土 粘性やや弱 しまりやや強
白色粒・小礫微量
2 にぶい・褐色土 粘性・しまり強
黄褐色ブロック・白色粒微量
3 灰黄褐色土 粘性やや強 しまり強
小礫・白色粒微量

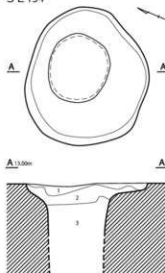
0 2m 100

第33図 井戸跡 (24)

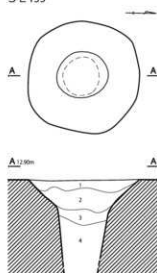
SE151・152



SE154



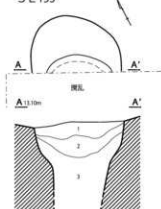
SE155



SE156



SE153



SE153

- 5 にふい・黄褐色土 シルト 粘性やや強 しまり強 白色粒・砂微量
6 灰黄褐色土 シルト 粘性・しまりやや弱 白色粒微量 5層よりも砂多量
7 灰黄褐色土 シルト 粘性強 しまりやや弱 白色粒微量 砂は6層と同程度含む

SE154

- 1 にふい・黄褐色土 粘性・しまり強 白色粒微量
2 褐色土 粘性・しまり強 赤褐色粒少量
3 黄褐色土 粘性・しまり強 炭化物少量

SE155

- 1 灰黄褐色土 粘性・しまりやや強 炭化物少量 黄褐色ブロックやや多量
2 黄褐色土 粘性・しまりやや強 白色粒少量 炭化物やや多量 密
3 黄褐色土 粘性・しまり強 白色粒微量 密
4 黒色土 粘性・しまり強 白色粒微量 密

SE156

- 1 オリーブ黒色土 シルト 粘性強 しまり弱



第35図 井戸跡 (26)

第2表 井戸跡一覧表 (第10～35図)

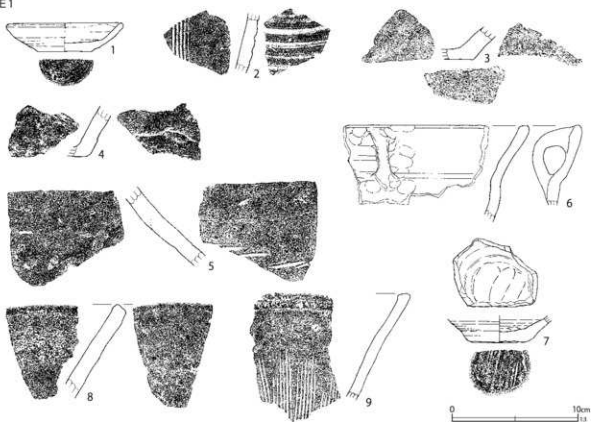
遺構名	グリッド	平面形	長軸方向	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	重複遺構
SE1	F・G-15	槽円形	N-14° -E	2.46	[2.20]	[1.67]	
SE2	F-15	槽円形	N-84° -E	1.56	[0.97]	[1.05]	
SE3	G-15	円形	N-53° -E	1.90	[1.80]	[1.25]	
SE4	F-14	円形	N-85° -E	2.38	2.04	[1.35]	
SE5	G-14	槽円形	N-65° -W	1.86	[1.51]	[1.73]	SE8 (新)
SE6	G-15	円形	N-34° -W	1.83	1.60	[1.69]	
SE7	F-12	円形	N-9° -W	1.06	1.04	[1.34]	
SE8	G-14	槽円形	N-56° -E	2.80	[1.24]	[2.00]	SE5・9 (古)
SE9	G-14	槽円形	N-18° -W	1.86	1.37	[1.63]	SE8 (新)
SE10	F-12	円形	N-70° -E	1.01	1.01	[1.32]	SK9 (古) SD9・10 (新)
SE11	F-12	槽円形	N-68° -E	2.51	2.40	[1.99]	SK8 (古) SD20 (古)
SE12	G-14	槽円形	N-70° -W	[1.50]	[0.70]	[0.83]	
SE13	E-11	円形	N-10° -E	1.32	1.22	[1.52]	SK7・25・26 (古)
SE14	F・G-14	円形	N-23° -W	2.43	2.42	[1.63]	SD2 (古)
SE15	G-13	槽円形	N-48° -W	1.34	1.19	[1.74]	SE20 (古)
SE16	G-13	槽円形	N-60° -W	[1.65]	[1.29]	[1.63]	SE20 (新)
SE17	F-14	円形	N-50° -W	[0.90]	[0.15]	[0.84]	

遺構名	グリッド	平面形	長軸方向	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	重複遺構
SE18	F-14	楕円形	N-40° -W	[1.48]	[1.00]	[0.97]	
SE19	E・F-11	円形	N-30° -W	1.15	1.08	[1.50]	SK23・24(新) SD20(新)
SE20	G-13	楕円形	N-70° -W	2.05	1.97	[1.67]	SE16(古) SK31(古) SD2(古) SE15(新)
SE21	E-9・10	楕円形	N-23° -W	1.82	1.68	[2.00]	SD14 ~ 16(古)
SE22	E-10	円形	N-60° -E	1.08	0.97	[1.65]	SK17・33(古) SD22(新)
SE23	D・E-10	円形	N-79° -W	[1.35]	[1.15]	[1.62]	SD14(古) SK32(新)
SE24	G-12・13	円形	N-46° -E	1.80	[1.45]	[1.53]	
SE25	D-9	不整形	N-57° -E	1.78	1.63	[1.93]	
SE26	F-10	楕円形	N-12° -W	2.04	1.62	[1.75]	SK26(古)
SE27	F-11	楕円形	N-88° -E	1.89	1.48	[1.71]	SK35・38・57(古)
SE28	D-9	楕円形	N-11° -E	2.08	1.71	[1.51]	SK37(古) SD25・31(古)
SE29	D-9	楕円形	N-2° -E	1.27	1.24	[1.31]	SD31(古)
SE30	D・E-8	円形	N-5° -W	2.00	1.93	[1.62]	SK40(新)
SE31	E-9	楕円形	N-64° -E	1.85	1.77	[1.64]	SE32A・B(古)
SE32A	E-9	円形	N-45° -E	1.45	[0.92]	[1.64]	SE32B(古) SD31(新)
SE32B	E-9	円形	N-76° -E	[1.55]	[0.42]	[1.34]	SE32A(新) SD31(新)
SE33	E-9	楕円形	N-52° -W	1.57	1.29	[1.50]	SD31(古) SD25(新)
SE34	G-12	楕円形	N-50° -W	1.80	1.67	[1.54]	SD2(古)
SE35	D-8	楕円形	N-89° -E	1.95	1.74	[1.38]	
SE36	D-8	楕円形	N-19° -E	1.98	1.78	[1.68]	SK52(古)
SE37	D-8・9	楕円形	N-85° -W	2.22	[1.75]	[1.97]	SK43(古)
SE38	D-8	楕円形	N-29° -E	2.11	1.71	[1.31]	
SE39	D・E-9	円形	N-63° -E	1.96	1.87	[1.56]	
SE40	D・E-9・10	楕円形	N-75° -E	2.23	1.91	[1.72]	
SE41	E-10	円形	N-68° -E	1.90	[1.12]	[1.85]	SE62(新) SD22(新)
SE42	F-10	円形	N-26° -W	2.02	1.86	[1.50]	SD22(古)
SE43	E-9・10	円形	N-59° -E	3.33	3.27	[2.21]	
SE44	E-10	円形	N-81° -W	2.81	2.75	[1.95]	SD24(古) SD16・17(新)
SE45	E-10	円形	N-40° -E	1.27	1.01	[1.45]	SE60(古) SE62(新)
SE46	E-8	楕円形	N-55° -W	1.43	1.27	[1.77]	
SE47	G-12	楕円形	N-2° -W	1.62	1.53	[1.70]	SK44(古)
SE48	G-11・12	円形	N-15° -W	1.32	1.31	[1.82]	
SE49	G-11	楕円形	N-32° -W	1.81	1.58	[1.74]	SD33(古) SE67(新)
SE50	D-8	円形	N-35° -W	1.38	[0.95]	[1.80]	
SE51	E-9	円形	N-70° -E	1.66	1.54	[1.85]	SD31(古)
SE52	G-11	円形	N-83° -E	1.32	1.23	[1.54]	
SE53	F-10・11	楕円形	N-38° -W	1.87	1.72	[1.50]	SE55(新)
SE54	F-11	楕円形	N-60° -W	2.33	1.91	[1.33]	SE55(古)
SE55	F-11	楕円形	N-62° -W	1.83	1.62	[1.50]	SE53(古)・54(新)
SE56	E-8	楕円形	N-85° -W	2.10	1.79	[1.74]	
SE57	E-8	円形	N-37° -W	1.74	1.71	[1.77]	
SE58	E・F-8	楕円形	N-30° -W	1.92	1.70	[1.43]	
SE59	F-9	楕円形	N-63° -E	1.63	1.48	[1.15]	SE61(古) SD31(古)
SE60	E-10	不整形	N-67° -E	[2.85]	[2.30]	[1.85]	SE66(古) SD19(古) SE41・45・62(新) SD22(新)
SE61	F-9	楕円形	N-80° -W	[1.15]	[0.90]	[1.24]	SD31(古) SE59(新)
SE62	E-10	楕円形	N-57° -E	2.10	2.08	[1.90]	SE41・45・60(古) SD19(古)
SE63	F-10	楕円形	N-80° -W	1.71	[1.40]	[1.60]	SD22(新)
SE64	F-10	円形	N-60° -W	1.24	1.22	[1.34]	
SE65	E-8	円形	N-30° -W	1.59	1.51	[1.53]	
SE66	E-10	楕円形	N-70° -E	[1.05]	[1.05]	[1.36]	SE60(新)
SE67	G-11	楕円形	N-90°	[2.27]	[1.90]	[1.69]	SE49(古) SD33(古)
SE68	L-21	楕円形	N-58° -W	2.34	2.03	[2.42]	SE39(古)
SE69	L-20・21	楕円形	N-27° -W	3.07	2.76	[1.16]	SE127(新)
SE70	K-20・21	楕円形	N-21° -W	2.15	1.85	[1.60]	

遺構名	グリッド	平面形	長軸方向	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	重複遺構
SE71	L-20・21	不整形	N-12° -E	2.42	2.18	[1.69]	
SE72	K-19	円形	N-7° -W	2.11	1.87	[1.69]	SD40(古)
SE73	K-19	円形	N-12° -W	1.85	1.80	[1.75]	
SE74	J-19	楕円形	N-67° -E	2.46	2.40	[2.12]	
SE75	J・K-19	円形	N-46° -E	2.00	1.79	[1.45]	SE84(古)
SE76	J-19	円形	N-9° -W	1.38	1.35	[1.38]	
SE77	K・L-21	楕円形	N-29° -W	1.83	1.49	[1.03]	
SE78	J-19	楕円形	N-73° -E	1.15	0.91	[0.95]	SE79(古)
SE79	J-19	楕円形	N-57° -E	[1.67]	1.31	[1.14]	SE84・86・105(古) SE78(新)
SE80	J-19	楕円形	N-11° -W	2.40	[1.80]	[2.31]	
SE81	I-19	楕円形	N-53° -W	[1.72]	[1.35]	[1.57]	SE115(古) SD41・45(新)
SE82	K-19	円形	N-73° -E	2.41	2.25	[1.48]	
SE84	J-19	楕円形	N-36° -W	[1.91]	1.59	[1.27]	SE75・79(新)
SE85	J-17	円形	N-8° -W	1.94	1.72	[1.83]	
SE86	J-19	楕円形	N-58° -W	[1.15]	0.89	[1.03]	SE105(古) SE79(新)
SE87	J-16	楕円形	N-52° -E	2.39	1.99	[1.69]	
SE88	J-16・17	楕円形	N-4° -E	2.02	1.80	[1.68]	
SE89	I-17・18	楕円形	N-90°	2.06	1.74	[1.38]	SE125(古) SD47(古)
SE90	I・J-17	楕円形	N-0°	2.76	2.46	[2.12]	
SE93	J-19・20	不整形	N-55° -E	[1.92]	1.75	[2.25]	SD40(新)
SE94	I・J-19	楕円形	N-65° -E	2.10	1.95	[2.10]	
SE95	J-18	楕円形	N-85° -E	1.95	1.91	[2.10]	
SE96	J-18	円形	N-44° -W	1.12	1.10	[2.14]	SE107(新)
SE98	I-18	楕円形	N-62° -E	2.57	2.12	[1.46]	SE99(古)
SE99	I-18	楕円形	N-9° -E	2.35	2.06	[1.72]	SE98(新)
SE101	J-18	円形	N-35° -W	1.94	1.88	[1.66]	
SE102	J-18	楕円形	N-65° -E	2.14	1.90	[1.89]	SK152(古)
SE103	I・J-17	楕円形	N-55° -E	[2.93]	[2.56]	[1.68]	SD43・44(新)
SE104	J-19	楕円形	N-41° -W	2.15	1.88	[2.10]	
SE105	J-19	楕円形	N-1° -W	1.22	[0.49]	[1.32]	
SE106	I-18	楕円形	N-58° -W	2.50	[2.00]	[1.16]	SD43(新)
SE107	J-18	楕円形	N-14° -E	3.25	2.14	[2.10]	SE96(古)
SE108	J-19	楕円形	N-50° -W	2.10	1.92	[1.62]	SD41・43(新)
SE110	J-19	楕円形	N-22° -E	1.46	1.29	[1.23]	
SE111	J-19	楕円形	N-2° -E	1.90	1.71	[1.79]	SE131(古) SK136(新)
SE112	J-18	楕円形	N-11° -W	1.95	[1.40]	[1.23]	SD43(新)
SE113	J-17	円形	N-57° -E	1.80	1.69	[1.61]	
SE114	I-19	楕円形	N-45° -W	[1.90]	[0.61]	[0.47]	
SE115	I-19	円形	N-1° -E	[0.95]	[0.90]	[1.21]	SE81(新) SD41・45(新)
SE116	I-17	楕円形	N-5° -W	1.75	[1.11]	[1.05]	SD43・46(新)
SE117	I-16	不整形	N-0°	2.00	1.86	[1.00]	
SE118	I-16	楕円形	N-15° -W	3.09	2.55	[1.13]	SE120(新)
SE119	I-16	楕円形	N-25° -E	[1.98]	[1.87]	[1.83]	
SE120	J-16	楕円形	N-17° -E	2.16	1.42	[0.87]	SE118(古)
SE122	I-18	円形	N-83° -E	1.64	1.54	[1.13]	SD46(新)
SE123	I-18	楕円形	N-27° -E	2.87	2.75	[1.40]	SE133(古)
SE124	I-17	楕円形	N-10° -W	2.92	2.29	[1.64]	SD47(新)
SE125	I-17・18	不整形	N-66° -E	4.55	3.45	[1.70]	
SE126	I-16	楕円形	N-5° -W	2.07	1.88	[1.70]	SK142(古)
SE127	L-20・21	楕円形	N-0°	1.08	0.75	[1.26]	SE69(古)
SE128	I-16	楕円形	N-90°	2.90	2.64	[1.85]	
SE129	I-16・17 J-17	楕円形	N-27° -W	1.70	1.48	[2.01]	
SE130	J-18	楕円形	N-5° -E	[1.20]	1.22	[1.78]	
SE131	J-19	楕円形	N-68° -W	[1.58]	[1.14]	[1.34]	SE111(新) SK136(新)

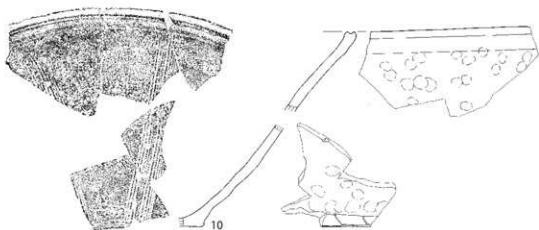
遺構名	グリッド	平面形	長軸方向	長軸 (m)	短軸 (m)	深さ (m)	重複遺構
SE132	J-18	楕円形	N-26° -W	1.50	[1.56]	[1.05]	SD43(新)
SE133	I-18	楕円形	N-0°	[2.07]	[1.50]	[1.44]	SE123(新)
SE134	D-6	楕円形	N-43° -W	2.15	1.84	[1.80]	
SE135	C-7	楕円形	N-49° -W	1.15	1.02	[0.98]	
SE136	D-7	楕円形	N-59° -E	2.10	1.87	[1.95]	
SE137	D-6	楕円形	N-60° -W	1.36	1.24	[1.06]	
SE138	D-6	円形	N-15° -W	1.39	1.37	[1.21]	
SE139	D-6	楕円形	N-51° -E	2.07	1.75	[1.35]	SE147(古)
SE140	D-6・7	楕円形	N-50° -W	2.13	1.85	[1.43]	SE141(新)
SE141	D-6・7	楕円形	N-72° -W	1.57	1.42	[1.98]	SE140(古)
SE142	D-5	楕円形	N-13° -E	1.68	[0.63]	[1.22]	
SE143	C-6	楕円形	N-23° -E	1.59	1.54	[1.51]	
SE144	D・E-6	円形	N-57° -E	0.86	0.84	[1.32]	
SE145	D-5	楕円形	N-48° -W	1.49	1.38	[1.63]	
SE146	D-5	楕円形	N-55° -E	1.24	1.08	[1.48]	
SE147	D-6	楕円形	N-85° -W	1.06	[0.54]	[1.04]	SE139(新)
SE148	B-6	楕円形	N-60° -W	2.41	2.30	[2.45]	
SE149	D-5	楕円形	N-58° -E	1.40	1.32	[1.57]	
SE150	C-4	楕円形	N-90°	1.99	1.31	[1.92]	
SE151	B-6	楕円形	N-33° -W	0.75	0.66	[1.66]	
SE152	B-6	円形	N-70° -E	0.70	0.68	[1.80]	
SE153	C・D-5・6	楕円形	N-77° -W	[1.40]	[0.90]	[1.17]	
SE154	C-5	楕円形	N-75° -E	2.20	1.90	[1.85]	
SE155	C-5	円形	N-46° -W	1.86	1.80	[1.28]	
SE156	C-3	楕円形	N-81° -E	1.03	0.78	[1.15]	

SE1



第36図 井戸跡出土遺物 (1)

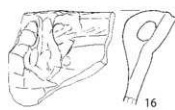
SE1



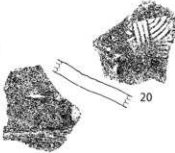
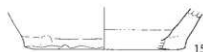
SE7



SE8



SE9



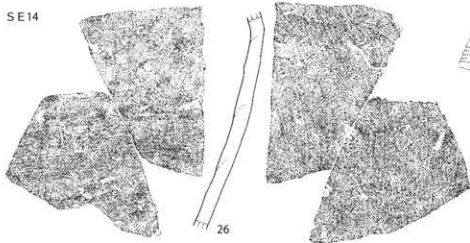
SE11



SE13



SE14

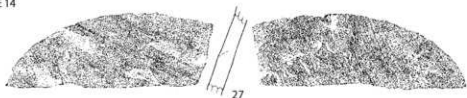


25

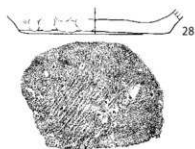


第37図 井戸跡出土遺物(2)

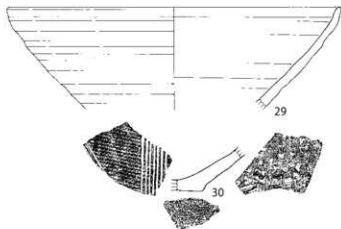
SE14



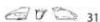
SE21



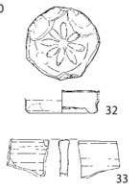
SE23



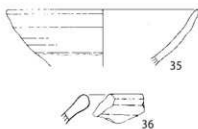
SE29



SE30



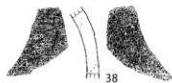
SE31



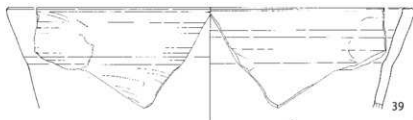
SE32



SE35



SE36

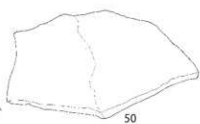
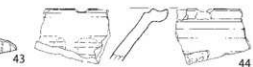


第38図 井戸跡出土遺物 (3)

SE39



SE40



SE41

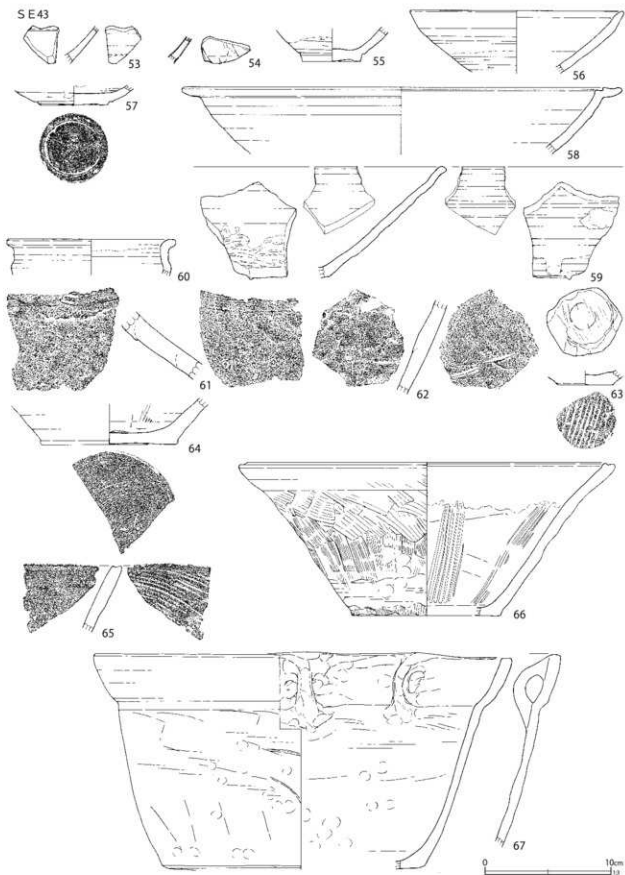


SE42



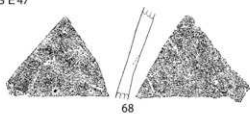
0 10cm 1/4 41・43・49・51・52 0 10cm 1/3

第39図 井戸跡出土遺物(4)

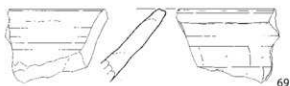


第40図 井戸跡出土遺物（5）

SE47



68



69

SE50



70

SE53



71



72

SE54



73

SE59



74



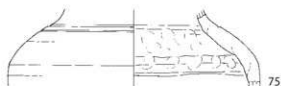
75



76



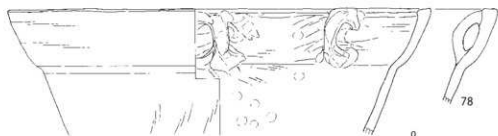
77



78



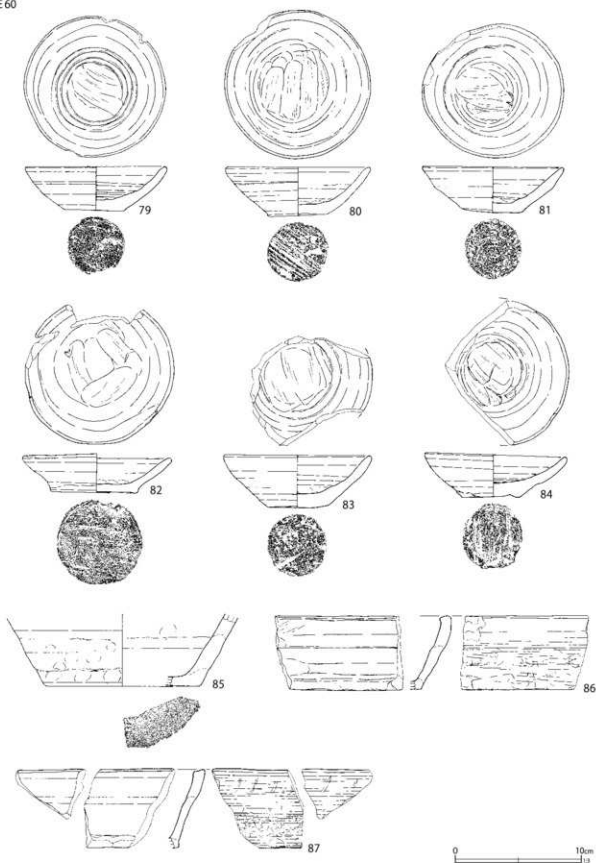
79



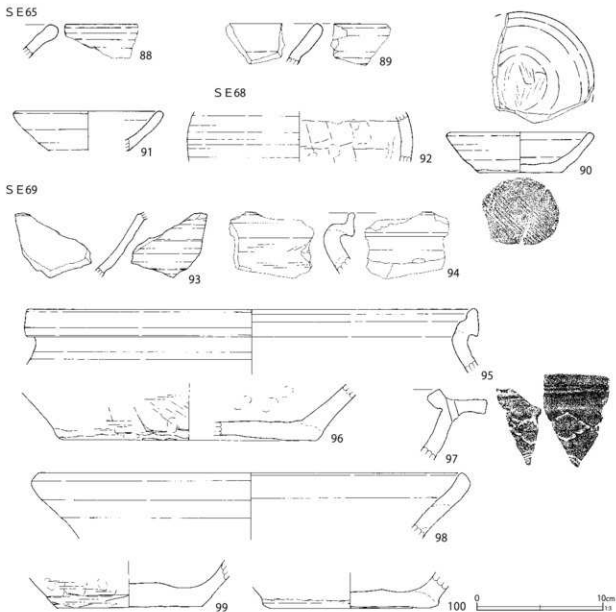
80

0 10cm

第41図 井戸跡出土遺物(6)



第42図 井戸跡出土遺物 (7)



第43図 井戸跡出土遺物（8）

46は播鉢である。47は瓦質土器の鉢で、燻されている。48は常滑の片口鉢で、底面砂目、外面はヘラナデである。14世紀から15世紀代の所産である。49は瓦質土器の内耳鍋である。外面煤付着。50は常滑の甕である。

第41号井戸跡（第16・39図）

E-10グリッドに位置する。第41・45・60・62号が、重複、近接して造られている。何らかの原因で、同じ個所で掘り直した結果と考えられる。第41・45・60号井戸跡間の新旧は不明で、第62号

井戸跡、第22号溝跡がそれらを壊している。

第60号井戸跡は底面に更に計40cmの掘り込みがあり、これが井筒の痕跡と考えられる。いずれも覆土の上層は粘土ブロックを多く含み、埋め戻されている。

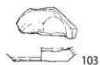
平面形態は円形で、規模は、長軸1.90m、短軸1.12m、深さ1.85m以上である。重複関係は第62号井戸跡、第22号溝跡によって壊されている。

出土遺物は、第39図に示した。51は白磁の碗である。

SE70



101



103

SE72

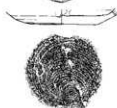


104

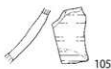
SE71



102



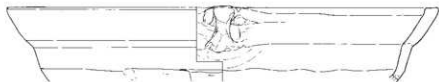
SE74



105



106



107



108



109



110

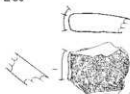
SE76



111



SE80



112

SE88



114



115

SE81



113

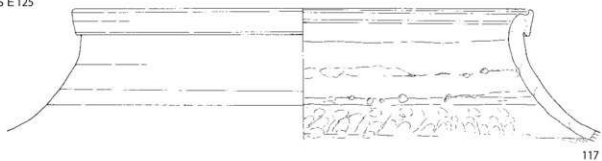


116

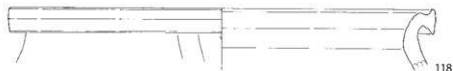


第44図 井戸跡出土遺物 (9)

SE125

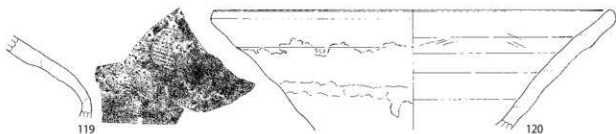


117



118

0 10cm
1/16



119

120

0 10cm
1/16

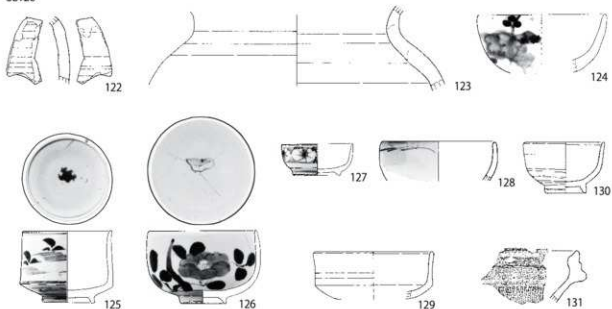


121

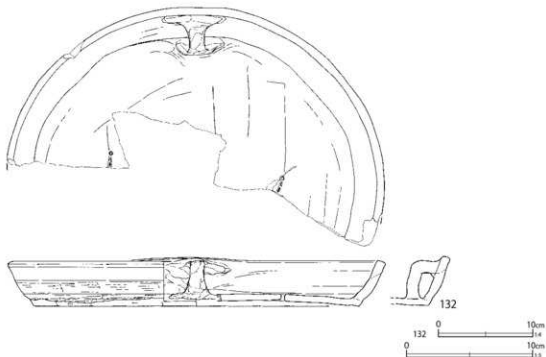
0 20cm
1/16

第45図 井戸跡出土遺物 (10)

SE126



SE128



第46図 井戸跡出土遺物 (11)

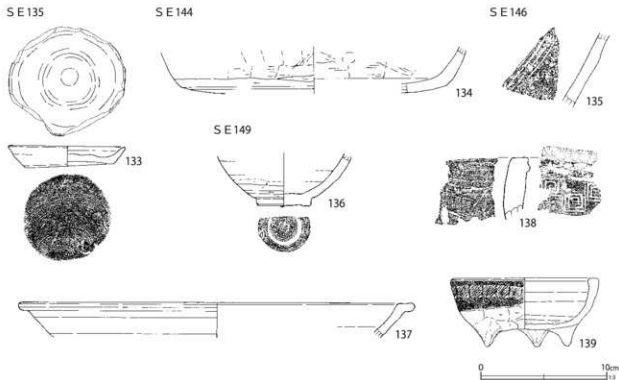
第43号井戸跡 (第17・40・58図)

E-9・10グリッドに位置する。平面形態は円形で、長軸3.33mの円形の掘り方を持つ。井筒の肩に当たる部分が崩落しており、覆土の様相からも崩落に伴い埋め戻されたと考えられる。

規模は、長軸3.33m、短軸3.27m、深さ2.21

m以上である。

出土遺物は、第40・58図に示した。53は白磁碗である。54は龍泉窯系青磁碗で、外面に半肉彫りの蓮弁が施されている。55～60は古瀬戸である。55は後期様式の日目茶碗、57は後期様式の緑軸小皿である。59は直口縁の大皿である。61・62は常



第47図 井戸跡出土遺物 (12)

滑甍の胴部破片である。63はかわらけであり、底部は糸切である。板目条圧痕が残る。64は古瀬戸の擂鉢である。65・66は瓦質土器の擂鉢、67は内耳鍋である。192は安山岩製の石臼である。

第44号井戸跡 (第17図)

E-10グリッドに位置する。重複関係は第16・17号溝跡によって壊されている。

覆土中に炭化物を多く含み、周辺の施設等が焼失した際に流れ込んだと考えられる。

平面形態は円形で、長軸2.81m、短軸2.75m、深さ1.95mである。

第47号井戸跡 (第17・41図)

G-12グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.62m、短軸1.53m、深さ1.70m以上である。重複関係は第44号土壌を本跡が壊している。

出土遺物は、第41図に示した。68・69は常滑である。69は片口鉢で外面の下位はヘラケズリが施されている。

第65号井戸跡 (第20・43・57図)

E-8グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸1.59m、短軸1.51m、深さ1.53m以上である。

出土遺物は、第43・57図に示した。88は常滑の片口鉢であり、13世紀代の所産である。90・91はかわらけである。90の底部は回転糸切であり、板目条圧痕が残る。185は板碑の破片である。花瓶と、「十月日」の銘文が確認できる。

第68号井戸跡 (第20・43図)

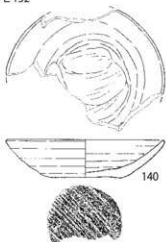
L-21グリッドに位置する。第39号井戸跡と重複し、本跡が壊している。中段に木杭や竹の破片が分布しており、竹枠の井戸跡が設けられていた可能性がある。上層は粘土ブロックを多く含み、埋め戻されている。

平面形態は楕円形である。

規模は、長軸2.34m、短軸2.03m、深さ2.42m以上である。

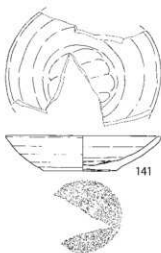
出土遺物は、第43図に示した。92は古瀬戸の瓶類で、四耳壺の可能性がある。前期様式の製品である。

SE152



140

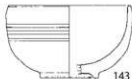
SE154



141

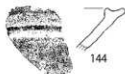


142



143

SE156



144



145



第48図 井戸跡出土遺物 (13)

第69号井戸跡 (第21・43・49図)

L-20・21グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸3.07m、短軸2.76m、深さ1.16m以上である。重複関係は第127号井戸跡によって、壊されている。

出土遺物は、第43・49図に示した。93は古瀬戸の折縁深皿で、内外面に灰釉を施軸する。後期様式の製品であり、15世紀代の所産である。94～96は常滑の甕である。94・95は口縁部の破片であり、13世紀代の所産である。97～100は瓦質土器である。97は火鉢で鐙部に焼成前穿孔が見られる。100は鉢であり、内面が摩耗している。146は桶の底板である。炭化している。

第72号井戸跡 (第21・44図)

K-19グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸2.11m、短軸1.87m、深さ1.69m以上である。重複関係は第40号溝跡を本跡が壊し

ている。

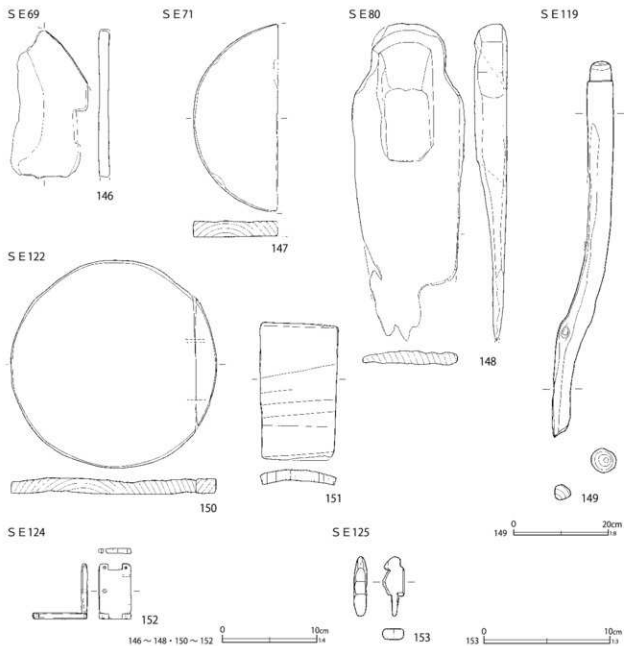
出土遺物は、第44図に示した。104は古瀬戸の縁軸小皿である。後期様式の製品であり、15世紀代の所産である。

第74号井戸跡 (第22・44・53図)

J-19グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸2.46m、短軸2.40m、深さ2.12m以上である。

出土遺物は、第44・53図に示した。105は古瀬戸の平碗である。後期様式の製品で、14世紀後葉から15世紀前葉の所産である。106～108は瓦質土器である。107は内耳鍋、108は焙烙である。

109・110はかわらけである。109は胎土が粗い。179は板碑であり、主尊より上を欠損する。脇侍のサ・サク種子から、キリーク三尊種子を主尊としたものと考えられる。種子には蓮座を伴う。碑面の摩滅が著しく判然としなが、方眼状の区画



第49図 井戸跡出土遺物 (14)

に光明真言を刻むものと思われる。銘文が記されるが判読できなかった。

第75号井戸跡 (第22図)

J・K-19グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸2.00m、短軸1.79m、深さ1.45m以上である。重複関係は第84号井戸跡を本跡が壊している。

第80号井戸跡 (第24・44・49・54～56図)

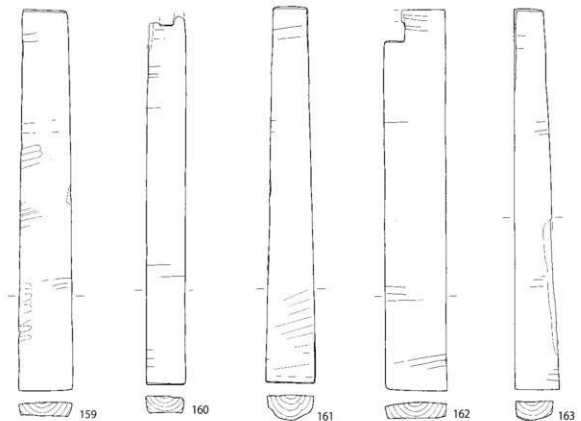
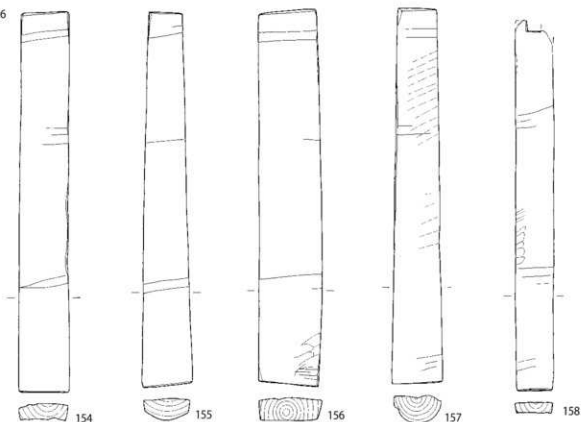
J-19グリッドに位置する。平面形態は楕円形

で、規模は、長軸2.40m、短軸1.80m、深さ2.31m以上である。

出土遺物は、第44・49・54～56図に示した。148は木製品である。狭鋸の可能性ある。方形の柄付孔が設けられている。

180～182は板碑でありいずれも完形で出土した。180は異体字キリク種子を主尊とする。蓮座を伴う。碑面は丁寧に磨かれ、枠線と一対の花瓶を刻む。銘文は、中央には一行で「正和二年正

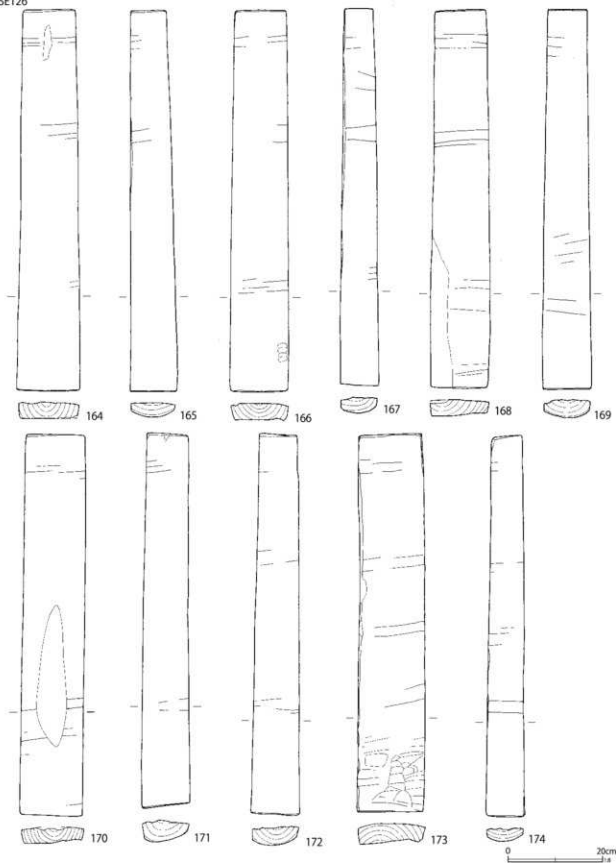
SE126



0 20cm
1m

第50図 井戸跡出土遺物 (15)

SE126



第51図 井戸跡出土遺物 (16)

SE126



175

SE128



176

0 20cm



177

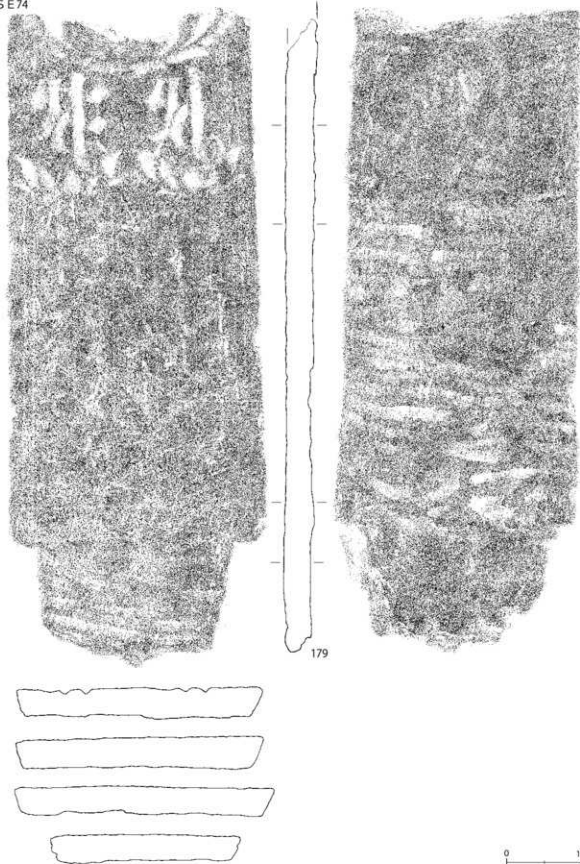


178

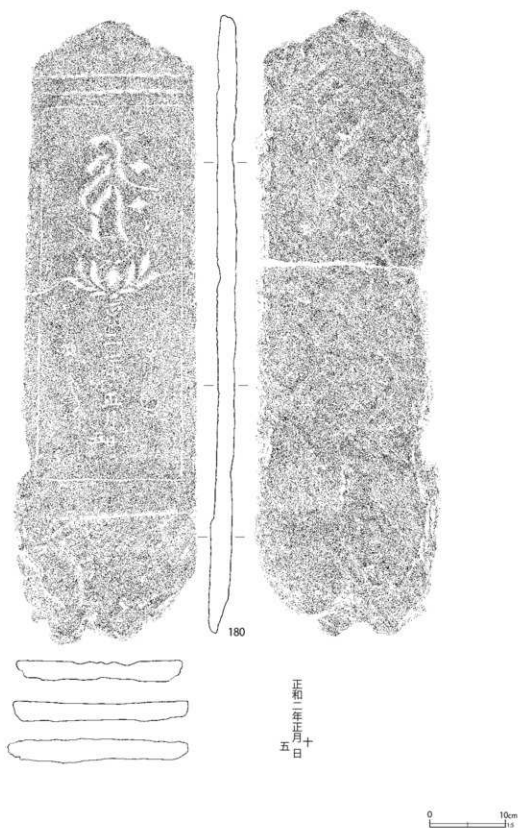
0 10cm

第52図 井戸跡出土遺物 (17)

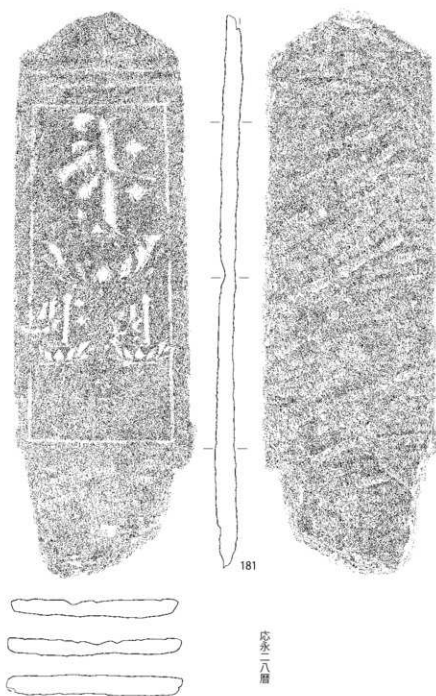
SE74



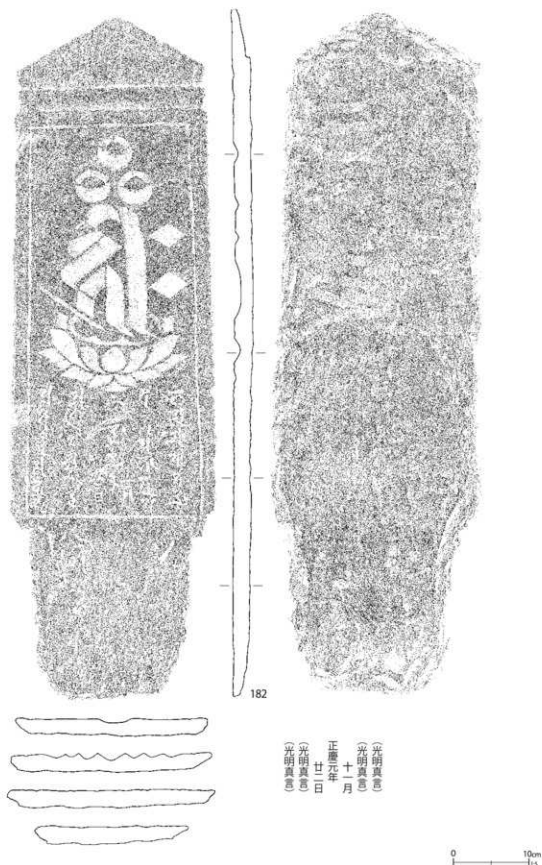
第53図 井戸跡出土遺物 (18)



第54図 井戸跡出土遺物 (19)



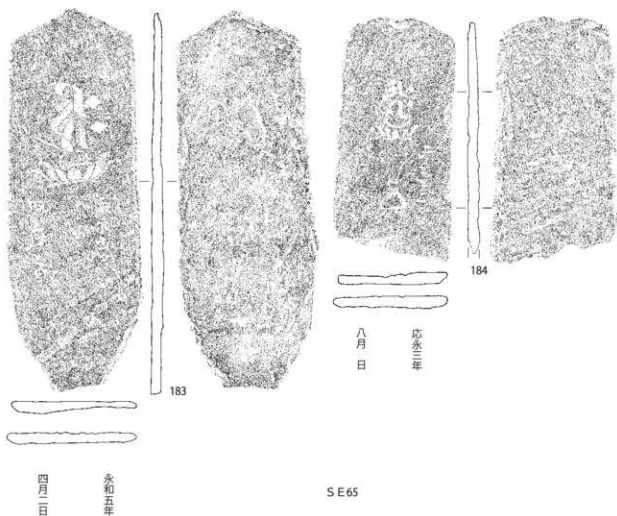
第55図 井戸跡出土遺物 (20)



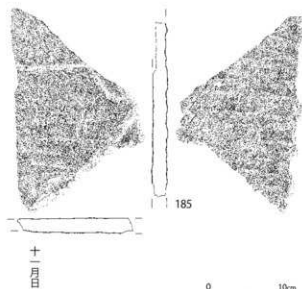
第56図 井戸跡出土遺物 (21)

SE25

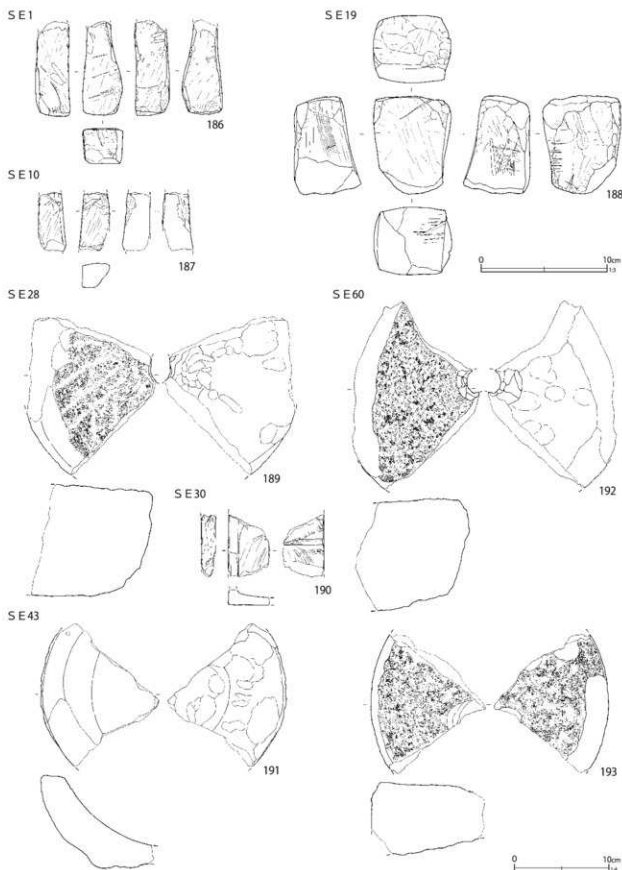
SE57



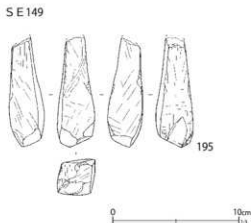
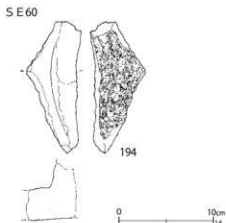
SE65



第57図 井戸跡出土遺物 (22)



第58図 井戸跡出土遺物 (23)



第59図 井戸跡出土遺物 (24)

月十五日」と記される。正和二年は、1313年に相当する。基部および裏面には押削痕が遺存する。181は異体字キリク三尊種子を主尊とする。種子には蓮座を伴う。碑面に対して、種子の占める割合が高い。枠線を刻む。銘文は中央に一行で「応永二八曆」と記す。基部および裏面には押削痕が遺存する。応永二八年は1421年に相当する。

182は正体字キリク種子一尊を主尊とする。種子には蓮座と、イ一字の三点を伴う。枠線を刻む。種子の下には4行にわたって、光明真言が刻まれる。銘文は中央に「正慶元年／十一月／廿二日」と記される。正慶元年は1333年に相当する。基部はホノ状に作り出す。基部および裏面の一部には押削痕が遺存する。

第119号井戸跡 (第30・49図)

I-16グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸1.98m、短軸1.87m、深さ1.83m以上である。

出土遺物は、第49図に示した。149は何らかの部材と考えられるが用途不明である。井戸枠の部材の可能性もある。

第122号井戸跡 (第30・49図)

I-18グリッドに位置する。平面形態は円形で、規模は、長軸1.64m、短軸1.54m、深さ1.13m以上である。重複関係は第46号溝跡によって壊されている。

出土遺物は、第49図に示した。150・151は桶である。150は接合用の木釘が残る。151は側板でタガの痕跡が残る。

第124号井戸跡 (第30・49図)

I-17グリッドに位置する。平面形態は楕円形で、規模は、長軸2.92m、短軸2.29m、深さ1.64m以上である。重複関係は第47号溝跡によって壊されている。

出土遺物は、第49図に示した。152は方形の箱の部品と考えられるが詳細は不明である。

第125号井戸跡 (第31・45・49図)

I-17・18グリッドに位置する。平面形態は不整形で、規模は、長軸4.55m、短軸3.45m、深さ1.70m以上である。

出土遺物は、第45・49図に示した。117～119は常滑の大甕である。117・119は肩部に押印文が施されている。同一個体の可能性がある。13世紀後葉の所産である。121は常滑焼の甕である。口縁部から肩部にかけてと、底部の破片であり、同一個体と考えられる。153は木製品である。鳥形で、何らかの装飾品と考えられる。

(2) 溝跡

溝跡は、全部で49条検出された。多くが直線に走る溝跡であるが、第63図に示した第26・28号溝跡はそれぞれL・逆L字状に走り、一連のものとして方形区画をなす可能性がある。個別の溝跡に

第3表 井戸跡出土遺物観察表 (第36～59図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
1	陶器	縁軸小皿	(8.9)	2.2	4.3	I	40	普通	灰白	古瀬戸 底部糸切痕 口縁部灰釉 後期様式 15C中～後	
2	陶器	擂鉢	-	[4.7]	-	EI	5	普通	浅黄橙	古瀬戸	
3	陶器	鉢	-	[2.6]	-	EIK	5	普通	にぶい橙	常滑	
4	陶器	甕	-	[4.1]	-	EI	5	普通	黄灰	常滑	
5	陶器	甕	-	[6.3]	-	EIK	5	普通	にぶい橙	常滑	
6	瓦質土器	内耳鍋	-	[7.6]	-	CI	5	普通	灰褐		
7	かわらけ	小皿	-	[2.1]	4.3	CH	25	普通	にぶい黄橙	糸切痕(右) 板目状圧痕	
8	瓦質土器	鉢	-	[7.5]	-	DEK	5	普通	灰白		
9	瓦質土器	擂鉢	-	[9.1]	-	IK	5	普通	灰白		
10	瓦質土器	擂鉢	-	(15.4)	-	GI	25	普通	灰白	古瀬戸	
11	陶器	瓶類	-	[4.2]	-	EK	5	良好	灰白	古瀬戸 外面灰釉 前期様式 四耳壺か	
12	磁器	碗	-	[2.3]	-	K	5	良好	灰白	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 外面蓮弁文 大宰府青磁碗Ⅱ類 13C中～14C初	
13	陶器	縁軸小皿	-	[1.4]	4.9	I	30	普通	灰白	古瀬戸 底部糸切痕(右) 内外面上位灰釉 内底面露胎 後期様式 15C中～後	
14	陶器	瓶類	-	[5.8]	-	K	10	良好	灰白	古瀬戸 外面灰釉 前期様式 四耳壺か	
15	陶器	甕	-	[3.3]	(12.7)	EIK	5	普通	褐灰	常滑 砂目底 内外面ヨコナデ	
16	瓦質土器	内耳鍋	-	[7.4]	-	AEGI	5	普通	灰白	外面煤付着 燻十	
17	磁器	碗	-	[1.8]	-	I	5	普通	灰白	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 内面劃花文 大宰府青磁碗Ⅰ-2類 12C中～後	
18	陶器	甕	-	[2.0]	-	I	5	普通	黄灰	常滑 内外面ヨコナデ 12C後	
19	磁器	碗	-	[1.9]	-	-	5	良好	白	白磁 中国南部 内外面施釉	
20	陶器	甕	-	[3.9]	-	EIK	5	普通	褐灰	常滑 内面ヨコナデ 外面押印文	
21	陶器	鉢	-	[3.3]	-	IK	5	普通	灰白	山茶碗系 13C	
22	瓦質土器	壺	-	[6.0]	-	EIK	5	不良	浅黄橙	外面丁寧なヘラナデ	
23	磁器	碗	-	[1.5]	-	IK	5	良好	灰白	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 外面蓮弁文 大宰府青磁碗Ⅱ類 13C中～14C初	
24	陶器	瓶類	-	[2.5]	-	EI	5	普通	灰白	古瀬戸 内外面灰釉 前期様式 四耳壺か	
25	陶器	鉢	-	[3.5]	-	EK	5	普通	褐灰	山茶碗系 13C	
26	陶器	甕	-	[17.0]	-	EHK	10	普通	灰黄褐	常滑 内面ヨコナデ 一部指頸圧痕 外面ヘラナデ	
27	陶器	甕	-	[6.9]	-	EHK	5	普通	灰褐	常滑 内面ヨコナデ 外面ヘラナデ	
28	瓦質土器	鉢	-	[1.9]	12.0	DEHK	10	普通	灰黄	底部静止糸切後周囲ナデ	
29	陶器	碗形鉢	(26.1)	[8.1]	-	EK	20	普通	灰白	古瀬戸 内外面灰釉 縁部ぎれ 後期様式 15C前～中	
30	瓦質土器	擂鉢	-	[3.6]	-	EIK	5	普通	浅黄橙		
31	磁器	坏	-	[0.9]	-	K	5	良好	白	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 高台部破片 大宰府分類 青磁坏Ⅲ類 13C中～14C初	
32	磁器	碗	-	[1.8]	5.2	I	20	良好	灰白	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁釉 内底面陰刻梵文 大宰府青磁碗Ⅳ類か 14C後	
33	陶器	香炉	-	[3.0]	-	IK	5	良好	灰白	古瀬戸 内外面鉄釉 後期様式 15C後	
34	瓦質土器	内耳鍋	(31.8)	[12.7]	-	CEI	10	普通	灰		
35	陶器	平碗	(15.0)	[4.5]	-	DI	10	普通	灰白	古瀬戸 内外面灰釉 後期様式 14末～15C前	
36	陶器	片口鉢	-	[2.4]	-	DE	5	普通	灰	常滑 13C	
37	陶器	縁軸小皿	-	[1.5]	(4.8)	HK	10	普通	灰白	古瀬戸 内面僅かに輪軸 後期様式 15C	
38	陶器	甕	-	[4.0]	-	HI	5	普通	褐灰	備前系 内面強いヨコナデ 外面自然釉	
39	瓦質土器	内耳鍋	(32.0)	[9.2]	-	AFHK	10	普通	灰白	口縁部に歪みあり(推定口縁は前後する可能性あり) 燻十	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
40	瓦	鬼瓦	幅[13.2]	高[9.9]		EIK	40	普通	灰白	外面ミカキ 強く燻す 近世以降	23-1
41	瓦質土器	内耳鍋	-	[3.4]	(20.0)	CEI	10	普通	灰白	底部ナゲ調整 煤付着	
42	瓦質土器	内耳鍋	32.2	[10.1]	-	CGI	85	普通	灰		
43	磁器	碗	-	[1.3]	-	I	5	普通	灰白	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁軸 外面蓮弁文 大宰府青磁碗Ⅲ類 13C中～14C初	
44	陶器	折縁深皿	-	[4.1]	-	K	5	普通	灰白	古瀬戸 内外面灰軸 内面下位刷毛塗 後期様式 14C後～15C前	
45	陶器	平碗	(18.8)	[4.4]	-	HI	10	普通	灰白	古瀬戸 内外面灰軸 後期様式 15C前～中	
46	陶器	擂鉢	-	[5.7]	-	IK	5	普通	浅黄橙	古瀬戸 内外面鉄軸 内面擂目 後期様式 15C	
47	瓦質土器	鉢	-	[4.3]	-	HIK	5	普通	灰黄褐	燻す	
48	陶器	片口鉢	-	[4.7]	(11.0)	EGI	10	普通	にぶい橙	常滑 砂目底 内面使用により摩耗 外面ヘラナゲ 14C～15C	
49	瓦質土器	内耳鍋	-	[2.7]	(16.2)	CEHK	10	普通	にぶい黄橙	外面煤付着	
50	陶器	甕	-	[11.0]	-	EHI	5	良好	灰褐	常滑 降灰軸付着	
51	磁器	碗	-	[1.5]	-	-	5	良好	灰白	白磁 中国南部 内外面施釉 大宰府白磁碗Ⅴ類ないしⅥ類 11C後～12C	
52	陶器	片口鉢	-	[5.0]	-	DHK	5	普通	灰	山茶碗系 内面少量降灰 13C	
53	磁器	碗	-	[3.0]	-	K	5	普通	灰白	白磁 中国南部 内外面施釉	
54	磁器	碗	-	[2.2]	-	I	5	普通	灰白	青磁 中国龍泉窯系 内外面青磁軸 外面蓮弁文 大宰府青磁碗Ⅱ類 13C中～14C初	
55	陶器	天目茶碗	-	[2.7]	4.6	EI	20	普通	灰白	古瀬戸 内外面鉄軸 後期様式 14C後～15C初	
56	陶器	平碗	(16.7)	[5.0]	-	I	15	良好	浅黄	古瀬戸 内外面灰軸 被熱か 後期様式 15C後	
57	陶器	縁軸小皿	-	[1.5]	5.3	DEK	50	普通	灰白	古瀬戸 内外面上位灰軸 後期様式 15C	
58	陶器	折縁深皿	(34.2)	[5.3]	-	EIH	5	良好	灰	古瀬戸 内外面灰軸 小破片から反転復元 後期様式15C前	
59	陶器	直縁大皿	-	[8.9]	-	I	10	良好	浅黄	古瀬戸 内外面鉄軸 内面下位刷毛塗 後期様式15C前 接点ない2破片から図上復元	
60	陶器	香炉	(13.1)	[2.9]	-	IK	10	普通	灰白	古瀬戸 内面口縁部～外面灰軸 後期様式 14C後～15C	
61	陶器	甕	-	[5.3]	-	EIK	5	普通	褐灰	常滑 肩部破片 内面弱くコナデ 外面弱く工具ナゲ	
62	陶器	甕	-	[7.3]	-	EK	5	普通	にぶい橙	常滑 内面ヨコナデ一部指頭圧痕 外面工具ナゲ	
63	かわらけ	小皿	-	[1.1]	(4.3)	CEGHIK	10	不良	灰白	底部糸切痕 板目状圧痕 胎土粉質	
64	陶器	擂鉢	-	[3.2]	(10.7)	I	10	普通	灰	古瀬戸 底部糸切痕 内面擂目(使用により摩耗) 被熱・変色 後期様式 15C	
65	瓦質土器	擂鉢	-	[5.3]	-	CEIK	5	普通	灰白	内面擂目 外面工具ナゲ(刷毛目状) 燻す	
66	瓦質土器	擂鉢	(28.4)	12.1	(11.8)	ACEHIK	30	普通	灰白	砂目底 内面擂目 外面工具ナゲ(刷毛目状) 内面煤付着 燻す	
67	瓦質土器	内耳鍋	(32.8)	17.4	(19.3)	EHIK	60	普通	灰黄褐	外面煤付着 同一個体存 燻す	
68	陶器	甕	-	[7.5]	-	I	5	普通	褐灰	常滑 内面ヨコナデ 外面ヘラナゲ	
69	陶器	片口鉢	-	[5.8]	-	DEIK	5	普通	灰白	常滑 外面下位ケズリ 12C後～13C前	
70	瓦質土器	鉢か	-	[6.5]	-	CGI	10	普通	褐	外面煤付着 内耳鍋の可能性あり やや酸化炎焼成	
71	陶器	片口鉢	-	[2.0]	-	DEHIK	5	普通	灰白	常滑 外面ケズリ 13C	
72	瓦質土器	鉢	-	[3.7]	-	EHIK	5	普通	にぶい黄橙	燻す	
73	磁器	碗	-	[4.1]	-	K	5	普通	灰	中国龍泉窯系 内外面青磁軸 外面蓮弁文 大宰府青磁碗Ⅲ類 13C中～14C初	
74	陶器	盤類	-	[1.1]	-	DHI	5	良好	浅黄	古瀬戸 上面灰軸 内面目跡 後期様式14C後～15C	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
75	陶器	壺	-	[6.0]	-	EIK	10	普通	褐灰	常滑 内面指頭圧痕 外面沈線二条 内外面ヨコナデ 13C	
76	瓦質土器	擂鉢	-	[3.7]	-	CEI	5	普通	黄灰	内面擂目 焼す	
77	瓦質土器	内耳鍋	-	[11.6]	-	CEI	10	普通	灰黄	焼す	
78	瓦質土器	内耳鍋	(33.3)	[10.0]	-	CEIK	20	普通	灰白	外面煤付着 焼す	
79	かわらけ	小皿	10.9	3.5	4.6	CIK	90	良好	灰白	底部糸切痕 胎土砂質	23-2
80	かわらけ	小皿	11.2	3.9	4.7	CHIK	95	普通	灰白	底部糸切痕 板目状圧痕	23-3
81	かわらけ	小皿	11.0	3.6	4.8	CEIK	95	普通	灰白	底部糸切痕(右) 板目状圧痕 口縁部少量煤付着	23-4
82	かわらけ	小皿	11.4	3.1	6.7	CEHIK	80	普通	にぶい橙	底部糸切痕(左) 板目状圧痕 口縁部歪み大きい	23-5
83	かわらけ	小皿	(11.4)	4.0	5.0	CEHIK	45	普通	にぶい橙	底部糸切痕(右)	23-6
84	かわらけ	小皿	(11.0)	3.6	4.5	ACEIK	60	良好	明褐灰	底部糸切痕(右) 口縁部煤付着	23-7
85	瓦質土器	鉢	-	[5.7]	(12.2)	BCEHIK	15	普通	灰白	砂目底か 内面一部煤付着	
86	瓦質土器	焙烙	-	5.8	-	CEHIK	5	普通	にぶい橙	底部シワ状 外面煤付着	
87	瓦質土器	焙烙	-	[5.3]	-	CFHIK	5	良好	橙	同一個体有	
88	陶器	片口鉢	-	[2.7]	-	EIK	5	普通	黄灰	常滑 13C	
89	瓦質土器	内耳鍋	-	[3.3]	-	CEGI	5	不良	灰白		
90	かわらけ	小皿	11.0	3.1	6.5	CFGHI	50	普通	にぶい橙	底部板状圧痕 胎土砂質 底部回転糸切	
91	かわらけ	小皿	(11.4)	[3.1]	-	CFGHI	15	普通	明褐灰	胎土砂質	
92	陶器	瓶類	-	[3.9]	-	I	5	良好	灰白	古瀬戸 外面灰釉 前期様式 四耳壺か	
93	陶器	折縁深皿	-	[5.0]	-	EK	5	良好	灰白	古瀬戸 内外面灰釉 後期様式 15C前	
94	陶器	甕	-	[5.0]	-	DEHK	5	普通	褐灰	常滑 内外面ヨコナデ 常滑5型式 13C前	
95	陶器	甕	(35.0)	[5.1]	-	DEI	5	良好	褐灰	常滑 内外面ヨコナデ 6a型式 13C後	
96	陶器	甕	-	[4.5]	(20.0)	EIK	10	普通	にぶい褐	常滑 内面弱くヨコナデ 外面下位ケズリ 内面断面煤付着	
97	瓦質土器	火鉢	-	[5.6]	-	AIK	5	良好	にぶい黄橙	外面スタンプ文 跨部焼成前穿孔	
98	瓦質土器	鉢	(33.0)	[5.2]	-	ACEIK	5	良好	灰白	内外面霜降り状剥離強い 焼す	
99	瓦質土器	鉢	-	[3.4]	11.4	GHIK	50	普通	ナグ黒	№1 底部糸切痕 硬質 焼す	
100	瓦質土器	鉢	-	[2.8]	(13.6)	ABEGIK	15	良好	灰	底部糸切痕 内面使用による摩耗	
101	瓦質土器	鉢	(28.5)	[4.7]	-	CEIK	15	良好	灰	内面弱く工具ナゲ 外面ヨコナデ 内面一部黒化	
102	瓦質土器	内耳鍋	-	[8.1]	-	CEHI	10	普通	黄灰	内耳の一部遺存 外面煤付着 焼す	
103	かわらけ	小皿	-	[1.1]	(4.4)	ACEHI	15	普通	灰黄	底部糸切痕	
104	陶器	縁軸小皿	-	[1.3]	5.8	EI	20	普通	灰白	古瀬戸 内外面一部灰釉 後期様式 15C	
105	陶器	平碗	-	[4.4]	-	I	5	普通	灰白	古瀬戸 内外面灰釉 漆線痕 後期様式 14C後～15C前	
106	瓦質土器	擂鉢	(29.8)	[5.2]	-	EGIK	15	良好	灰	内面ヨコナデ 霜降状に剥離 外面指頭圧痕	
107	瓦質土器	内耳鍋	(33.8)	[5.9]	-	CEI	35	良好	灰	№1・3 外面下位ケズリ 焼す 16C中～後	
108	瓦質土器	焙烙	(36.8)	[5.2]	(12.2)	CHI	25	良好	にぶい橙	№2 底部シワ状痕 やや酸化炭焼成 16C中～後	
109	かわらけ	小皿	(10.8)	3.1	(6.8)	CEPHI	20	普通	にぶい黄橙	口縁部煤付着 胎土粗	
110	かわらけ	小皿	-	[1.4]	3.6	CEI	10	普通	灰白	底部糸切痕(右)	
111	かわらけ	小皿	6.5	2.3	3.9	AHIK	100	良好	灰白	№1 底部糸切痕(右)	23-8
112	瓦質土器	甕	-	[2.6]	-	BCEIK	5	普通	褐灰	断面二次使用(転用磁具)	
113	磁器	鉢	-	[3.7]	-	-	5	普通	白	肥前系 内外面施釉 外面青磁釉 内面染付 18C後～19C初	
114	磁器	碗	(9.4)	[3.5]	-	-	25	普通	灰白	肥前系 内外面施釉 外面染付 被熱 18C	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
115	磁器	碗	-	[2.3]	-	-	5	普通	白	肥前系 内外面施軸 染付 筒形碗 18C後	
116	陶器	碗	-	[1.7]	(4.4)	IK	20	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰軸 18C前～中	
117	陶器	甕	(48.2)	[13.8]	-	HIK	10	良好	褐灰	常滑 内面ヨコナデ 指頭圧痕 外面上位降灰 自然軸 肩部押印文 13C後	
118	陶器	甕	(44.8)	[6.4]	-	EIK	10	良好	灰	常滑 一部降灰 内面ヨコナデ 外面ヘラナデ 6b型式 13C後	
119	陶器	甕	-	[5.2]	-	IK	5	良好	灰黄褐	常滑 内面指頭圧痕 ナデ 外面上位降灰 押印文	
120	瓦質土器	鉢	(31.0)	[9.5]	-	CIK	15	良好	暗灰	外面下位霜降り状剥離多 焼す	
121	陶器	甕	(49.0)	[36.0]	(15.0)	EHK	20	普通	にぶい黄橙	常滑5型式 13C前半～中	
122	陶器	瓶類	-	[5.3]	-	I	5	良好	灰白	古瀬戸 外面灰軸 前期様式 瓶子	
123	瓦質土器	甕	-	[5.7]	-	CEIK	5	普通	黄灰	焼す	
124	磁器	碗	(10.2)	[4.7]	-	K	40	普通	灰白	肥前系 内外面施軸 外面染付 18C	
125	磁器	碗	7.0	5.7	4.1	K	95	普通	白	肥前系 内外面施軸 染付 18C後	23-9
126	磁器	碗	8.5	5.8	3.6	K	95	普通	白	肥前系 内外面施軸 染付 18C後	23-10
127	磁器	合子	5.6	2.5	3.6	K	70	普通	白	肥前系 内外面施軸 外面染付	23-11
128	陶器	碗	(8.9)	[3.1]	-	I	20	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面灰軸 外面鉄輪	
129	磁器	碗	(9.4)	[3.7]	-	IK	30	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄輪 18C中	
130	陶器	坪	(6.2)	4.0	3.1	K	70	普通	浅黄橙	瀬戸美濃系 内外面灰軸	23-12
131	陶器	掻鉢	-	[4.1]	-	DEI	5	普通	灰白	丹波系 内面掻目 17C後～18C前	
132	瓦質土器	埴埴	(39.0)	5.1	(34.4)	CFHIK	45	普通	灰黄褐	底部シワ状痕 二次穿孔2遺存 焼す 底部少量煤付着 17C後～18C前	23-13
133	かわらけ	小皿	9.1	1.8	6.9	AMHK	85	普通	にぶい黄橙	底部糸切痕(左) 胎土粉質	
134	瓦質土器	内耳鍋	-	[3.7]	(21.0)	AEI	10	普通	にぶい褐	底部ヘラナデ 外面煤付着 焼す	
135	瓦質土器	掻鉢	-	[6.8]	-	AEHIK	5	良好	灰白	内面掻目 焼す	
136	陶器	天目茶碗	-	[4.1]	(4.1)	DI	25	良好	灰白	No1 古瀬戸 高台畳付部糸切痕(右) 高台内ケズリ(削込高台) 内外面鉄輪 後期様式 14C末～15C前	
137	陶器	折縁深皿	(30.8)	[2.8]	-	I	5	普通	灰白	古瀬戸 内外面灰軸 後期様式 15C中	
138	瓦質土器	火鉢	-	[4.9]	-	CDEIK	5	良好	黄灰	外面施文 焼す	
139	瓦質土器	香炉	(11.0)	5.4	-	ABDEIK	35	普通	灰白	外面施文 胎土粉質	23-14
140	かわらけ	小皿	(12.4)	3.0	6.0	CFHIK	50	普通	にぶい黄橙	底部糸切痕(左) 板目状圧痕 胎土粉質	23-15
141	かわらけ	小皿	12.1	2.8	5.7	CHIK	40	良好	にぶい橙	底部糸切痕 板目状圧痕	
142	陶器	片口鉢	-	[2.0]	5.0	I	20	普通	灰白	瀬戸美濃系 内外面鉄輪 18C前～中	
143	陶器	碗	(9.4)	5.7	4.6	K	50	普通	灰白		
144	陶器	掻鉢	-	[3.3]	-	DI	5	良好	浅黄橙	古瀬戸 内外面鉄輪 内面掻目 後期様式 15C前	
145	瓦質土器	内耳鍋	-	[10.2]	-	CEIK	5	良好	灰白	内外面煤付着 焼す	
146	木製品	桶	長さ[15.5] 幅[7.5] 厚さ1.1							板目 底板か 炭化	
147	木製品	桶	径20.0 厚さ1.7								
148	木製品	鉢か	長さ[33.5] 幅11.8 厚さ3.4							上部に方形の孔 下部が薄く銀状	
149	木製品	井戸枠部材か	長さ79.3 幅5.6 厚さ5.3							No1 芯持材	
150	木製品	桶	径22.0 厚さ1.5							No1 板目 底板 木釘残存	
151	木製品	桶	長さ14.5 幅9.2 厚さ1.2							No1 板目 側板 タガ痕	
152	木製品	容器	長さ5.8 幅5.8 高さ3.4							板目 側板 木釘残存	
153	木製品	不明品	長さ4.7 幅1.7 厚さ0.8							板目	
154	木製品	桶	長さ80.5 幅10.8 厚さ3.6							No1 板目 側板 タガ痕	
155	木製品	桶	長さ79.3 幅10.6 厚さ4.6							No2 板目 側板 タガ痕	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	図版
156	木製品	桶	長さ79.8	幅13.4	厚さ4.8					№3 芯持材 側板 タガ痕	
157	木製品	桶	長さ79.4	幅10.6	厚さ5.9					№4 芯持材 側板 タガ痕 鋸痕	
158	木製品	桶	長さ78.2	幅8.0	厚さ2.3					№5 板目 側板 タガ痕 工具痕	
159	木製品	桶	長さ80.4	幅11.4	厚さ3.0					№6 板目 側板 タガ痕 工具痕	
160	木製品	桶	長さ[78.0]	幅8.2	厚さ3.6					№7 板目 側板 タガ痕 鋸痕	
161	木製品	桶	長さ79.4	幅10.4	厚さ5.4					№8 板目 側板	
162	木製品	桶	長さ80.5	幅13.0	厚さ3.2					№9 板目 側板 タガ痕	
163	木製品	桶	長さ80.4	幅9.4	厚さ3.8					№10 分割材 側板 タガ痕	
164	木製品	桶	長さ80.6	幅13.4	厚さ3.4					№11 板目 側板 タガ痕	
165	木製品	桶	長さ80.4	幅10.0	厚さ3.1					№12 板目 側板 タガ痕	
166	木製品	桶	長さ80.6	幅12.2	厚さ3.4					№13 板目 側板 タガ痕 加工痕	
167	木製品	桶	長さ79.6	幅8.0	厚さ3.4					№14 板目 側板 タガ痕	
168	木製品	桶	長さ80.0	幅12.7	厚さ3.5					№15 板目 タガ痕	
169	木製品	桶	長さ80.1	幅10.4	厚さ3.8					№16 板目 タガ痕	
170	木製品	桶	長さ43.0	幅6.7	厚さ[1.7]					№17 板目 側板 タガ痕	
171	木製品	桶	長さ39.6	幅5.1	厚さ2.3					№18 板目 側板 タガ痕	
172	木製品	桶	長さ80.6	幅10.4	厚さ3.6					№19 板目 側板 タガ痕	
173	木製品	桶	長さ80.0	幅14.2	厚さ4.2					№20 板目 側板 タガ痕 下部加工痕	
174	木製品	桶	長さ80.4	幅8.0	厚さ2.8					№21 板目 側板 タガ痕	
175	木製品	杭	長さ166.6	幅6.0	厚さ5.0					№22	
176	木製品	杭	長さ166.4	幅4.8	厚さ4.2					№23	
177	木製品	桶	長さ40.8	幅7.9	厚さ2.2					板目 側面釘穴	
178	木製品	桶	長さ[36.5]	幅10.7	厚さ1.9					板目 蓋 孔1 木釘孔2	
179	石製品	板碑	長さ[86.3]	幅33.0	厚さ4.2	重さ[26200.0]				サ・サク種子 柃線 光明真言あり	
180	石製品	板碑	長さ83.1	幅24.1	厚さ3.0	重さ11610.0				異体字キリク種子 柃線 花瓶一文字あり	31-1
181	石製品	板碑	長さ75.3	幅23.6	厚さ2.8	重さ8590.0				異体字キリク・サ・サク種子 柃線あり	
182	石製品	板碑	長さ91.6	幅28.1	厚さ2.4	重さ12150.0				正体字キリク種子 イ一字の三点 柃線 光明真言あり	31-2
183	石製品	板碑	長さ50.9	幅17.8	厚さ1.7	重さ2815.1				№1 異体字キリク種子	31-3
184	石製品	板碑	長さ[32.2]	幅[15.7]	厚さ1.6	重さ[1505.2]				異体字 種子 花瓶あり	31-4
185	石製品	板碑	長さ[26.9]	幅[16.5]	厚さ2.0	重さ[1140.1]				花瓶あり 十一月日	31-5・6
186	石製品	砥石	長さ[7.5]	幅3.2	厚さ2.7	重さ[94.9]				流紋岩 使用面5面	34-1
187	石製品	砥石	長さ[4.6]	幅[2.5]	厚さ2.2	重さ[26.5]				安山岩 使用面4面	34-1
188	石製品	砥石	長さ7.8	幅6.2	厚さ5.3	重さ341.3				流紋岩 使用面6面	34-1
189	石製品	石臼	長さ[16.7]	幅[13.7]	高さ[11.8]	重さ[3171.4]				安山岩 一部黒色化 下臼	
190	石製品	硯	長さ[4.9]	幅[3.3]	厚さ1.2	重さ[23.4]				粘板岩	34-1
191	石製品	石臼	長さ[15.1]	幅[12.5]	厚さ9.7	重さ[777.6]				安山岩	
192	石製品	石臼	長さ[19.7]	幅[13.5]	高さ[12.7]	重さ[3205.8]				安山岩 下臼	
193	石製品	石臼	長さ[14.7]	幅[12.0]	高さ8.2	重さ[1332.6]				安山岩 被熱 下臼	
194	石製品	石臼	長さ[13.9]	幅[5.8]	高さ[6.5]	重さ[322.9]				安山岩	
195	石製品	砥石	長さ[8.6]	幅3.0	厚さ2.8	重さ[86.6]				流紋岩 使用面5面	34-1

については、第4表に示し、特徴的な溝跡について

以下に記すこととする。

第26号溝跡 (第63図)

E・F-11グリッドに位置する。L字状に走る溝跡であり、北側の端部は調査区外へと延びる。

規模は、遺存値で、検出全長6.85m、幅0.49～

1.05m、深さ0.15～0.20mである。走行方位は南北方向N-18°-E、東西方向N-54°-Wを示す。断面形態は、皿状を呈する。第11・12・15・16・19号土壕と重複し、これに壊されている。

前述のとおり、第28号溝跡とは一連の遺構であり、方形区画をなす可能性がある。区画の内側より検出されたピットは不規則に分布し、建物跡などを想定させる配列は認められなかった。しかし、区画の内側には土壕や井戸跡が多く分布しており、一部の土壕は本溝跡と重複することから、これらの遺構にピットが壊された可能性もある。遺物は出土しなかった。

第28号溝跡（第63図）

E・F-11グリッドに位置する。逆L字状に走る溝跡であり、北側の端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長9.68m、幅0.53～1.12m、深さ0.12～0.24mである。走行方位は南北方向N-70°-W、東西方向N-24°-Eを示す。断面形態は、皿形を呈する。第7・13・20号溝跡と重複し、これに壊されている。

第26号溝跡とは一連の遺構であり、方形区画をなす可能性がある。

第33号溝跡（第67・76図）

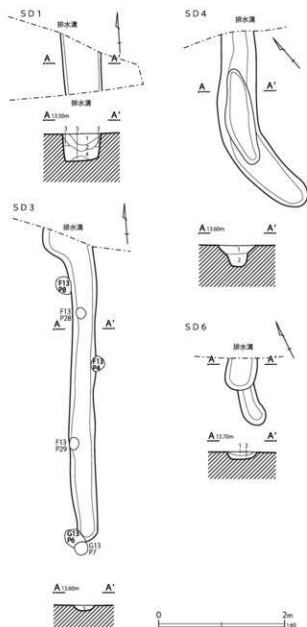
G-11・12グリッドに位置する。大部分が調査区外に位置し、北側の立ち上がりの一部を確認するのみである。規模は、遺存値で、検出全長13.64m、幅1.52～1.86m、深さ1.45mである。走行方位は、N-82°-Wを示す。断面形態は、逆台形を呈する。

出土遺物は、第76図に示した。3は常滑の甕である。外面肩部に押印文を施す。12世紀後葉の所産である。

第40号溝跡（第69・77図）

J-L-19、J-20グリッドに位置する。直線に走る溝跡であり、両端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長18.88m、幅0.60～1.49m、深さ0.16～0.40mである。走行方位はN

SD1・3・4・6



SD1

- | | | |
|------------|-------|-------------|
| 1 オリーブ褐色土 | 砂質シルト | 酸化鉄斑状に多量 |
| 2 オリーブ褐色土 | 酸化鉄少量 | |
| 3 オリーブ褐色土 | 粘質シルト | 酸化鉄斑状に含む |
| 4 暗オリーブ褐色土 | 粘性强 | 粘質シルト 酸化鉄少量 |
| 5 オリーブ褐色土 | 砂質シルト | 酸化鉄少量 |

SD3

- | | | |
|-----------|-------|------------------|
| 1 オリーブ褐色土 | 粘質シルト | 炭化材少量 浅間A・酸化鉄を含む |
|-----------|-------|------------------|

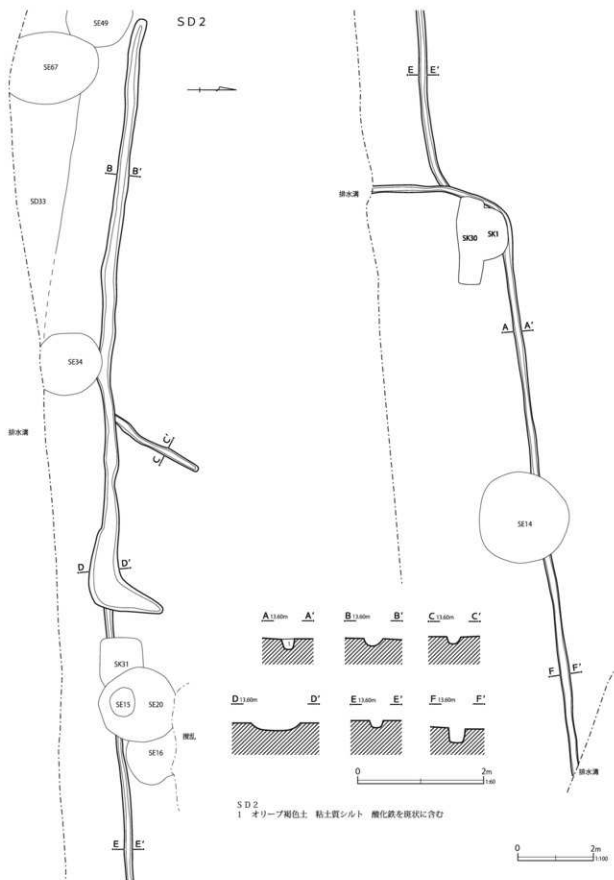
SD4

- | | | |
|-----------|-------|--------|
| 1 オリーブ褐色土 | 粘質シルト | 浅間Aを含む |
| 2 黄灰色土 | 粘質シルト | 酸化鉄を含む |

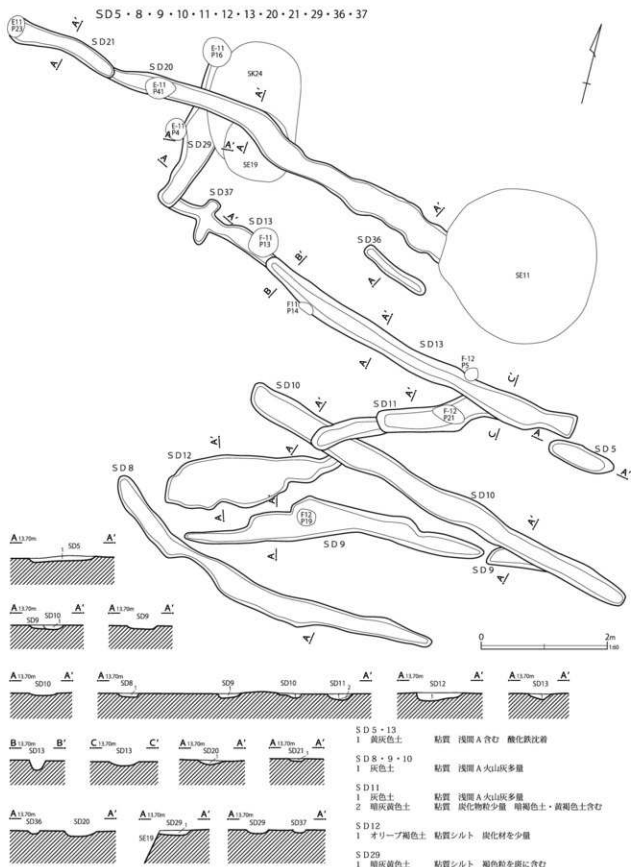
SD6

- | | | |
|-----------|-------|------------|
| 1 黄灰色土 | 粘質シルト | 浅間A・酸化鉄を含む |
| 2 オリーブ褐色土 | 粘質シルト | 酸化鉄を含む |

第60図 溝跡（1）

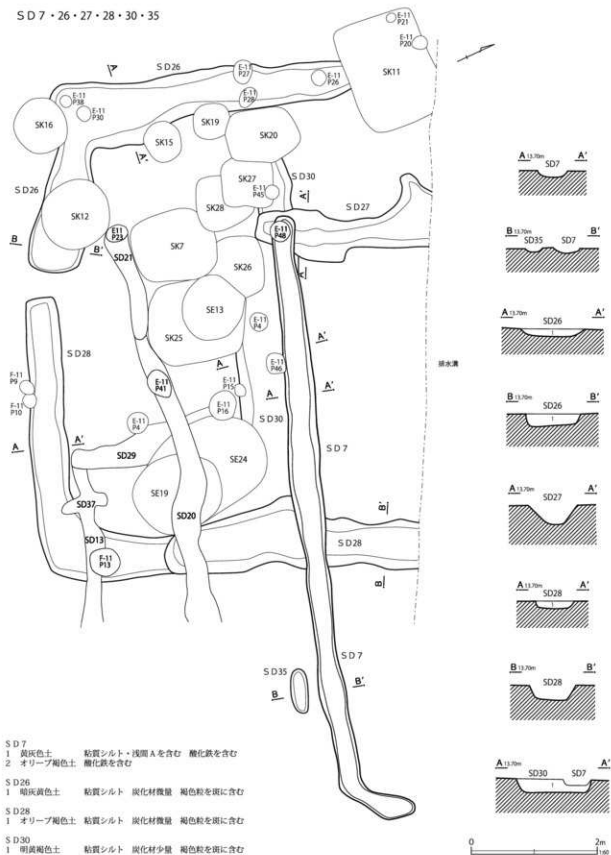


第61図 溝跡 (2)



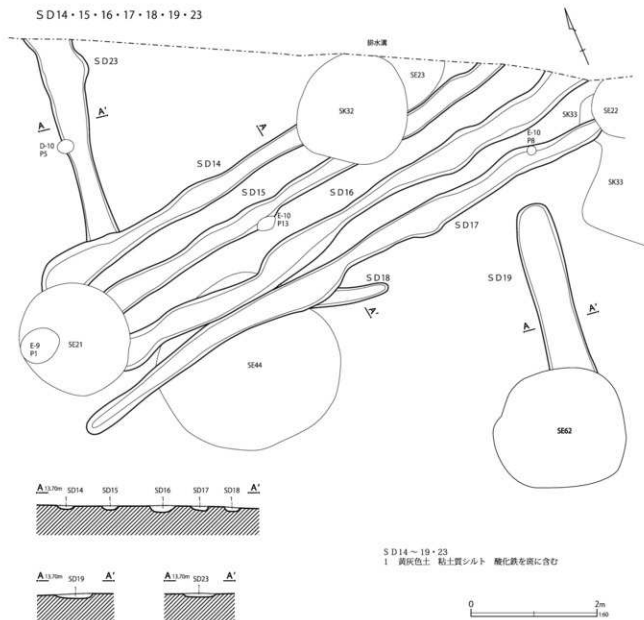
第62図 溝跡(3)

SD 7・26・27・28・30・35



第63図 溝跡(4)

SD 14・15・16・17・18・19・23



第64図 溝跡 (5)

ー7°ーEを示す。断面形態は、逆台形を呈する。第93号井戸跡と重複し、これを壊している。第72号井戸跡、第121号土壇と重複し、これに壊されている。

出土遺物は、第77図に示した。10は常滑の甕である。外面に降灰が認められる。14世紀前葉の所産である。

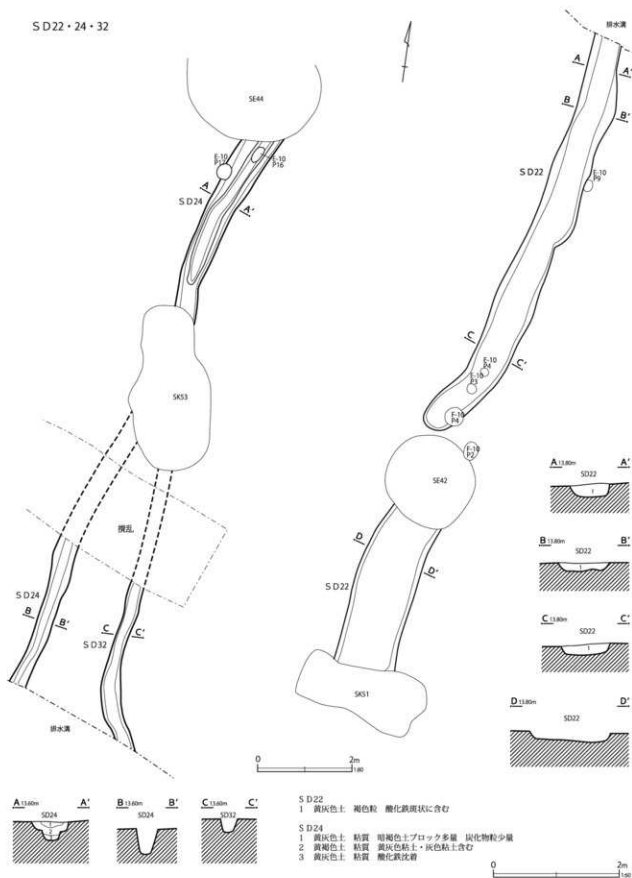
第41号溝跡 (第69・77図)

I・Jー19グリッドに位置する。直線に走る溝

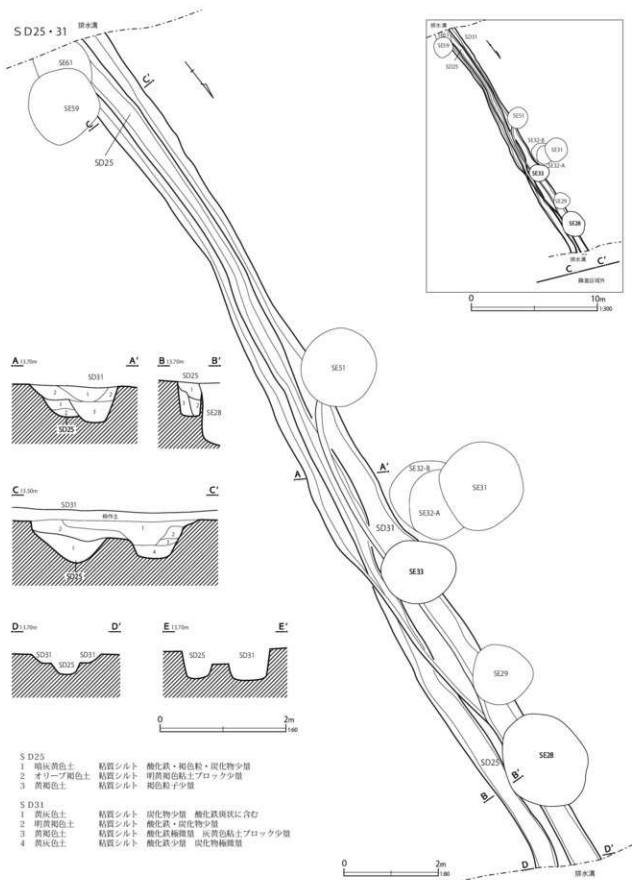
跡であり、北側の端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長11.50m、幅0.50～0.77m、深さ0.28～0.30mである。走行方位はN-13°ーEを示す。断面形態は、逆台形を呈する。第81・108・115号井戸跡、第136号土壇、第43・46号溝跡と重複し、これを壊している。

出土遺物は、第77図に示した。13は瀬戸美濃系陶器の丸碗である。内外面に灰釉を施軸する。大窯期の製品であり、16世紀代の所産である。

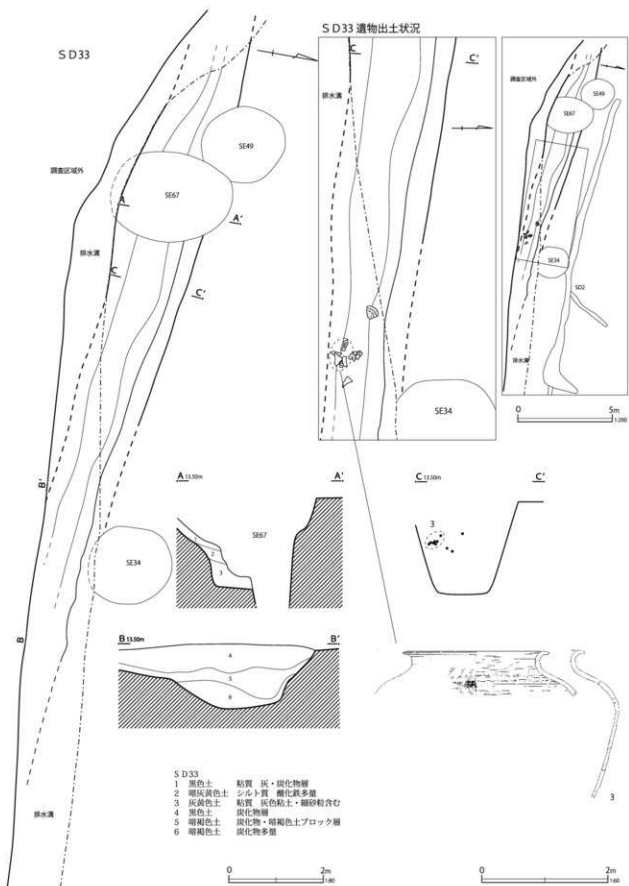
SD22・24・32



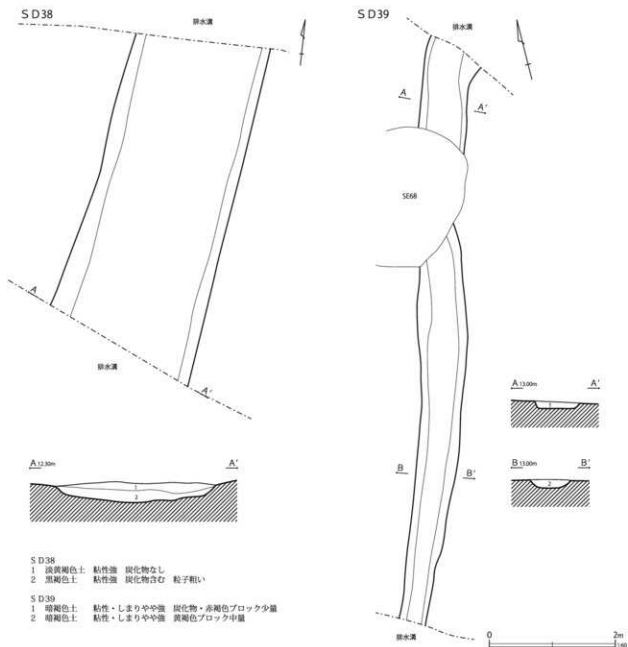
第65図 溝跡(6)



第66図 溝跡 (7)



第67図 溝跡(8)



第68図 溝跡（9）

第51号溝跡（第74・80・81図）

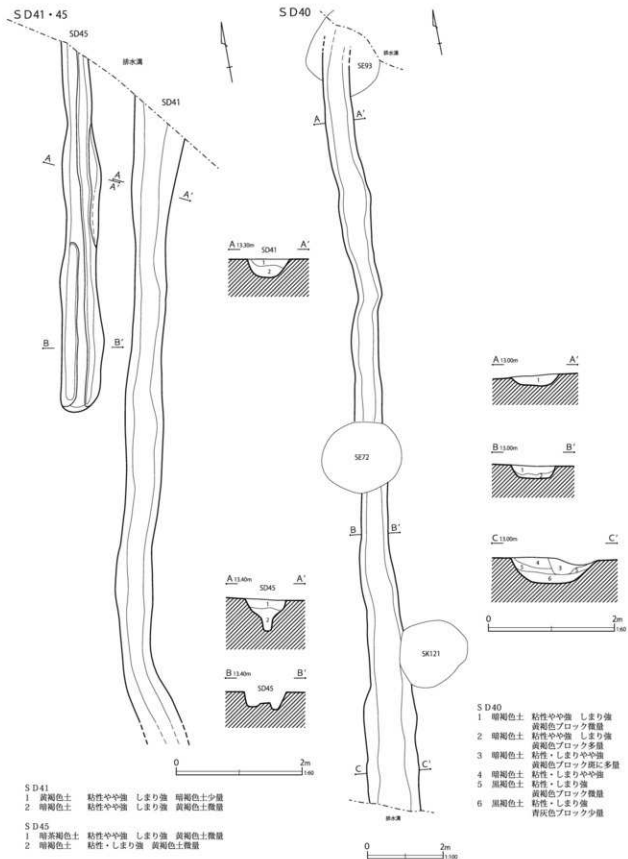
A・B-2グリッドに位置する。直線に走る溝であり、両端部は調査区外へと延びる。規模は、遺存値で、検出全長12.35m、幅1.60～2.40m、深さ0.52～0.92mである。

出土遺物は、第80・81図に示した。40は中国邵武窯系磁器の多角坏である。内外面に緑釉薬を施釉する。高台内には墨書きが認められる。15世紀

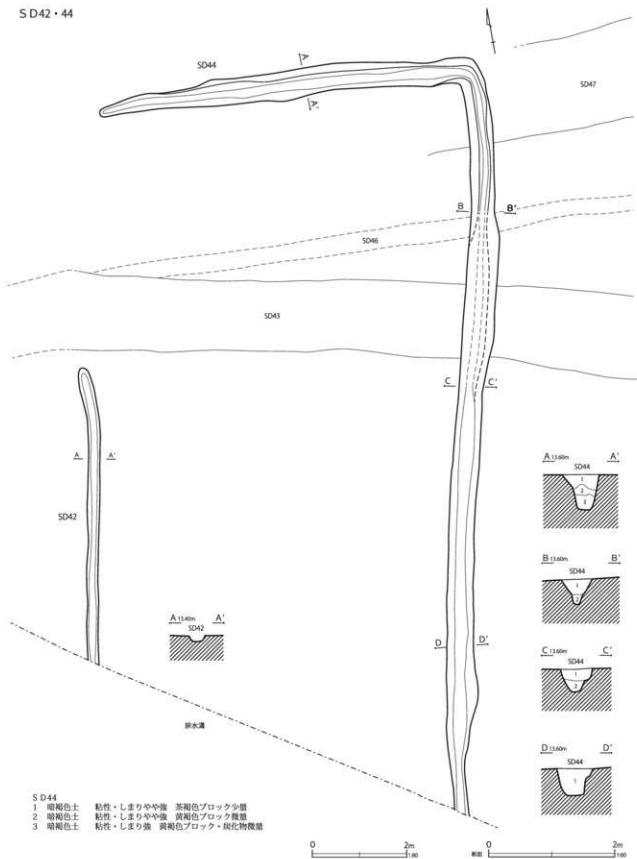
代の所産である。

41は古瀬戸の緑釉小皿である。底部は糸切で、内外面上位に鉄釉を施釉する。後期様式の製品で、15世紀代の所産である。

42は古瀬戸の盤である。底部は回転ケズリにより成形し、内外面には灰釉を施釉する。後期様式の製品であり、14世紀後葉から15世紀初頭の所産である。

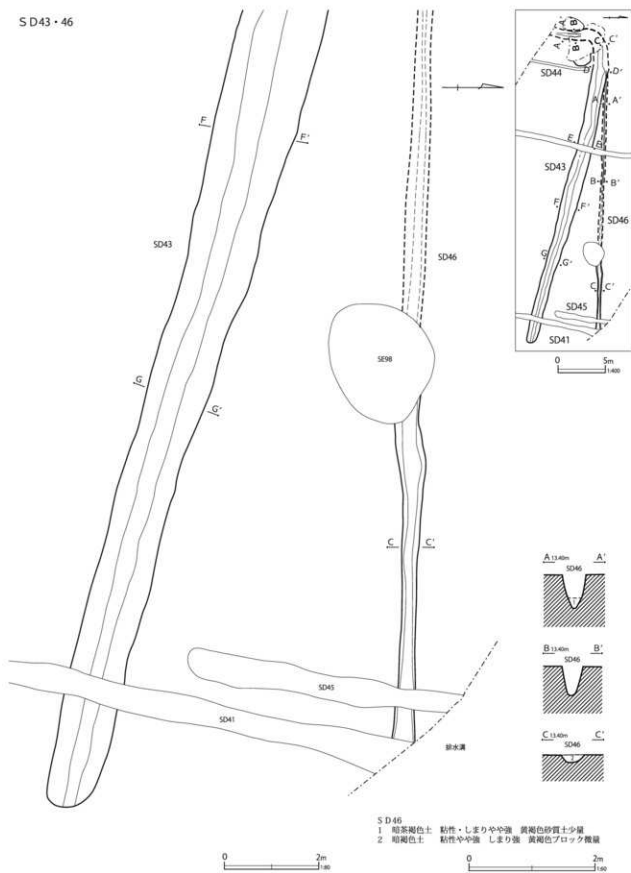


第69図 溝跡 (10)

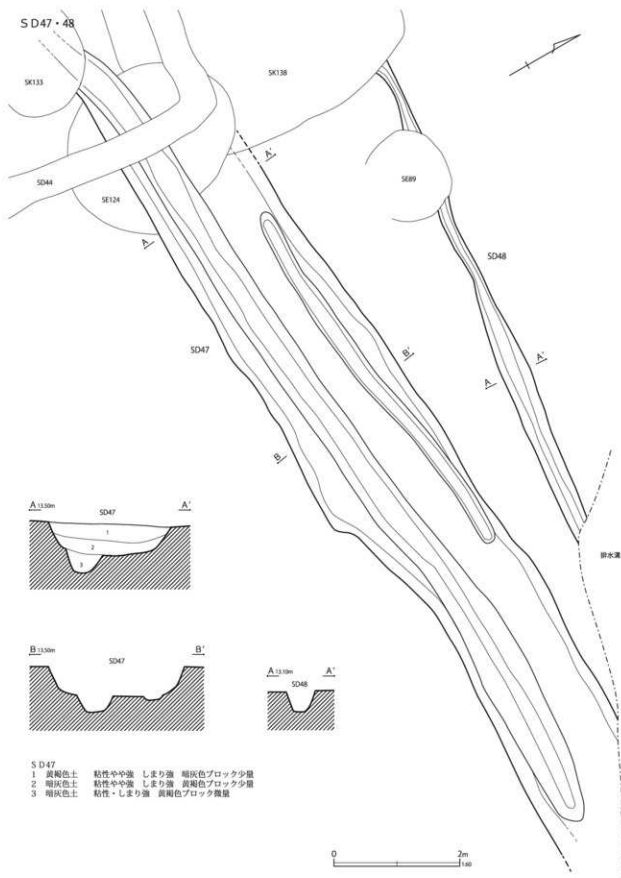


第70図 溝跡 (11)

SD43・46



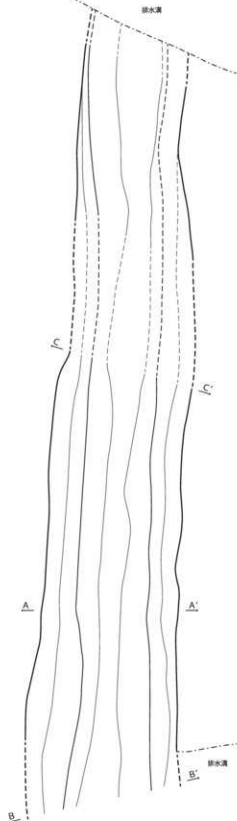
第72図 溝跡 (13)



第73図 溝跡 (14)

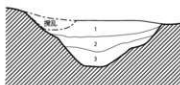
SD51

排水溝



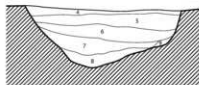
A 12.70m

A'



B 12.70m

B'



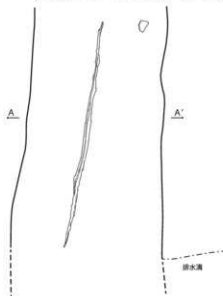
C 12.70m

C'



SD51

- | | | | | |
|-----------|----------------|--------|---------|------------|
| 1 灰黄褐色土 | 粘性弱 | しまり強 | シルト | 白色粒微量 |
| 2 灰黄褐色土 | 粘性・しまりやや弱 | シルト | 白色粒微量 | |
| | 1に比べて砂が多く粒子が粗い | | | |
| 3 灰黄褐色土 | 粘性強 | しまりやや弱 | 粘質 | 白色粒微量 |
| 4 オリーブ黒色土 | 粘性やや強 | しまりやや弱 | 粘質 | 砂中 |
| 5 灰色土 | 粘性強 | しまりやや弱 | 粘質 | 白色粒(火山灰)多量 |
| 6 暗灰黄色土 | 粘性やや弱 | しまり弱 | シルト | 砂多量白色粒微量 |
| 7 黄灰色土 | 粘性弱 | しまりやや弱 | 砂混じりシルト | 白色粒微量 |
| 8 黒褐色土 | 粘性強 | しまり弱 | 粘質 | 白色粒微量 |
| 9 灰オリーブ土 | 粘性・しまり強 | 粘土 | 白色粒微量 | |



A 12.70m

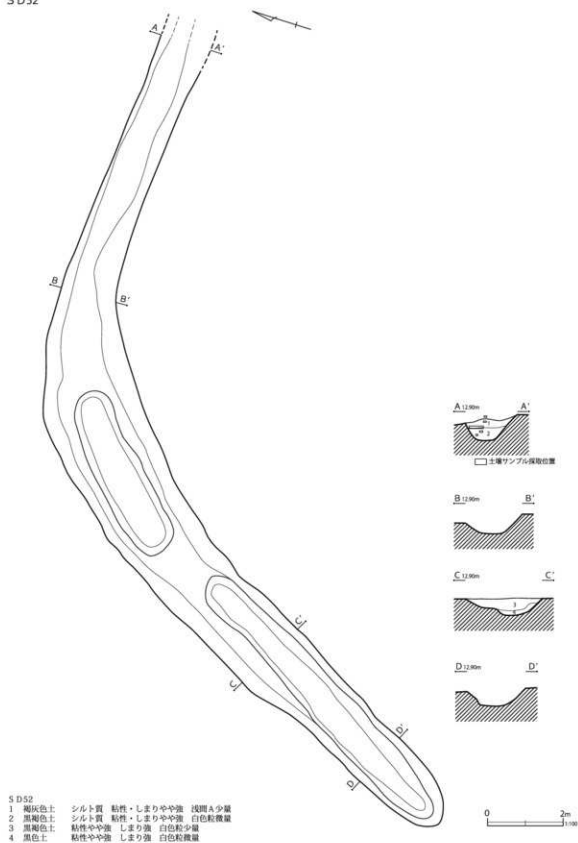
A'



0 2m 1:60

第74図 溝跡 (15)

SD52

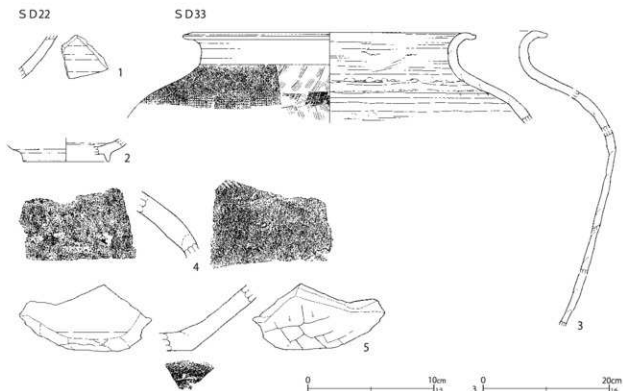


第75図 溝跡 (16)

第4表 溝跡一覧表 (第60～75図)

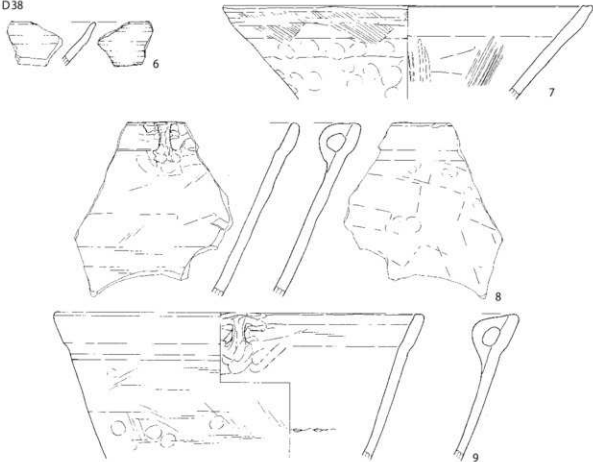
遺構名	グリッド	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	断面形	走行方向	方位	重複遺構
SD1	G-16	[0.99]	0.59 ~ 0.62	0.43	箱形	南→北	N-0°	
SD2	G-11 ~ 14 F-14・15	[43.4]	0.12 ~ 1.60	0.12 ~ 0.25	皿形 U字形	西→東→北→東	N-0° N-80° -E	SE14・15・20・34(新) SK1・30・31(新)
SD3	F・G-13	[4.98]	0.34 ~ 0.75	0.08 ~ 0.11	皿形	南→北	N-2° -E	
SD4	F-13	[3.10]	0.55 ~ 0.62	0.08 ~ 0.34	楕円形	南→北→北東	N-0° N-40° -E	
SD5	F-12	1.07	0.29 ~ 0.36	0.09	皿形	東→西	N-82° -W	
SD6	E-11・12	[1.14]	0.29 ~ 0.45	0.12	皿形	北→南	N-2° -E	
SD7	E-11・12	10.15	0.34 ~ 0.52	0.05 ~ 0.11	皿形	北西→南東→北	N-70° -W N-39° -E	SD27・28・30(古)
SD8	F-11・12	5.80	0.15 ~ 0.45	0.03 ~ 0.06	皿形	東→西→北西	N-75° -W	
SD9	F-11・12	[5.83]	0.16 ~ 0.66	0.01 ~ 0.04	皿形	南西→北東→東	N-71° -W N-89° -E	SE10(古) SK9(古)
SD10	F-11・12	6.75	0.35 ~ 0.47	0.02 ~ 0.06	皿形	北西→南東	N-75° -W	SE10(古) SD12(古) SD11(新)
SD11	F-11・12	[2.89]	0.30 ~ 0.49	0.03 ~ 0.07	皿形	南西→北東	N-64° -E	SD10(古) SD13(新)
SD12	F-11・12	[2.80]	0.24 ~ 0.85	0.06 ~ 0.09	皿形	北東→南西	N-64° -E	SD10(新)
SD13	F-11・12	[7.28]	0.20 ~ 0.47	0.02 ~ 0.15	皿形 楕円形	北西→南東	N-74° -W	SK18(古) SD11・ 28(古) SD29(新)
SD14	E-9・10	[4.76]	0.28 ~ 0.65	0.02 ~ 0.11	皿形	東→西	N-81° -E	SE23(古) SE21(新) SK32(新)
SD15	E-10	[7.28]	0.20 ~ 0.46	0.04 ~ 0.06	皿形	東→西	N-80° -E	SE21(新) SK32(新)
SD16	E-10	[8.63]	0.23 ~ 0.65	0.08 ~ 0.10	皿形	東→西	N-80° -E	SE44(古) SE21(新)
SD17	E-10	[9.45]	0.26 ~ 0.51	0.05 ~ 0.07	皿形	東→西	N-81° -E	SE44(古) SK33(古) SD18(古) SE22(新)
SD18	E-10	[1.25]	0.20 ~ 0.29	0.05	皿形	北西→南東	N-79° -W	SD17(新)
SD19	E-10	[2.85]	0.60 ~ 0.70	0.04 ~ 0.12	皿形	北→南	N-9° -E	SB62(新)
SD20	E・F-11 F-12	[5.87]	0.20 ~ 0.55	0.04 ~ 0.08	皿形	西→東	N-77° -W	SE19(古) SK24(古) SE11(新) SD21(新)
SD21	E-11	[1.10]	0.23 ~ 0.39	0.04	皿形	東→西	N-77° -W	SD20(古)
SD22	E・F-10	[15.20]	0.60 ~ 1.26	0.13 ~ 0.20	皿形	南→北	N-14° -E	SE22・41・60・ 63(古) SK33・67(古) SE42(新) SK51(新)
SD23	D・E-10	[3.37]	0.35 ~ 0.76	0.02 ~ 0.10	皿形	南→北	N	SD14(新)
SD24	E-10	[12.86]	0.36 ~ 0.66	0.26 ~ 0.39	U字形	南→北→北東	N-16° -E	SE44(新) SK53(新)
SD25	D・E・F-9	[20.16]	0.12 ~ 0.29	0.35 ~ 0.66	U字形	南→北	N-8° -E	SE33(古) SE28・59・ 61(新) SD31(新)
SD26	E・F-11	[6.85]	0.49 ~ 1.05	0.15 ~ 0.20	皿形	北→南→南東	N-18° -E N-54° -W	SK11・12・15・16・ 19(新)
SD27	E-11	[2.76]	0.42 ~ 1.16	0.20 ~ 0.29	逆台形	北→南	N-22° -E	SD30(古) SD7(新)
SD28	E・F-11	[9.68]	0.53 ~ 1.12	0.12 ~ 0.24	皿形	北西→南東→北 東	N-70° -W N-24° -E	SD7・13・20(新)
SD29	E・F-11	[2.41]	0.31 ~ 0.52	0.03	皿形	北→南	N-7° -E	SD13(古) SK24(新) SD20(新)
SD30	E-11	[0.54]	0.55 ~ [0.75]	0.15 ~ 0.21	逆台形	北西→南東	N-66° -W	SE13(新) SK20・24 ~ 28(新) SD7・27・ 28(新)
SD31	D・E・F-9	[20.4]	0.57 ~ 1.40	0.15 ~ 0.57	逆台形	南→北	N-6° -E	SD25(古) SE28・29・ 33・51・59・61(新)
SD32	F-10	[3.62]	0.08 ~ 0.21	0.17 ~ 0.19	U字形	北→南	N-7° -E N-28° -W	SK53(新)
SD33	G-11・12	[13.64]	1.52 ~ 1.86	1.45	逆台形	東→西	N-82° -W	SE49・67(新)
SD35	E・F-12	0.70	0.28	0.06	皿形	北西→南東	N-70° -W	

遺構名	グリッド	長さ (m)	幅 (m)	深さ (m)	断面形	走行方向	方位	重複遺構
SD36	F-11・12	1.15	0.17～0.22	0.04	皿形	南東→北西	N-68° -W	
SD37	F-11	0.75	0.23	0.04	皿形	南→北	N	SD28(古) SD13
SD38	H・1-14 H-15	[5.50]	2.15～2.70	0.16～0.35	皿形	南→北	N-8° -E	
SD39	L・M-21	[9.30]	0.42～0.78	0.14～0.24	皿形	北→南	N-14° -W	SE68(新)
SD40	J～L-19 J-20	[18.88]	0.60～1.49	0.16～0.40	逆台形	北→南	N-7° -E	SE93(古) SE72(新) SK121(新)
SD41	I・J-19	[11.50]	0.50～0.77	0.28～0.30	逆台形	北→南	N-13° -E	SE81・108・115(古) SK136(古) SD43・46(古)
SD42	I・J-16	[6.22]	0.10～0.16	0.07～0.10	逆台形	南→北	N-5° -E	SE87
SD43	I-16～18 J-16～19	[29.82]	1.11～1.74	0.61～1.05	逆台形	南→北→東	N-19° -E N-90° -W	SE103・108・112・116(古) SD46(古) SD41・44(新)
SD44	I-16・17 J-17	[23.54]	0.22～0.70	0.36～0.54	逆台形	南→北→西	N-10° -E N-86° -E	SE103・124(古) SK132・138・142(古) SD43・46・47(古)
SD45	I・J-19	[5.90]	0.37～0.66	0.18～0.49	箱葉研形	北→南	N-10° -E	SE48(古) SD46
SD46	I-16～19 J-16	[27.36]	[0.29～0.58]	0.09～0.55	葉研形	東→西	N-88° -W	SE98(新) SD43・44(新) SD41・45(新)
SD47	I-17・18	[16.50]	1.73～2.30	0.29～0.82	箱葉研形	西→東	N-87° -E	SE124(古) SK133・138(新) SD44(新)
SD48	I-17・18	[8.20]	0.13～0.45	0.15～0.33	逆台形	東→西	N-82° -W	SE89(新) SK138(新)
SD51	A・B-2	[12.35]	1.60～2.40	0.52～0.92	箱葉研形	南→北	N-6° -W	
SD52	A・B-4・5 C-4	[24.78]	1.30～2.57	0.45～0.68	箱葉研形	南西→北東→東	N-87° -E N-30° -E	

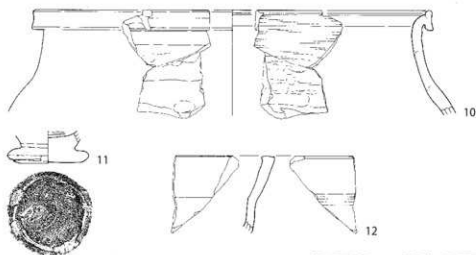


第76図 溝跡出土遺物(1)

SD38



SD40



SD41

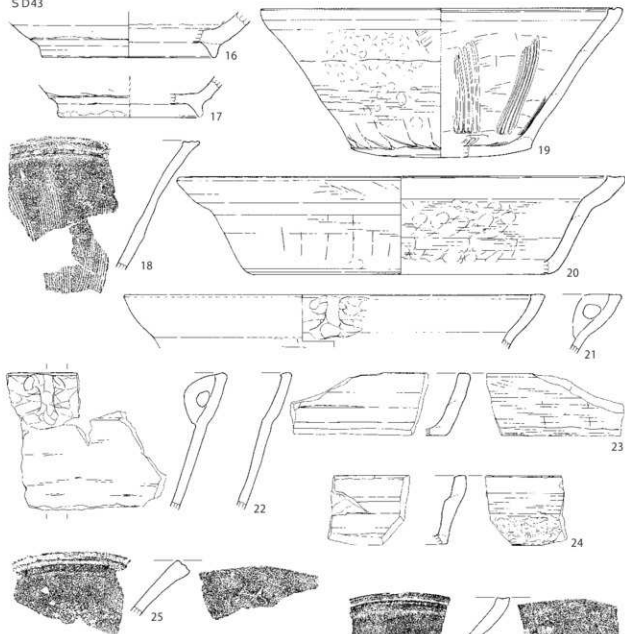


SD43

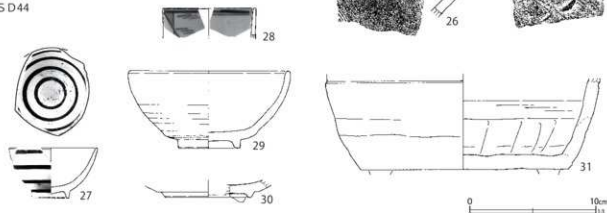


第77図 溝跡出土遺物 (2)

SD43



SD44



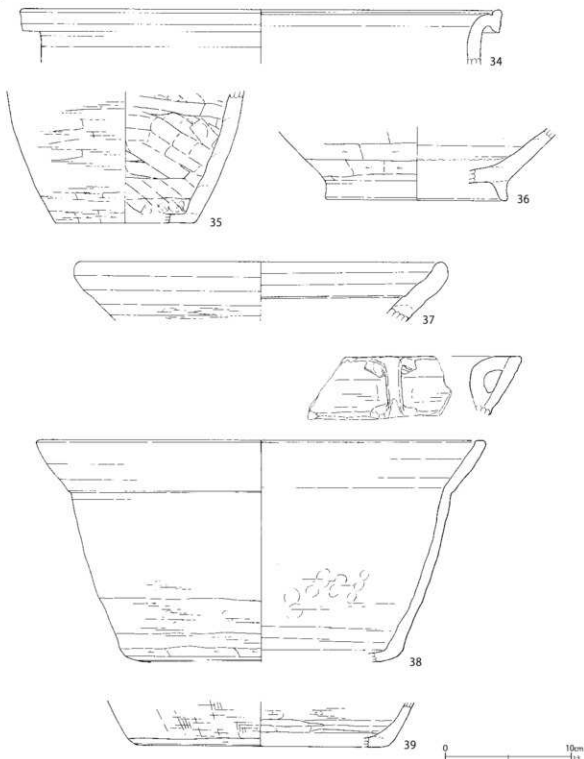
0 10cm 1/2

第78図 溝跡出土遺物 (3)

SD46

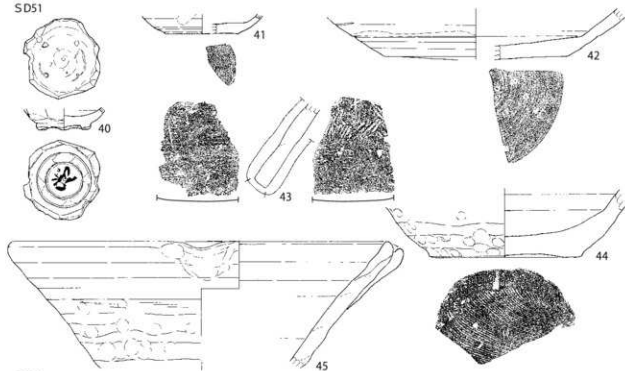


SD47

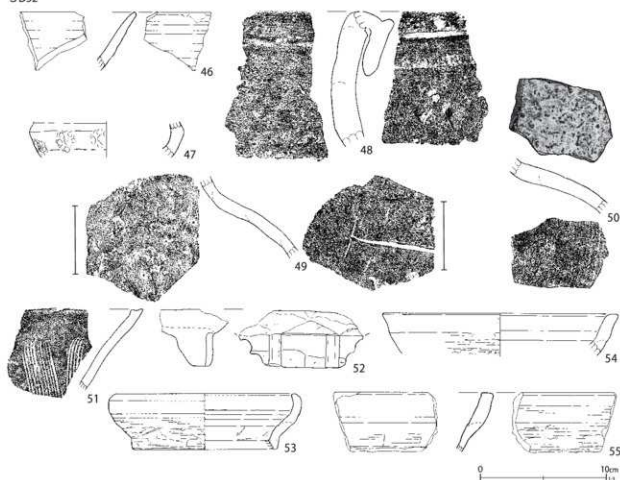


第79図 溝跡出土遺物（4）

SD51



SD52



第80図 溝跡出土遺物(5)